

RADIOLOGICAL SAITAMA

NO.2
2016



【学術特集】 「第34回 SAITAMA MRI Conference
(拡散をもう一度振り返る)」

【寄稿】 「医療被ばく低減施設認定までの軌跡」

【連載企画】 第1回「MR信号の成り立ち」
GEヘルスケア・ジャパン株式会社

【技術解説】 富士フイルム RI ファーマ株式会社

【総会資料】 第5回定期総会

【本会の動き】 「県立高校放射線特別授業報告」

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

<http://www.sart.jp>
E-mail sart@beige.ocn.ne.jp

RADIOLOGICAL SAITAMA

2016/5
MAY
VOL.64

CONTENTS

学術特集

「拡散をもう一度振り返る」 ～今、振り返る基礎 Motion Probing Gradient : MPG～ 埼玉県済生会川口総合病院 丸 武史	13
--	----

寄稿

「医療被ばく低減施設認定までの軌跡」 ～プロジェクト発足から認定まで～ 埼玉県済生会栗橋病院 鈴木 孝	19
---	----

連載企画

第1回「MR信号の成り立ち」 GEヘルスケア・ジャパン株式会社 MR営業推進部 平田 直樹	26
--	----

技術解説

「富士フィルム RI ファーマ株式会社の造影剤」 ～ICタグ (RFID) による安全管理への貢献を目指して～ 富士フィルム RI ファーマ株式会社 造影剤グループ 流 俊介	29
---	----

総会資料

第5回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定期総会

第5回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会	33
平成27年度事業報告(案)	34
平成27年度(公社)埼玉県診療放射線技師会理事会審議事項	48
平成28年度事業計画(案) 画像診療のコーディネーター	50
平成28年度当初予算	52

本会の動き「県立高校放射線特別授業報告」

「県立高校放射線特別授業」 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 会長 田中 宏	57
「放射線について考える」特別授業の講師を担当して 東松山市立市民病院 工藤 安幸	58
「放射線特別授業に講師として参加して」 埼玉県済生会栗橋病院 内海 将人	60
「放射線特別授業講師の体験談」 深谷赤十字病院 成田 麻美	62
「特別授業「放射線について考えよう」アンケート評価」 丸山記念総合病院 芦葉 弘志	64

巻頭言

都道府県技師会の提案型ビジネス 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 会長 田中 宏	1
---	---

会告

第5回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定期総会のお知らせ	2
診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー	3
平成28年度 第8回CT認定講習会のお知らせ	4

お知らせ

平成28年度診療放射線技師基礎技術講習(埼玉県) 乳房撮影講習会のお知らせ	5
第35回 SAITAMA MRI Conference 特別講演会のご案内	7
第2回Smic(Saitama medical information conference)	8
第47回 埼玉CT Technology Seminar 学術集会のご案内	9
循環器CT セミナー-2016のご案内	11

本会の動き

公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰を受賞して	54
公衆衛生協会会長表彰を受賞して	55
平成28年 新春の集い 開催報告	66
第15回上部消化管検査認定講習会 開催報告	67
平成27年度 第7回CT認定講習会 開催報告	68
平成27年度 乳腺画像セミナー 開催報告	69
第4回Freedセミナー報告	70
第4回Freedセミナーに参加して	74
第2回 埼玉DR計測セミナー報告	75
平成27年度 埼玉県診療放射線技師会認定試験 開催報告(胸部・上部消化管検査・CT)	76
公益社団法人日本診療放射線技師会 「業務拡大に伴う統一講習会」	77

各支部勉強会情報

各支部勉強会情報	78
----------	----

各支部掲示板

第一支部	80
第二支部	82
第三支部	83
第四支部	85
第五支部	89
第六支部	90

議事録

平成27年度 第4回常務理事会議事録(抄)	94
平成27年度 第5回常務理事会議事録(抄)	96
平成27年度 第6回理事会議事録(抄)	97
平成27年度 第7回理事会議事録(抄)	100

会員の動向

会員の動向(平成27年12月28日現在)	103
(平成28年2月29日現在)	103

求人コーナー

求人広告掲載申し込みFAX用紙	104
-----------------	-----

役員名簿

平成27・28年度役員名簿	106
---------------	-----

正会員入会申込書	108
退会届	110
会員異動届	111
年間スケジュール	112
編集後記	

都道府県技師会の提案型ビジネス

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 田中 宏



福島県薬剤師会は県民を対象とした放射線の相談窓口を開設した。窓口は県内約260カ所の薬局である。もちろん放射線に関する何の教育もせず

にやみくもに始めているわけではない。放射線ファーマシスト委員会というものを立ち上げ、テキストを作成し、相談業務を請け負う県内の薬剤師に教育を行っている。

この情報を知ったとき、診療放射線技師である私は、「なぜ、診療放射線技師ではないの?」という疑問を正直抱いた。しかし、よく考えれば、そう思うのは私たち診療放射線技師だけであって、県民や行政にとってみれば、知識のある人が放射線に関する県民からの相談を請け負ってくれば誰が行ってもよいと思うはずである。ただし、決して誤解をしていただきたくないのは、私は診療放射線技師が身近な放射線の専門家として関わっていくべきだと考えている。

東日本大震災から5年が過ぎた。最近、新聞でもあの時の出来事が風化しないようにと当時の特集記事が掲載されている。原子力発電所の事故が起きた後、しばらく日本診療放射線技師会を通して各県から診療放射線技師の人的支援を行っていた。本会からも数名の役員や会員が福島へ支援に向かった。その後、本会では3年前から県立高校で放射線に関する

特別授業を、本会の正式な継続事業として始めた。しかし、私の中で東日本大震災が過去の出来事になろうとしていることに大きな反省をした。福島ではまだ現在進行形なのである。

私はこの事実を知って、急遽、本会における「過去5年間の放射線被ばく相談事業」をまとめた。そして、「埼玉県民の放射線被ばく相談は診療放射線技師が請け負います」という請願書を県庁へ提出する予定である。提案型ビジネスという言葉は、20年以上前から一般企業では使われているが、私たちの業界では、まだ受け身型ビジネスであることが否めない。院内外で放射線科に閉じこもっているのは、誰も頼りにしないし、存在すら忘れられてしまう。自分たちに何ができるのかということアピールしなければ、誰かの役に立つことはできない。

本会の役員は、数多くの企画を精力的に発案し事業を遂行している。いくつかの反省点はあるものの、多くの会員から比較的高い評価を受けていると考えている。しかし、それだけでは足りない。その事業が県民へどうフィードバックできるかを行政へアピールし、行政とタイアップした事業展開を提案することが必要だ。

都道府県技師会の役割の一つは「行政へ対する提案型ビジネス」なのである。

第 5 回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会のお知らせ

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 田中 宏

日 時：平成 28 年 6 月 18 日（土）

- | | |
|----------|---------------|
| 1. 総会 | 14:00 ~ 15:50 |
| 2. 休憩 | 15:50 ~ 16:00 |
| 3. 特別講演 | 16:00 ~ 17:00 |
| 4. 情報交換会 | 17:30 ~ |

総会会場：仲町川鍋ビル 8 階会議室

〒330-0845 さいたま市大宮区仲町 2-60 (TEL) 048-641-5529

※委任状（往復はがき）を郵送致します。

欠席されます会員の方は、必ず委任状を返信していただきますようお願い致します。

特別講演

講師：青木商事代表取締役社長 青木 和巳 先生

テーマ：組織とリーダーシップ（後編）

略歴：青木商事代表取締役社長 居酒屋運送屋代表（有）ラブタウンネットワーク代表取締役社長
特定非営利法人学びとくらしのネットワーク代表理事 朝霞法人会会員 朝霞倫理法人会会員
志本市商工会会員

大学 2 年（20 歳）の時、5,000 円で物流事業として運送業をスタートし、（有）青木商事を設立。その後、株式会社へ組織変更。時代の流れを先取りし、居酒屋、IT 関連会社を次々と起業し、全ての事業で成功を収めている。2009 年の過去最高の倒産件数をだした平成の大不景気時代には「儲かる会社ではなく、つぶれない会社」の組織改革に成功し、現在、青木グループ全ての会社が優良企業である。同じ業種でも倒産する会社もあれば、生き残り、さらに発展する会社もある。それは全て組織づくりであり、これからのリーダーシップについて、昨年引き続き青木和巳先生よりご講演をいただく。

情報交換会

総会終了後、情報交換会を準備しております。お時間の許す方はご参加お待ちしております。

情報交換会会場：オオミヤバル

〒330-0845 さいたま市大宮区仲町 2-43-1 COMO 大宮 1F (TEL) 050-5789-6303

情報交換会参加費：4,000 円

会場案内図



診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー —平成28年度(第18回)SARTセミナー—

主催 (公社) 埼玉県診療放射線技師会
(公社) 日本診療放射線技師会

新入会員の方を対象として行われている本セミナーは、(公社) 日本診療放射線技師会と合同企画として開催します。公益法人としての(公社) 日本診療放射線技師会、(公社) 埼玉県診療放射線技師会の活動紹介、および学術関係の基礎的な知識と実習を加え、新入会員の方のみでなく全ての会員を対象とした講習内容を予定しています。皆さまの受講をお待ちしております。

プログラム (敬称略)

平成28年5月29日(日)

08:30～	受付開始	
09:00～09:05	開講式・オリエンテーション	
09:05～09:30	会長あいさつ・技師会について	田中 宏
09:30～10:00	社会人としてのエチケット・マナー講座	中根 淳
10:00～10:30	患者さんに優しい診療放射線技師	大河原 侑司
10:30～10:40	休息	
10:40～12:00	医療安全講座 感染対策講座	佐々木 健
12:00～12:50	昼食(ご用意致します)	
12:50～14:10	実際の検査について(20分×4)	
	CT・肺	城處 洋輔
	MRI	明田川 尚宏
	消化器	今出 克利
	一般撮影	平野 雅弥
14:10～14:20	休息	
14:20～15:50	気管支解剖講座	富田 博信
15:50～16:00	入会案内	平野 雅弥
16:00～	閉講式	

記

日 時：平成28年5月29日(日)

場 所：さいたま赤十字病院5F

受講料：無料

受講資格：診療放射線技師であればどなたでも受講できます

定 員：50人程度

申込方法：本会 Web サイトからお申し込みください

締め切り：平成28年5月23日(月)



平成 28 年度 第 8 回 CT 認定講習会のお知らせ ～ 入門編 & 認定取得者向け ～

主催 (公社) 埼玉県診療放射線技師会

CT 認定講習会も本年度で 8 回目を迎えました。本年度も、従来の CT 認定講習会の他に、認定未取得者を対象とした入門編、認定取得者を対象とした認定取得者向け講習会を開催致します。入門編では CT 認定講習会の講義・実習が長時間のため今まで足を運びにくかった会員の方や、CT 認定講習会のプログラムが難しいと感じていた方を対象とした内容となっております。CT 認定講習会に興味がある方だけではなく、CT 経験の浅い方も奮ってご参加ください。また認定取得者向けでは PC を用いた読影セミナーを企画しました。実際に読影し解説を聴くことで更なる読影力向上を目指し奮ってご参加ください。他にも性能評価や造影技術における最近のトピックスについても情報提供させていただきます。

CT 認定講習会 入門編 プログラム

18:30～18:50	受付		
18:50～18:55	オリエンテーション		
18:55～19:25	撮影条件が画像に与える影響	城處 洋輔	済生会川口総合病院
19:25～19:55	造影理論を理解しよう	中根 淳	埼玉医科大学総合医療センター
20:00～21:00	読影の基礎	富田 博信	済生会川口総合病院

CT 認定講習会 認定取得者向け プログラム

18:30～18:50	受付		
18:50～18:55	オリエンテーション		
18:55～19:55	読影セミナー (読影演習と解説)	富田 博信	済生会川口総合病院
20:00～20:30	性能評価関連の最近のトピックス	城處 洋輔	済生会川口総合病院
20:30～21:00	造影技術関連の最近のトピックス	中根 淳	埼玉医科大学総合医療センター

日 時：平成 28 年 8 月 29 日 (月)
場 所：浦和コミュニティセンター 第 13 集会室 (入門編)
IT 教室 (認定取得者向け)

※認定取得者向け講習会を受講される方も受付は入門編と同じ第 13 会議室です。
(受付後に会場へ移動して頂きます)

参加費：会員 500 円
非会員 1000 円

非会員の扱いは、埼玉県診療放射線技師会の会員以外であっても、日本診療放射線技師会か都道府県放射線技師会の会員であれば会員とみなします。

定 員：入門編 50 人程度
認定取得者向け 30 人 (PC 台数の都合上、定員で締め切らせて頂きます)

申込方法：(公社) 埼玉県診療放射線技師会ホームページ 専用フォーム

申込み期間：7 月 19 日 (火) ～ 8 月 22 日 (月)

連絡先：(公社) 埼玉県診療放射線技師会 Tel 048-664-2728 FAX 048-664-2733

問い合わせ：済生会川口総合病院 城處 洋輔 TEL 048-253-1551

Mail y-kidokoro@sart.jp

注意事項

・認定取得者向け講習会は認定を取得していなくても受講可能ですが、基礎的な内容を習得していることが前提の講義となりますので、ご了承ください。

平成 28 年度診療放射線技師基礎技術講習（埼玉県） 乳房撮影講習会のお知らせ

主催 公益社団法人日本診療放射線技師会

平成 22 年より、診療放射線技師生涯教育事業として基礎技術講習を全国各地域で開催しております。本年埼玉県で乳房撮影講習会を開催致します。講習の目的は、診療放射線技師として必要な基礎知識と技術を身に付け、医療および保険、福祉の向上です。講習カリキュラムは日本診療放射線技師会の学習目標に沿った内容で行われますので、一定レベルの講習会を受講できる環境が担保されています。お申し込みは、JART 情報システムからとなります。奮ってご参加ください。

記

開催日：平成 28 年 7 月 3 日（日）

場 所：さいたま赤十字病院 講堂
〒338-8553
埼玉県さいたま市中央区上落合 8-3-33

定 員：80 人

受講料：日本診療放射線技師会会員 3,000 円（非会員 10,000 円）
※確認試験料 1,000 円を含む
（確認試験を受験しない場合も受講料に変更はありません）

申込方法：JART 情報システムよりお申込みください。
※会員・非会員に関わらず、利用登録が必要です。
詳細は JART 情報システムをご確認ください。

問合せ先：さいたま赤十字病院 放射線科 岡田 智子
TEL 048-852-1111 mail s-okada@sart.jp

JART

公益社団法人日本診療放射線技師会

診療放射線技師基礎技術講習

乳房撮影講習会

北関東地域（埼玉県）

平成 28 年 7 月 3 日（日）

さいたま赤十字病院 講堂

〒338-8553

埼玉県さいたま市中央区上落合 8-3-33

プログラム

	時間	分	科目	講師
1	8:30 ~ 8:50	20	受付	
2	8:50 ~ 9:00	10	開講式・オリエンテーション	
3	9:00 ~ 10:00	60	乳がんの臨床	田中 宏 埼玉県病院局（小児医療センター駐在）
4	10:00 ~ 10:15	15	休憩	
5	10:15 ~ 11:15	60	マンモグラフィの基礎と品質管理	土田 拓治
6	11:15 ~ 12:00	45	デジタルマンモグラフィ	済生会川口総合病院
7	12:00 ~ 13:00	60	昼休憩	
8	13:00 ~ 13:45	45	撮影技術と臨床画像評価基準	新島 正美
9	13:45 ~ 14:30	45	乳腺超音波	埼玉協同病院
10	14:30 ~ 14:45	15	休憩	
11	14:45 ~ 15:45	60	読影とカテゴリー分類	岡田 智子
12	15:45 ~ 16:30	45	乳腺 MRI	さいたま赤十字病院
13	16:30 ~ 16:45	15	休憩	
14	16:45 ~ 16:50	5	確認テスト説明・問題用紙配布	
15	16:50 ~ 17:20	30	確認テスト	
16	17:20 ~ 17:30	10	確認テスト解答回収など	
17	17:30 ~ 17:45	15	修了式（修了証書授与）	

(敬称略)

第 35 回 SAITAMA MRI Conference 特別講演会のご案内

SMC代表世話人 栗田 幸喜

謹啓

時下ますますご清祥の段、誠にお慶び申し上げます。

さて、下記の通り、SMC 特別講演会を開催する運びとなりました。

今回は『乳房 MRI』のテーマで翌日の仕事から生かせるような、フランクな情報交換の場にしたいと考えておりますので、皆さま方には奮ってご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

謹白

記

日 時：平成 28 年 6 月 25 日（土）13：30～16：45

場 所：TKP 大宮駅西口カンファレンスルーム ホール 5 A

参加費：1,000 円

13：30～

《乳房 MRI》～検査に必要な基礎知識から臨床応用～

座長：埼玉医科大学 中央放射線部 平野 雅弥

【製品情報】

『MRI 用造影剤ガドピストについて - 発売から約 1 年を迎えて -』

バイエル薬品株式会社 学術担当課長 島村 智幸

【乳房検査法】

『知っておくべき他モダリティ US』

演者：埼玉協同病院 放射線画像診断科 新島 正美

『知っておくべき他モダリティ MMG』

演者：さいたま赤十字病院 放射線科 岡田 智子

(10 分休憩)

座長：さいたま市立病院 放射線科 藤田 功

『良好な MRM を得るための撮像テクニック』

演者：済生会栗橋病院 放射線技術科 大谷真由美

15：40～

【特別講演】

『しっかり役立つ乳房 MRI』

演者：東京医科歯科大学医学部附属病院 放射線診断科 講師
久保田 一徳 先生

共催／SAITAMA MRI Conference
バイエル薬品株式会社

*磁気共鳴専門技術者更新のための研究会（5 単位）として認定されております。

（当日、受付にて更新のための個人票に押印致しますので、ご提示ください）

*日本救急撮影技師機構より 2 ポイントとして認定されております。

第2回 Smic (Saitama medical information conference)

代表世話人 矢崎 一郎

拝啓

このたび関係各位のご尽力により、医用画像情報を中心とした医療情報のセミナーを開催する運びとなりました。皆さまが気軽に参加し、一緒に考えることができるような会を目指しております。

ご参加、ご協力をお待ちしております。

敬具

日時 平成28年6月25日(土) 14:30～ 受付14:00～

場所 独立行政法人地域医療機能推進機構

埼玉メディカルセンター 大会議室

会費 1000円

14:30～

これからの PACS 将来を見据えて

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

PSP株式会社

シーメンスヘルスケア株式会社

15:30～(予定)

病院ネットワークの基礎知識

アライドテレシス株式会社ビジネスエンジニアリング本部

東日本システムエンジニアリング部 北関東支社付 SE 課長 金子 智之

16:45～(予定)

PACSのリプレイスは 本当に大変なのか?!

～想定外を想定内に! 結果は…～

北里大学病院 放射線部 第Ⅲ診断係 神宮司 公二

後援 (公社)埼玉県診療放射線技師会 医用画像情報専門技師会

医用画像情報専門技師・医療情報技師ポイント申請中

参加資格は問いません。興味のある方はどなたでもご参加いただけます。

第47回 埼玉CT Technology Seminar 学術集会のご案内 メインテーマ『3D-CTテクノロジーを活用しよう!』

日時：平成28年8月7日（日） 9：00～17：30

場所：さいたま赤十字病院 5階 講堂 会費1,000円

代表世話人 済生会川口総合病院 富田 博信

当番世話人 羽生総合病院 染野 智弘

総司会 さいたま市民医療センター 今出 克利

羽生総合病院 染野 智弘

共催メーカー：エーザイ株式会社

開会挨拶（9：00～9：05）

製品紹介（9：05～9：20）

セッションⅠ 教育講演（9：20～10：10）

『実践3D-CTの現状』

座長：JCHO 埼玉メディカルセンター 八木沢英樹

広島大学病院 石風呂 実

休憩（10：10～10：20）

セッションⅡ 教育講演（10：20～12：30）

『実演：3D-CT作成』

座長：さいたま市立病院 双木 邦博

～頭頸部サブトラクション（骨除去）、動静脈分離の実践～

1. Ziostation2（ザイオソフト）
2. VINCENT（富士フィルムメディカル）
3. Aquarius iNtuition（TeraRecon）

さいたま赤十字病院 宮城 正人

さいたま市立病院 野々浦成美

済生会川口総合病院 城處 洋輔

休憩（12：30～12：40）

ランチョンセミナー（12：40～13：20）

『FFRCTと最新CT事情』

座長：埼玉石心会病院 塩野谷 純

順天堂大学医学部附属順天堂医院 木暮 陽介

休憩（13：20～14：00）機器展示など

セッションⅢ 教育講演 (14:00～15:00)

座長：西狭山病院 小澤 昌則

『3D-CT 応用編：ワンランクアップする撮影技術と Image Processing』

- | | | |
|--|----------------|-------|
| 1. 肺動静脈分離 | 埼玉医科大学総合医療センター | 栗原 良樹 |
| 2. 下肢 CTA W テストインジェクション | 済生会川口総合病院 | 富田 博信 |
| 3. Dual-Energy を用いた 3D-CT Colonography | 済生会栗橋病院 | 内海 将人 |

休憩 (15:00～15:10)

特別講演Ⅰ (15:10～16:10)

座長：羽生総合病院 染野 智弘

『後日掲載予定』

東京大学医学部附属病院 井野 賢司

休憩 (16:10～16:20)

特別講演Ⅱ (16:20～17:20)

座長：済生会川口総合病院 富田 博信

『臨床で認められる 3D 画像作成のための当院の試みと脳神経 3D』

札幌医科大学附属病院 平野 透

閉会挨拶 (17:20～17:30)

次回当番世話人：さいたま市民医療センター 今出 克利

共催：埼玉 CT Technology Seminar

エーザイ株式会社

後援：(公社) 埼玉県診療放射線技師会

埼玉 CT Technology Seminar (<http://sctt.sakura.ne.jp/>)

※会場にはできるだけ公共交通機関をご利用ください。

ランチョンセミナーではお弁当をご用意しております。

数に限りがありますのでご了承ください。

- ・日本 X 線 CT 専門技師認定機構ポイント申請中
- ・肺がん CT 検診認定機構ポイント申請中
- ・日本救急撮影認定機構ポイント申請中

循環器 CT セミナー 2016 のご案内

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、心臓 CT 検査を中心とした撮影技術の向上を図ることを目的として【循環器 CT セミナー 2016】を開催する運びになりました。本セミナーは、翌日の仕事から役立つようなフランクな情報交換の場にしたいと考えておりますので、皆様方には奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

敬具

日 時 : 2016 年 8 月 27 日 (土) 10:30 ~ 18:00
 場 所 : 浦和コルソコミュニティプラザ 7F ホール
 参加費 : 500 円 (弁当なし) 1000 円 (弁当あり) ※弁当は限定 100 個です

10:30 X 線線量情報の一元管理システム～ Radimetrics ～ 日本メドラッド株式会社
 開会の辞 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会第二支部理事 大西 圭一
 【基礎講演】 10:50 ~ 11:30 座長：三井記念病院 皆川 利浩

『TEC から考える造影 CT 検査の基礎』
 演者：さいたま赤十字病院 寺澤 和晶 先生

ランチョンセミナー 11:40 ~ 12:20 座長：済生会川口総合病院 豊田 奈規

『心臓 CT 最新技術報告』(各 10 分)
 フィリップスエレクトロニクスジャパン 守屋 芽実
 シーメンス・ヘルスケア株式会社 松浦 孝俊
 東芝メディカルシステムズ株式会社 天野 清香
 GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 大川 博和

セッション I 12:30 ~ 14:20 座長：神奈川県立がんセンター 太田陽一郎

『冠動脈 CT 教えます！～基本的な考え方から心電図・検査値まで～』 上尾中央総合病院 舘林 正樹
 『心臓 CT 撮影タイミング補正の基礎と TBT 変法の臨床応用について』 深谷赤十字病院 齋藤 幸夫
 『冠動脈 Subtraction CTA の臨床経験』 高瀬クリニック 高柳 知也

セッション II 14:30 ~ 15:00 座長：益子病院 蒲田 淳一

『大動脈弁閉鎖不全における心臓 CT の造影法について』
 演者：順天堂大学医学部附属練馬病院 堂領 和彦

15:10 ~ 15:25

『日本診療放射線技師会の現状と将来構想について』
 日本診療放射線技師会理事 富田 博信

【技術講演】 15:35 ~ 16:35 座長：上尾中央総合病院 佐々木 健

『冠動脈 CT 検査と放射線被ばく ～発がんリスクの推定、そして最適化に向けて～』
 演者：金沢大学保健学系量子医療技術学講座准教授 松原 孝祐 先生

【特別講演】 16:45 ~ 17:45 座長：石心会川崎幸病院 石田 和史
 江戸川病院 佐藤 英幸

『心臓 CT のエビデンス』
 演者：慶應義塾大学医学部放射線科学教室主任教授 陣崎 雅弘 先生

閉会の辞 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会第二支部理事 大西 圭一
 共催：埼玉県診療放射線技師会第二支部 / バイエル薬品株式会社

第32回 日本診療放射線技師 学術大会

The 32nd Japan Conference of
Radiological Technologists (JCRT)



国民と共にチーム医療を推進しよう Let's promote team medical care with the nation

がん診療に挑む — 私たちはどこまで担えるか —

Tackling the Challenge of Examining and Treating Cancers - how far can we go ?



会期
Date 2016年9月16日(金)~18日(日)
September 16th (Fri)-18th (Sun), 2016

会場
Venue 長良川国際会議場・岐阜都ホテル
Nagaragawa Convention Center・Gifu Miyako Hotel

会長
President 中澤 靖夫 (公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長)
Yasuo Nakazawa (The Japan Association of Radiological Technologists)

大会長
Chairman 安田 鋭介 (公益社団法人 岐阜県診療放射線技師会 会長)
Eisuke Yasuda (The Gifu Association of Radiological Technologists)

主催：公益社団法人 日本診療放射線技師会

Host The Japan Association of Radiological Technologists

共催：公益社団法人 岐阜県診療放射線技師会

Cosponsor The Gifu Association of Radiological Technologists

<http://jcrt32.umin.jp>

運営事務局
Secretariat 日本イベント企画株式会社内
〒503-0006 大垣市加賀野4丁目1番地19
TEL : 0584-71-6137 FAX : 0584-71-6130 E-mail : jcrt32@ne-planning.com

NIPPON EVENT PLANNING CO.,LTD.
4-1-19 Kagano, Ogaki-City, Gifu, 503-0006 JAPAN
Tel : +81-584-71-6137 Fax : +81-584-6130 E-mail : jcrt32@ne-planning.com

写真提供：岐阜市

「拡散をもう一度振り返る」

～今、振り返る基礎 Motion Probing Gradient : MPG～

埼玉県済生会川口総合病院
丸 武史

1. 拡散強調画像

1-1 はじめに

拡散強調画像 (Diffusion Weighted Image : DWI) は、現在の MRI 検査において欠かせないシーケンスとなっている。特に、超急性期または急性期の脳梗塞診断に有用とされ、救急医療の場において MRI が必要不可欠となる要因になったシーケンスともいえる。また救急医療以外の臨床においても、腫瘍の質的診断や悪性腫瘍の全身検索などその使用は多岐に及んでいる。

さらに最近の技術の進歩により、拡散テンソル、DKI (diffusional kurtosis imaging)、QSI (q-space imaging) と発展を遂げ、その応用はとどまることを知らないシーケンスである。そのため、今一度拡散強調画像の基礎や原理を理解しておくことは非常に重要である。

1-2 拡散 diffusion

拡散強調画像は、文字通り「拡散 diffusion」を強調した画像である。一般に拡散というと「濃度の分布が非平衡な状態から平衡状態に自然に変わっていく現象」を指す。ここで、拡散現象の例を図1に示す。水が入ったコップにインクを1滴たらすところを思い浮かべていただきたい。拡散とは、垂らしたインクが徐々に水に攪拌され混

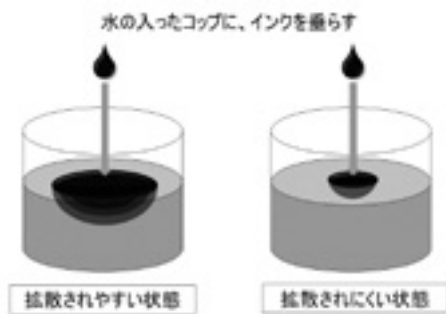


図1. 拡散現象の例

ざっていく様子である。しかし、拡散現象は全てにおいて同一ではない。早く水に溶けて混ざるものもあれば、徐々に混ざっていくもの、全く攪拌されないものなど、拡散する速度はさまざまである。実際、拡散強調画像はその「拡散する速度の差」を画像化している。

1-3 人体組織の中の拡散現象

MRI において観察される拡散現象は、主に水分子の自己拡散 (ブラウン運動) である。自己拡散とは、水分子が動きやすいか動きにくいということであり、「動きやすい」=「拡散しやすい」、 「動きにくい」=「拡散しにくい」となる。人体組織において水分子の自己拡散は、粘稠度、細胞内液、細胞外液のバランス、細胞密度によって差が生じ、拡散強調画像で捉えることが可能である。

2. Motion Probing Gradient : MPG

2-1 拡散強調画像のシーケンス

一般的な拡散強調画像のシーケンスチャートを図2に示す。ここで MPG は 180 度パルスをはさむ2つの傾斜磁場 (矢印) のことである。仮に MPG がなければ T2 強調画像になってしまう。よって拡散強調画像を得るために MPG は必須である。

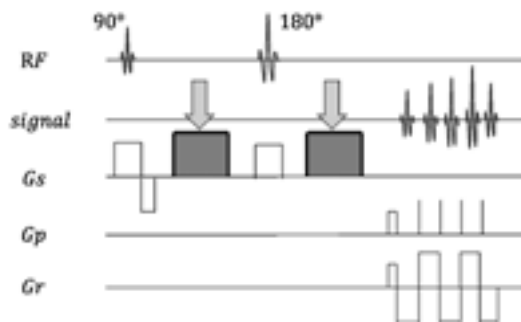


図2. DWI : SE-EPI のシーケンスチャート

一般に、傾斜磁場をかけると共鳴周波数や位相が変化するが、通常は3次元の位置情報を得るために用いられている。一方、拡散強調画像ではMPGという2つの傾斜磁場によって水分子の拡散運動を位相の変化として捉えて画像化している。

2-2 MPGが生態に及ぼす影響

先述のようにMPGは2つの傾斜磁場であるが、実際は「同じ強度で極性が反対の2つの傾斜磁場」のことを指す。このような特性の傾斜磁場を双極傾斜磁場という。

この双極傾斜磁場を用いると、水分子の拡散する速度の差を位相差として捉えることができる。

①拡散しにくい水分子を動きにくい「静止核」
 ②拡散しやすい水分子を動きやすい「移動核」とみなすと、図3に示すように「静止核」は動かないので、最初の傾斜磁場によって進んだ位相は2つめの傾斜磁場（同じ強度で極性が反対）によって位相が元に戻る。一方「移動核」は、移動しているがために最初の傾斜磁場と同じ影響を受けず、位相が元に戻らない。このようにして「静止核」と「移動核」とに位相差が生じる。この結果、得られる合成磁気モーメントは「静止核」で大きく（位相が元に戻っているため強い信号強度を示す）、「移動核」で小さく（位相がバラバラなので信号強度が低い）なり、コントラストとして強調される。

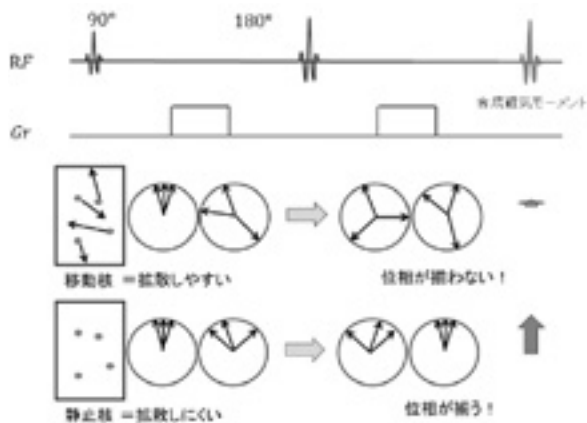


図3. MPGが生態に及ぼす影響

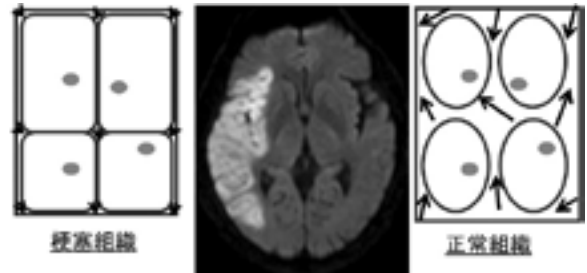


図4. 急性期脳梗塞の水分子

実際の臨床画像を図4に示した。画像は急性期脳梗塞の臨床例である。図において、正常な脳組織の水分子は自由に動けるので「移動核」とみなすことができ、信号強度は低くなる。一方、脳梗塞により細胞性浮腫が生じている水分子は動きが制限されるので「静止核」とみなすことができ、信号強度が高くなる。このようにして水分子の拡散運動を画像化することが可能となる。

ここまでMPGは、双極傾斜磁場のことであり、「移動核」と「静止核」とに位相差を生じさせ、水分子の拡散運動を画像化していることを簡単に示した。次節からは、なぜこのような現象が起きるのか、MPGの基礎や原理について記述していきたいと思う。

3. MPGの原理

3-1 傾斜磁場

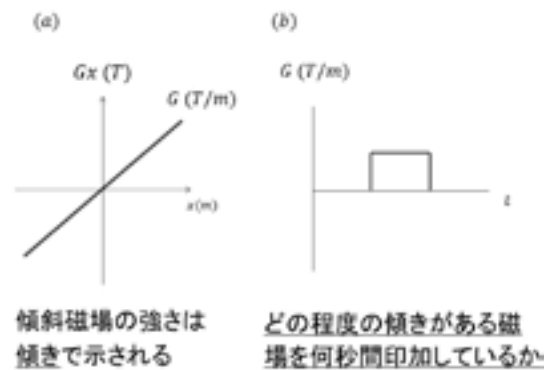


図5. 傾斜磁場

MPGは双極傾斜磁場のことであるが、まずは傾斜磁場の基礎について記述する。図5に示したように傾斜磁場とは文字通り「磁場の傾き」であ

る。図 5a のように座標（ここでは x 座標）によって磁場強度（T）に傾きを持たせている。よって傾斜磁場が強いというのは「磁場の傾きが大きい」ということである。実際の MRI では、図 5b のように横軸に時間（t）、縦軸に磁場の傾きで示される。これはどの程度の傾きを持った傾斜磁場が、何秒間かかっているかということを示している。パルスシーケンスでは図 5b のように表記される。

3-2 位相と共鳴周波数

位相と共鳴周波数（角周波数）の関係について図 6 に示す。

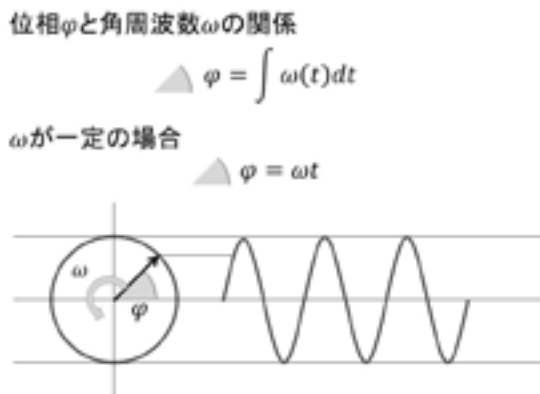


図 6. 位相と周波数

位相 φ と共鳴周波数 ω には以下のような関係がある。

$$\varphi = \int \omega(t) dt \quad \dots \text{式①}$$

つまり、位相 φ と共鳴周波数 ω の時間積分で示される。ここで共鳴周波数 ω が一定の場合は

$$\varphi = \omega t \quad \dots \text{式②}$$

となり、位相 φ は共鳴周波数 ω と時間 t の積という単純な式となる。これは「位相は時間 t に比例する」ことを示している。

3-3 傾斜磁場による共鳴周波数と位相の変化

3-3-1 ラーモアの式

一般に傾斜磁場が印加されると共鳴周波数や位相が変化するが、これを説明するにはラーモアの

式の理解が不可欠である。一般に、静磁場 β_0 にさらされた水素原子核はラーモアの式に従った周波数で回転する。

$$\omega_0 = \gamma \beta_0 \quad \dots \text{式③}$$

γ は磁気回転比と呼ばれる各核種に特有な定数である。つまり原子核の周波数は磁場強度（T）に比例するということである。

3-3-2 傾斜磁場と共鳴周波数および位相の関係

傾斜磁場を印加する（ここでは x 座標）とラーモアの式によって共鳴周波数は以下のように変化する。

$$\omega_0 = \gamma(\beta_0 + Gx) = \gamma\beta_0 + \gamma Gx \quad \dots \text{式④}$$

傾斜磁場 G の単位は（T/m）であるが、座標 x (m) をかけることで Gx (T) となり、磁場強度の単位になる。式④より、傾斜磁場を印加すると共鳴周波数は γGx 分だけ変化することが分かる。

次に位相の変化について考える。先述のように傾斜磁場を印加したときの共鳴周波数の変化分は

$$\omega = \gamma Gx \quad \dots \text{式⑤}$$

であった。さて、3-1 で記述したように傾斜磁場はある一定時間（ t ）印加される。そのため式⑤の両辺に t を乗じると

$$\omega t = \gamma Gxt \quad \dots \text{式⑥}$$

となり式②の位相と共鳴周波数の関係より

$$\varphi = \omega t = \gamma Gxt \quad \dots \text{式⑦}$$

となる。よって傾斜磁場を印加したときの位相は γGxt 分だけ変化することが分かる。

3-4 双極傾斜磁場

傾斜磁場 G を印加すると、共鳴周波数や位相が変化することが前節により示されたが、ここで水素原子核の傾斜磁場印加時の位相を考える。式⑦より傾斜磁場が一定とすると、位相は時間（ t ）に比例することが分かる。つまり「位相の変化量は傾斜磁場の印加時間（ δ ）に単純比例する」ということである。

図 7 に示すように、任意の座標 x における位相は印加時間に比例するので、時間 δ 後に最大になる。ここで、続いて同じ強さで極性が反対の傾斜磁場 $-G$ を印加すると、先ほど増加した位相が減

少し、 2δ 後に最初の位相に戻ることになる。このような $G/-G$ という組み合わせを「双極傾斜磁場」という。よって双極傾斜磁場を印加すると位相は元に戻ることが分かる。ただし、これは静止している水素原子核、つまり「静止核」の場合である。

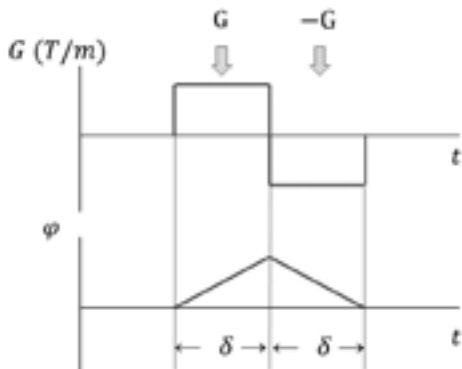


図7. 双極傾斜磁場を印加したときの位相

3-5 移動核の位相

移動核とは、水素原子核の座標 x が時間によって変化することを示している。つまり座標 x が時間 t の関数 $x(t)$ になるということである。よって、式⑦は、以下ようになる。

$$\varphi = \gamma G \int x(t) dt \quad \dots \text{式⑧}$$

ここで原子核が元の座標 x_0 から速度 v で移動したとすると、時間 t 後の移動核の座標は以下のようになる。

$$x(t) = x_0 + vt \quad \dots \text{式⑨}$$

式⑨を式⑧に代入すると

$$\varphi = \gamma G \int (x_0 + vt) dt$$

となり、これを解くと

$$\varphi = \gamma G x_0 t + \gamma G \frac{1}{2} vt^2 \quad \dots \text{式⑩}$$

となる。式⑩の $\gamma G x_0 t$ は静止核の位相と同じであるので、移動核の位相は静止核の位相よりも $\gamma G \frac{1}{2} vt^2$ 分進んでいることを示している。

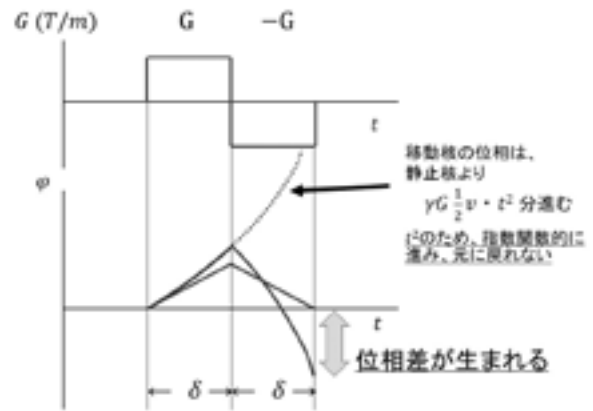


図8. 移動核の位相

双極傾斜磁場を印加したときの、移動核の位相について図8に示した。静止核の場合は印加時間に比例関係であるため、位相は最初の状態に戻ったが、移動核は $\gamma G \frac{1}{2} vt^2$ 分進んでいるため位相が元に戻らない。つまり双極傾斜磁場を印加すると「静止核」と「移動核」との間に位相差を生じさせることを示している。

さらに実際のMRIでは、双極傾斜磁場の正負のローブに間隔を設定することがある (図9)。

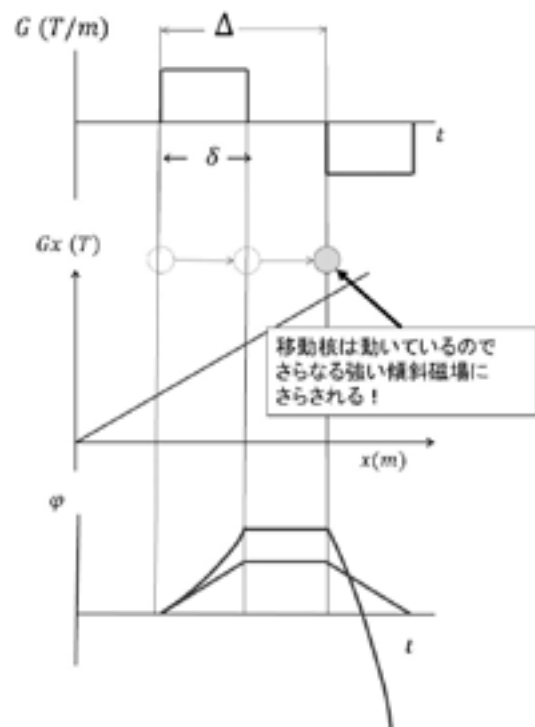


図9. 正負のローブに間隔があるときの位相

この場合にも静止核の位相は最初の状態に戻ることができるが、移動核の位相はさらに変化することになる。図9に示したように、傾斜磁場がかかっていない間隔（ここでは Δ ）にも、核は移動して次の傾斜磁場がかかったときにより高い（もしくは低い）磁場にさらされることになるからである。傾斜磁場のかかっていないローブ間隔には位相は変化しないが、次のローブから始まる位相減少曲線の角度がより急になる。つまり「傾斜磁場のかかっていない間隔も移動核の位相変化に寄与している」ということである。

このようにして、双極傾斜磁場を印加することにより原子核の動きを位相差として捉えることができる。そしてこのような双極傾斜磁場をMPG (Motion Probing Gradient) と呼んでいるわけである。

4. 拡散をもう一度振り返る

4-1 b値について

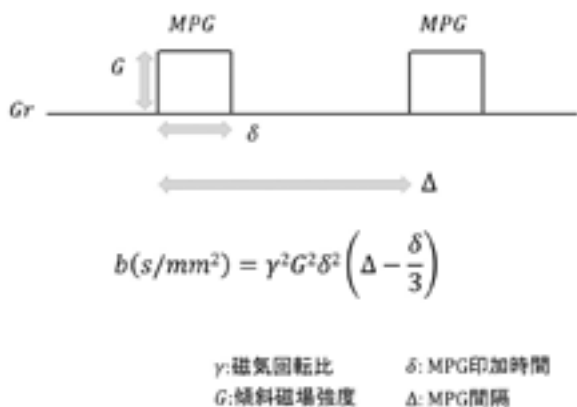


図10 b値

ここまでDWIの基礎としてMPGの原理について記述してきたが、実際に原理や基礎を知ることによって拡散強調画像について理解できることがある。その1つがb値である。b値とは拡散がどの程度強調されているかを示す値であり、大きい値になるほど拡散の強調された画像となる。b値は、実際は図にもあるように以下の式で表される。

$$b(s/mm^2) = \gamma^2 G^2 \delta^2 \left(\Delta - \frac{\delta}{3} \right)$$

G は傾斜磁場強度、 δ はMPG印加時間、 Δ はMPG間隔である(図10)が、これらは全てMPGの因子である。つまり、b値はMPGの性質そのものであるといえる。例えば δ (MPG印加時間)について考えてみると、式⑩に示したように移動核と静止核の位相差は傾斜磁場の印加時間が長いほど大きいため、 δ が大きいほど拡散を強調した画像になると予想することは容易である。また Δ は3.5で示したように、傾斜磁場のかかっていない間隔も移動核の位相変化に寄与しているため、拡散の強調程度に寄与していることが予想できる。このようにMPGを理解することで、拡散強調画像についての理解をさらに深めることが可能となる。

4-2 DWIからの応用・派生シーケンスについて

拡散強調画像から派生したシーケンスも、MPGの原理を知ることによって理解しやすくなる。その一つにlow b imagingが挙げられる。

Low b imagingはDWIのb値を通常よりも低く設定して、血液信号を抑制した(Black Blood)脂肪抑制T2強調画像を取得するシーケンスである。一般に頭部や対幹部において、b値は800~1500に設定されることが多いが、low b imagingでは10~50程度の小さいb値を設定する。つまり、MPGを少しだけ印加するというのである。DWIのシーケンスはMPGが設定されないとT2強調画像になってしまうが、MPGが少しだけ印加されていることにより、より動く水分子(移動核)のみに位相差を生じさせている。そのより動く水分子は、体内においては血流に当たる。よって少しのMPGを印加することにより、血流信号を抑制したT2強調画像を取得することが可能となる。このシーケンスにおいても、MPGの特性を知っていれば理解しやすいものとなる。

その他、MSDE (Motion Sensitized Driven Equilibrium) 法やDSDE (Diffusion-sensitized Driven Equilibrium) 法、PC (Phase Contrast) 法やMRE (MR Elastography) に至るまで、

MPGについて理解することで、シーケンスの理解がより容易となる。これらのシーケンスについての説明は本稿では割愛するが、MPGを理解した後、ぜひ振り返っていただきたい。

5. さいごに

何事においても、基礎は非常に重要である。これまでMPGについて詳細を記述してきたが、拡散強調画像を理解するには必須の基礎である。そのため、MPGの原理についての正確な理解が重要となる。今回まとめた内容に関して、理解しやすいように一部の式や文言が正確ではない表現または簡略化されたものになっているのをご容赦願いたい。詳細についてさらに興味のある読者は、後述する参考文献を参照していただければ幸いである。

本稿でまとめた内容が、これからの業務や理解の一助になれば幸いである。

参考文献

1. 拡散MRI
ブラウン運動，拡散テンソルからq空間へ
荒木力・著 秀潤社
2. MRI応用自在 第3版 監修：高原太郎
MEDICAL VIEW

「医療被ばく低減施設認定までの軌跡」

～プロジェクト発足から認定まで～

埼玉県済生会栗橋病院

鈴木 孝

1. はじめに

当院は、平成 28 年 3 月に全国 59 番目、埼玉 8 番目の「医療被ばく低減施設」として認定された。今回、当施設における医療被ばく低減施設認定プロジェクト発足から認定までの主な取り組みを紹介する。

2. 医療被ばく低減施設認定プロジェクト発足

平成 26 年 7 月

●プロジェクト概要

医療被ばく低減施設認定プロジェクト

●目的

医療被ばく低減について、われわれ診療放射線技師が責任を持ち、医療被ばくの適正化を実施する。また検査に関する内容開示や説明を行うこと、相談を受けることは当然であり、それを実践することにより質の高い医療を提供できることになる。

(公社)日本診療放射線技師会では、医療被ばく低減を実践している施設に対し認定を与えている。医療被ばく低減施設認定の審査を受審し、医療被ばく低減施設認定を取得する。

●プロジェクト最終目標

平成 27 年 3 月 31 日までに医療被ばく低減施設認定審査を申し込む。申し込みから訪問審査完了までに必要な期間は 6 ヶ月程度である。

●プロジェクトの主要スコープ

被ばく線量および散乱線分布の測定を行い、職員への啓蒙を行う。機器管理を行うこと。科内スタッフの院内外の活動記録(特に市民活動や放射線関連発表の抄録)

●スケジュール

平成 26 年 7 月 プロジェクト発足

平成 26 年 12 月 被ばく線量測定および散乱線

測定終了

平成 27 年 3 月 医療被ばく低減施設認定の審査申し込み

●プロジェクト組織図

1. マネージャー(管理者):放射線技術科科长
プロジェクト全体の進捗管理・意志決定
2. リーダー(先導者):主任(放射線管理士・放射線機器管理士)
結論を導く。各プロセスの実行を指揮する
3. ファシリテータ(促進者):放射線技術科副科長
議論を促進。メンバーの主体性を引き出し、意見調整する
4. メンバー
被ばく線量測定および散乱線測定:4人
組織臓器線量測定:3人
職員への啓蒙活動、教育訓練および記録:3人
書類準備:2人
マニュアル整備:3人

3. 施設見学

平成 26 年 10 月:4 ヶ月後

施設見学は、医療被ばく低減施設認定を取得していた済生会川口総合病院の富田科長にお願いした。認定取得までの流れや線量測定、マニュアル整備、訪問審査時のアドバイスをいただいた。

4. 被ばく線量測定および散乱線測定

●一般撮影における線量測定

医療被ばく低減施設における入射表面線量は NDD 法や PCXMC などにより算出可能であるが、それらの数値との整合性を図るため実測による測定も加えた。

一般撮影の医療被ばくガイドライン（低減目標値）は入射表面線量で表記されているため、ガイドラインに提示されている部位の体厚に準じたアクリルファントム厚を設置。臨床の標準撮影条件を用い、ファントム表面に後方散乱線を加味した入射表面線量を電離箱線量で測定した。当施設は小児撮影も行っているが、年齢別の撮影条件が整備されておらず、今回の測定を機に、ガイドラインに沿った年齢別の小児撮影条件（表1）を作成し、視覚評価を加えながら撮影条件を決定した。

小児年齢 撮影条件	kV	電流	距離	mAs	フィルタ	焦点径	線量率
0歳 胸野(正面)	65	250	110	2	-	0.2	0.13mGy
0歳 胸野(側面)	65	250	110	3.2	-	-	0.21mGy
1歳未満 胸野(正面)	65	250	110	2.5	-	0.2	0.11mGy
1歳未満 胸野(側面)	65	250	110	3.6	-	-	0.27mGy
2-3歳 胸野(正面)	90	250	150	2.5MED	*	0.2	0.19mGy
2-3歳 胸野(側面)	90	250	150	4MED	*	-	0.25mGy
7歳以上 胸野(正面)	120	250	200	3MED	*	-	0.13mGy
7歳以上 胸野(側面)	120	250	200	4MED	*	-	0.23mGy

アクリルファントム厚
胸野(正面)10cm

表1. 小児撮影条件

● 上部・下部消化管検査における線量測定

上部および下部消化管 X 線検査における低減目標値は、1 検査における透視および撮影の総入射表面線量で示されている。標準体厚のファントムの入射面に線量計を設置し後方散乱線を含めた透視線量率、1 回の撮影線量を測定。1 検査の平均透視時間、撮影ショット数を乗じて総入射表面線量とし算出した。また上部・下部消化管検査におけるガイドラインは直接撮影、間接撮影、CR 撮影、DR 撮影ごとに異なるため、自施設の装置に合わせた線量低減目標値を確認していただきたい。

● 血管撮影における線量測定

血管撮影は多方向からの照射が用いられるが、測定は複雑かつ困難となる。医療被ばくガイドラインにおける基準線量は、平均的な成人に対する単位時間当たりの患者入射面における吸収線量を施設の基準線量と定義している。当施設での幾何

学的配置（図1）は、IVR 基準点（Interventional Reference Point）に線量計を設置し、JIS 規格に準じ 20cm のアクリルファントムを寝台に設置し SID は 100cm とした。臨床で使用する透視パルス・撮影条件で基準透視線量率・撮影線量を測定し、消化管検査と同様、1 検査当たりの平均線量として算出した。

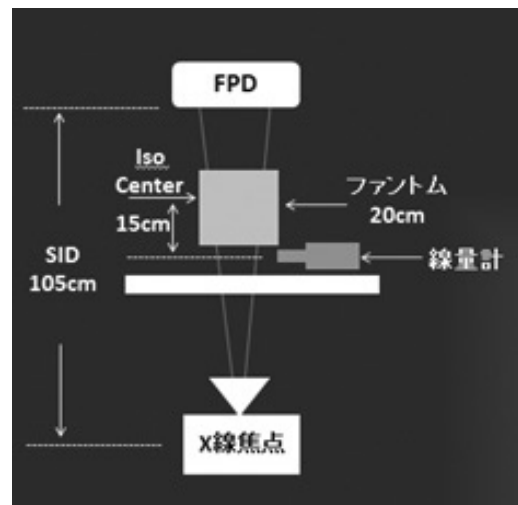


図1. IVR 基準点による幾何学的配置図

● 散乱線における空間線量測定

放射線業務従事者における被ばくを把握するために、ポータブル・外科用イメージ・透視検査・血管撮影における空間線量（図2）を測定した。

ポータブルは半径 1m、2m の円周上を基準に各 8 ポイント測定。その他検査については 50cm ごとの測定ポイントを高さ 100cm・150cm で測定。その数値を基に室内散乱線量分布図を作成、従事者の啓蒙にも活用した。



図2. 室内散乱線量分布図

● CT 検査における被ばく線量評価

線量評価には、CT 装置コンソール上に表示される CTDIvol (mGy) と DLP (mGy・cm) の推測値を使用した。検査部位別の線量は、診断参考レベル (DRLs2015) で示されている成人・小児 CT の数値を目標値とした。

評価方法には被ばく線量シミュレーションツールである ImPACT CT patient dosimetry calculator (以下、ImPACT) を使用し、検査部位別の実効線量 (mSv) と臓器別吸収線量 (mGy) を推測した (図 3)。シミュレーションを行うに当たり、使用装置を選択するデータセットが必要になるため事前の購入が必要である。

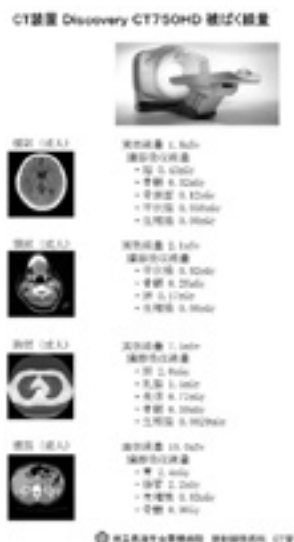


図 3. 検査部位別の実効線量と臓器別吸収線量

ImPACT の使用方法は、Scan Calculation の Scanner Model と Acquisition Parameters に装置やパラメータの設定を行い、organ weighted scheme を ICRP publication103 にすることで被ばく線量を推測した。ただし、データセットは近年更新されておらず当院の使用装置は含まれていないため、ImPACT に表示されている CTDIvol をコンソール上の推測値に合わせシミュレーションを行った (図 4)。

日常における被ばく線量データの管理は、撮影後に自動作成される患者の Dose report を PACS により保存している。また保存した線量データを

ImPACT でシミュレーションすることで被ばく線量の質問に対する回答をしている。



図 4. ImPACT によるシミュレーション

5. 組織臓器線量測定

医療被ばく低減施設認定においては、検査ごとの臓器別線量は必須である。PCXMC を用いて算出したものは、一般撮影、透視撮影、血管撮影である (図 5)。

一般撮影では、各部位ごとに 1 部位ルーチン撮影の各撮影方向に対し計算し合算した (小児に関しては年齢別)。透視検査を伴う血管撮影などは透視・撮影を含めた値にて算出した。これらはかなりの算定量で、多くの時間を費やし修正を幾度となく行い、実測班との値の照合は重労働だった。またアンダーチューブのアンギュレーションの入力も慣れが必要だった。今回の PCXMC データを基に被ばく相談などに対応している。



図 5. PCXMC データ

6. 職員への啓蒙活動、教育訓練および記録

啓蒙活動として年に2回、全職員を対象にした医療被ばく勉強会を開催した。勉強会では出欠を取り受講者にはアンケートを実施し、必要な知識・技術が習得できたかどうかを検証した。なお出席できなかった職員には、院内イントラネットを利用し勉強会のスライドを閲覧できるようにした。

また当院では「健康すくえあ」と称した病院祭りを年1回開催している。放射線科ブースでは、毎年被ばく相談を実施している。

7. マニュアル整備

●検査マニュアル

検査室ごとに装置の操作方法や患者間違い、部位間違いなどの防止対策を規定した検査マニュアルを作成した。また定期点検および始業終業点検マニュアル、被ばく線量、臓器線量、検査ごとのガイドラインとの比較、感染対策マニュアルなどを一冊にまとめた。性腺防護マニュアルは一般撮影室マニュアルに綴じた。

●被ばく相談マニュアル

データ一覧でなく、どのように説明するか明示したものとした。被ばく相談フローチャート、被ばく相談心得、被ばくレベル1・2・3の説明をまとめた。

●小児撮影条件設定マニュアル

一般撮影における撮影条件を撮影部位、年齢別に一覧表にした。

●ポケットマニュアル

大きさは白衣の胸ポケットに入るサイズにした(図6)。

内容は医療被ばくガイドライン2006およびDRLとの比較、放射線について、確定的影響・確率的影響、しきい線量、医療被ばくQ&Aなどを記載した(図7)。



図6. ポケットマニュアル①



図7. ポケットマニュアル②

●レントゲン手帳

レントゲン手帳による運用は、周辺施設のご理解を得る必要があると考え、現在運用していない。患者さんの線量は記録を残し、要望があれば提示は可能である。質問や相談を受けたときに具体的な数字を用いて説明できることが重要と考えた。

●プロテクター管理台帳

プロテクターは外観を写真に撮り全てに番号を振り管理している(図8)。劣化による破損を確認するためにCT装置でスカウト画像を撮影し、破損の有無を確認している。



図8. プロテクター管理台帳

8. プロジェクトスケジュール延長

平成 27 年 3 月：9 ヶ月後

プロジェクト最終目標日の平成 27 年 3 月 31 日を迎えていたが、線量測定、組織臓器線量測定、マニュアルの整備の遅れがあり、このタイミングで受審するのは無理であると判断し、プロジェクトは延長することにした。当初の見通しが甘かったことに気付かされた。

9. 認定審査申し込み

平成 27 年 7 月：1 年 1 ヶ月後

新年度になり測定やマニュアル作成が少しずつ進み何とか形になってきた。またプロジェクト会議を月一回開き、進捗状況を共有した。平成 27 年 7 月のプロジェクト会議にて一通りの準備はできたと判断し、7 月 14 日に認定審査の申し込み、7 月 17 日審査書類が届いた。

10. 書面審査

平成 27 年 8 月：1 年 2 ヶ月後

必要事項を記入し 8 月 14 日に返送した。

●現状調査票

当院で検査が行えるモダリティーの種類の記事と医療被ばくに関する研究報告・論文の資料を添付した。

●自己評価調査票

プロジェクトメンバー全員でモダリティーごとに ABC の 3 段階で評価し、C 評価に該当する項目は改善し、全ての項目が AB 評価になるまで検討を行った。領域ごとに自由回答欄が設けてあり努力している点、苦勞している点、特徴的な点を記入した。

11. 書面審査合格

平成 27 年 8 月：1 年 2 ヶ月後

現状調査票および自己評価調査票提出後、約 2 週間後の 8 月 31 日付けで書面審査「合格」の通知が届いた。

訪問審査日については、平成 27 年 11 月から平成 28 年 1 月の間で、都合のよい日を選ぶとのこ

とだった。9 月 8 日に訪問審査の希望日を FAX にて返送した。

12. 訪問審査日決定

平成 27 年 11 月：1 年 5 ヶ月後

FAX を送ってから約 1 ヶ月半後の 10 月 26 日付けで、訪問審査日決定の通知が届いた。訪問審査日時は、11 月 27 日 13 時 30 分から 17 時 00 分だった。書類内容は、必要書類一覧、訪問サーベイヤー氏名、審査スケジュール、訪問審査料(¥30,000)の振り込み先だった。

13. 訪問審査必要書類一覧

1. 平成 26 年度分の照射録または放射線検査依頼書
2. 過去 3 年分の病院職員・地域住民を対象とする医療被ばくに関する講習会などの回報および結果についての資料
3. 検査における放射線被ばく線量一覧
4. 放射線被ばくの説明マニュアルおよび質問に対する回答手順マニュアル
5. 放射線検査に関する検査手順マニュアル
6. モダリティー別臓器線量一覧 (2 部)
7. 放射線管理士・放射線機器管理士の認定証(認定カード)のコピー
8. 過去 3 年間に於ける医療被ばく低減に関する学会報告の抄録、論文のコピー
9. 医療事故防止対策を規定した医療安全マニュアル(撮影マニュアルでも可)
10. 小児・乳幼児の撮影条件決定方法に関する資料
11. 過去 1 年間の X 線装置および周辺機器の保守管理台帳、定期点検結果表、修理報告書
12. 病院内における放射線安全対策委員会等の運営記録および議事録
13. 過去 3 年分の放射線立入り検査(医療監視)の結果
14. 過去 3 年分の作業環境、漏えい線量等測定結果
15. 放射線作業従事者としての登録状況(一覧

氏名・性別・職種・所属部署)

16. 放射線作業従事者の個人線量測定記録
17. 放射線作業従事者以外に一時的に立ち入る者の個人線量測定記録
18. 個人線量測定において実効線量が多い従事者一覧 (10人程度)
19. 一時的管理区域の設定記録 (一時的な管理区域を設定している運用の場合に限る)
20. 一時的管理区域の設定標識 (一時的な管理区域を設定している運用の場合に限る)
21. 一時的管理区域に立ち入る者の個人線量測定記録 (一時的な管理区域を設定している運用の場合に限る)
22. 放射線管理区域を朱書きした平面図ならびに施設の境界を示した平面図
23. プロテクター管理の記録
24. 医療被ばく相談の記録
25. 照射録
26. 始業・終業点検記録

14. 訪問審査シミュレーション

訪問審査日1週間前の11月20日に放射線科内でシミュレーションを行った。必要書類の最終確認と説明などの練習をした。

15. 訪問審査

平成27年11月：1年5ヵ月後

11月27日13時30分に訪問審査のために、サーベイヤ3人、サーベイヤ補1人の合計4人来院した。

訪問審査は、管理棟会議室で行われた。出席者は院長、事務部長、事務副部長、放射線技術科科長、説明係として被ばく測定班2人、臓器線量班1人、資料説明1人だった。

初めに院長のあいさつがあり、サーベイヤの紹介、医療被ばく低減施設認定事業の説明が行われた。その後、院長らが退室し審査が開始された。

審査は、必要書類すべてを細かくチェックしていた。被ばく線量、臓器線量、依頼伝票、照射録、始業終業点検表、修理報告書、各種マニユア

ル、漏えい線量表、個人線量測定記録、放射線管理士・放射線機器管理士の関わり方などの質疑応答だった。会議室での質疑が終わると放射線科に行き、現場でのマニュアルの活用やプロテクターの確認などを行った。

15時30分ごろ、われわれは退室し、サーベイヤによる審議が始まった。

16時00分から講評が行われた。

16. 講評

院長らの出席の下サーベイヤの講評が始まった。

●賞賛事項

- ①再撮影について詳細に集計、解析しており、解析結果をもとに得られた改善点を勉強会にて周知することで再撮影防止に努めている。
- ②一般撮影の防護基準が明確で、特に股関節正面撮影の性腺防護に関しては詳細にまとめられている。スタッフの意識統一だけでなく経験の差を埋めるための工夫が記載されていた。
- ③本会認定資格である放射線管理士・放射線機器管理士の認定を積極的に育成し、その他の関連する臨床的な認定資格取得に努めている。
- ④施設職員に対する医療被ばく低減に関する講習会の開催や「健康すくえあ」での放射線被ばく相談などが適切に実施されている。

●アドバイス・改善点

- ①マニュアルを更新しているところは良いが、更新者・確認者・何を更新したか詳細がなかった。
- ②手術室の一時的管理区域立ち入りを設定し運用を行った場合には、放射線管理区域の設定に関する記録が必要になるが、記録に不備があった。また個人被ばく線量に関しても、その都度完結するのではなく、個人線量の集計管理が望ましい。
- ③消化管検査の撮影条件と算定された臓器線量の整合性がとれていない。
- ④一般撮影の照射録の記入もれがあった。

- ⑤修理報告書、定期点検報告書、放射線機器管理台帳に放射線機器管理士の確認印がない。
- ⑥放射線診療従事者の被ばく管理は、現在1個のガラスバッジで線量管理しているが、プロテクターの外になる頭頸部の線量を測定する必要があり、合計2個の個人線量計を装着することが望ましい。

審査結果については、来年2月の日本診療放射線技師会理事会で承認を得てからとなる。

17. 審査結果

平成28年3月：1年8ヵ月後

書面審査訪問審査の結果、平成28年3月1日をもって「医療被ばく低減施設 第59号」として、認定することが平成28年2月20日開催の理事会において承認された。また通知とともに、審査結果報告書では、訪問審査時の講評について詳細な説明書があった。

また「医療被ばく低減施設認定証」および「認定プレート」は、医療被ばく低減認定施設登録料（¥20,000）を振り込み確認後送付されるとのことだった。

18. おわりに

医療被ばく低減施設認定までに1年8ヵ月の時間を要してしまった。プロジェクト発足して間もなく3TMRI導入と血管撮影室増室と重なり、日常業務に追われ、線量測定やマニュアルの整備に取り掛けることが難しい時期だった。プロジェクト終了目標日時点では、職員への啓蒙活動だけが順調で、被ばく線量測定、散乱線測定、臓器線量測定やマニュアルの整備は中途半端な状態だった。年度が新しくなり私自身の身を引き締め、あらためてメンバーに活動依頼するとともに、それぞれの進捗状況を把握するようにした。すると少しずつではあったがプロジェクトが進み、認定審査申し込みまでたどり着いた。そこからの書面審査、訪問審査はあっという間だった。

プロジェクト開始当初は放射線管理士1人、放射線機器管理士2人だったが、認定時は放射線管理士が1人増え、被ばく相談員も2人取得した。被ばく相談も数件ではあるが、被ばくデータを基に、相談者の声を傾聴し相談を受けている。

今回、医療被ばく低減施設認定に取り組んだことでさまざまな知識が身に付き、受審してよかったと感じた。今後は次世代にバトンを渡し医療被ばく低減施設を継続してもらいたいと思う。

今回の医療被ばく低減施設認定に当たり、ご指導いただきました済生会川口総合病院の富田科長、土田さま、志藤さまにお礼を申し上げます。



「MR 信号の成り立ち」

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社

MR 営業推進部 平田 直樹

はじめに

1980年代にMRが最初の臨床への適用が行われて以来、MRに関する技術は飛躍的な進歩を遂げた。今回、MRを理解する上での基礎について3回に分けて解説させていただく。第1回は、MR信号の成り立ちについて解説する。

磁場の中のスピン

原子核はある軸を中心に回転運動を行っている。原子核は電荷を持っているので、この回転運動はスピンの軸と同じ方向の磁気モーメントを発生させる。磁気モーメントとは、N極とS極を持った1本の棒磁石と考えてよい。この磁気モーメントの強さは原子核の種類によって決まる固有の性質だが、 ^1H （プロトン）原子核は最も高い磁気モーメントを持っており、また高い構成比を持っていることから、MRイメージングの対象核種として最良の適格性を備えている。プロトン以外に臨床応用されている核種としてはリン（ ^{31}P ）があるが、その構成比はプロトンの約6%程度である。

磁気回転比

外部から加えられる磁界が存在していない場合は、それぞれの磁気モーメントは特定の方向性を持たない。しかし、外部からの磁界（ B_0 ）が作用すると、これらの磁気モーメントはこの B_0 の方向に向きをそろえる方向を示す。棒磁石が見せる挙動と同じである。ただし、個々のスピンは B_0 に対して正確に同じ方向を向いているわけではなく、 B_0 に対してある角度を保持している（図1）。磁気モーメントを持つスピンは、 B_0 中においてこの方向を軸とした歳差運動を起こさせるモーメントを生ずる。これは回転している「こま」に例えることができる。こまが重力に方向を軸として歳差運動を行うのと同じである。

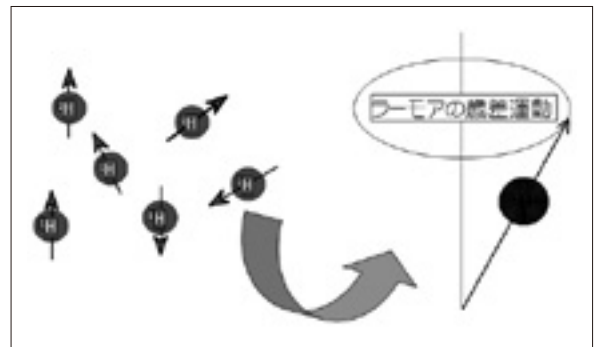


図1. 磁気モーメントと歳差運動

次に、個々のスピンのどのくらいの速度で歳差運動を行っているか考えてみる。この歳差運動は、ラーモアの式と呼ばれるシンプルな関係によって与えられている。

$$F = \gamma B_0$$

F は歳差運動の周波数、 B_0 は外部磁場の強さ、 γ は対象となる原子核のタイプにより決定する磁気モーメントの強さに関する定数である。この定数は磁気回転比と呼ばれている。

水素原子核（プロトン）の磁気回転比は次の値になる。

$$\gamma\text{H} = 4257\text{Hz} / \text{Gauss}$$

$$\begin{aligned} 1.5\text{T} (= 15,000\text{Gauss}) \text{ とすると、} \\ 4257\text{Hz} / \text{Gauss} \times 15,000 \text{ Gauss} \\ = 63,855,000 \text{ Hz} \\ = 63.855\text{MHz} \end{aligned}$$

3T の場合には同様に計算して歳差運動のラーモア周波数は 127.71MHz となる。非常に高速で歳差運動していることが分かる。

RF パルスとフリップ角

信号を検出するためには、共鳴 (resonance) の条件が成立する必要がある。「共鳴」という用語には、エネルギーの相互の吸収と放出の意味が含まれている。エネルギーの吸収はRFパルスの送信によって起こされ、エネルギーの放出は緩和過程 (後述) を通して伝播される。外部磁場 (B_0) が加わっている状態において、スピンの集団にラーモア周波数のRFパルスを照射すると、図2におけるXY平面において回転を始める。

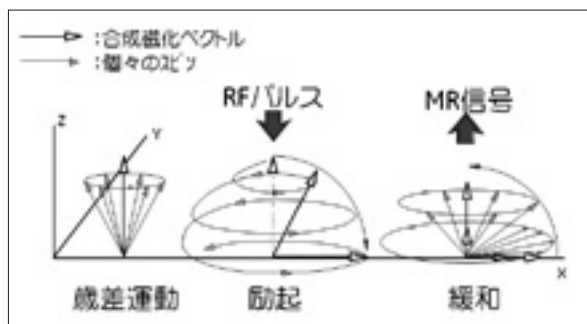


図2. 励起と緩和

このようにして、正味磁化は縦 (Z 方向) から直行面 (XY 平面) に向かって、さらに -Z 方向へと回転する。この角度はフリップ角と呼ばれ、RFパルスの持続時間と振幅に比例する。ちょうど正味磁化がXY平面まで倒れるだけの持続時間、振りを備えたRFパルスをが90°パルスである。

緩和：平行状態への復帰

RFパルスを切ると正味磁化は元の状態に戻ろうとするが、この緩和過程にはT2*緩和、T2緩和、T1緩和が存在する。まずはT2*とT2緩和について説明する。

磁化の個々の成分は、わずかではあるが異なる速度で回転している。これがXY平面における「dephasing」として知られている現象である。MR信号として記録される信号は横方向の信号の総和であるため、もしdephasingが十分に行われれば信号はなくなる。このdephasingの主な原因の一つは、外部磁場 (B_0) の不均一である。異なる位置にあるスピンは正確に同一の B_0 を受けているわけではなく、従って感じている磁場の

違いによって異なる歳差運動を行っている。このように B_0 の不均一は dephasing の要因の一つではあるが、仮に B_0 が完全に均一であったとしても dephasing は起こる。原子核やそれを取り巻く電子は、それぞれ異なるスピンおよび磁気モーメントを持っているため、共鳴に関わる個々のスピンの置かれている磁場環境は、他のスピンと正確に同じ位置にはなり得ないからである。よってそれぞれのスピンが相互に作用し合うことで、ゆっくりとした dephasing が起こる。これを T2 緩和、またはスピン-スピン緩和と呼ぶ (図3参照)。このスピン-スピン緩和と B_0 不均一が一緒になって観測される現象を T2* 緩和である。

ここまでXY平面 (直交平面) における緩和について述べてきたが、これとは別に、縦磁化がその平衡状態に回復する過程が存在する。仮に90°パルスをかけたとすると、正味磁化は直交平面に倒れている。従って、縦磁化の総量は0である。RFパルス印可後における縦磁化の値の時間的変化は、0から平衡状態まで上昇することが分かっている。平衡状態の値は対象物のスピンの数や温度、磁場強度によって異なる。この現象が生じる過程は T1 緩和、またはスピン-格子緩和と呼ばれている (図3参照)。

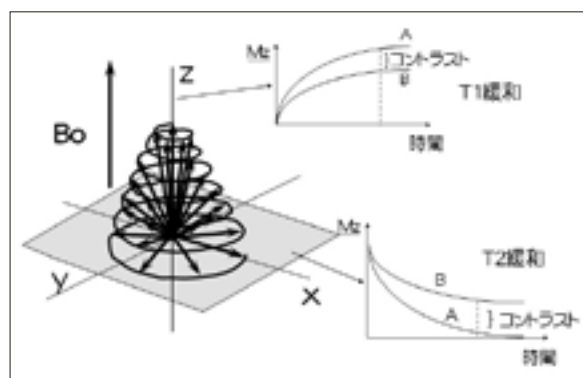


図3. T2緩和とT1緩和

T1緩和とT2緩和は別々に起こるものではなく、同時に起こるため、実際にはどちらかのコントラストをつけるタイミングで撮像が行われる (図4)。

スライス選択

MRIにおいて、必要な部分のみの画像を得るためには、信号収集領域を限定する必要がある。このためには所定のスライス中の組織のみを選択的に励起（縦磁化を横磁化にする）すればよい。これは、選んだスライス面に垂直な軸方向に傾斜磁場を与え、この方向に直線的な共鳴周波数の変化を起こすことで達せられる。狭い周波数レンジで構成されているRFパルスは、この周波数に相当する共鳴周波数を持つスピンのみを励起する。RFパルス送信後、スライス選択傾斜磁場も0に戻し、選んだスライスから発せられる信号を検出する。より薄いスライスを得たい場合には2通りの方法がある。1つはRFパルスのバンド幅を狭くする（図5）か、または傾斜磁場の勾配を増すことによってより薄いスライスを選択することができる。

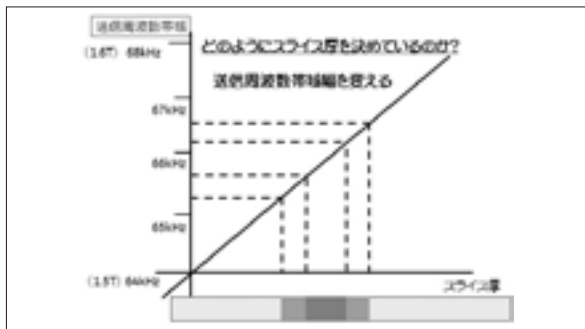


図4. RF送信バンド幅調整によるスライス選択

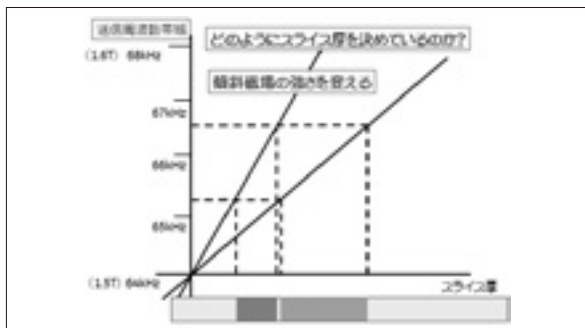


図5. 傾斜磁場勾配調整によるスライス選択

周波数エンコードと位相エンコード

次の問題は、励起スライスに対してイメージの情報を付加することである。2次元である面から

面内の位置情報を得るために位相エンコード、周波数エンコードの2つの手続きが必要となる。

位相エンコードでは振幅の異なる傾斜磁場が複数回（例えば128回など）繰り返され、それぞれのデータが個別に保存される。位相エンコード傾斜磁場を経たデータは、それぞれ位相が異なった状態で保存されている。

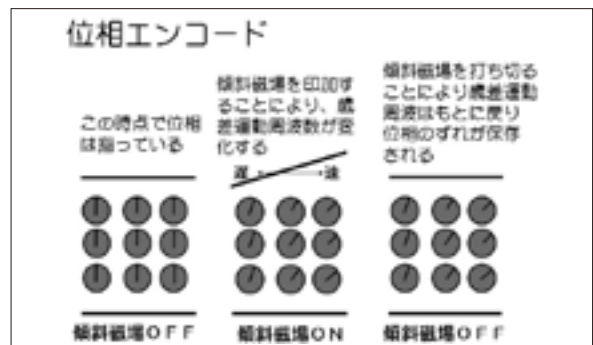


図6. 位相エンコード

これに対し、周波数エンコードでは、位相エンコードとは別の方向、位相エンコードが平面のY方向であればX方向に加えられる。周波数エンコードが加えられるタイミングはMRデータの読み出しのタイミングである。これにより読み出し時の歳差運動に差が生じ、プロトンの位置情報として利用することができる。なお、先に行った位相エンコードによる位相の違いはそのまま保持されているため、平面上のX方向、Y方向の位置情報として利用することができるのである。

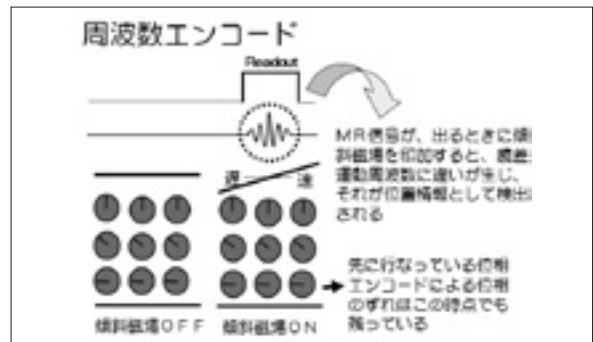


図7. 周波数エンコード

以上、MR信号の成り立ちについて述べた。次回はスピナー法について解説する。

「富士フィルム RI ファーマ株式会社の造影剤」 ～ IC タグ (RFID) による安全管理への貢献を目指して～

富士フィルム RI ファーマ株式会社
造影剤グループ 流 俊介

富士フィルム RI ファーマ株式会社

当社は、1968年の創業以来、診断用放射性医薬品および治療用放射性医薬品を継続的に研究・開発・製造・販売を通して核医学診療の発展に寄与してまいりました。2015年9月には、放射性医薬品/神経内分泌腫瘍診断薬であるオクトレオスキャン® 静注用セットの製造販売承認を取得し、同年11月の薬価基準収載を経て2016年1月より販売開始しております。また心臓疾患診断補助剤であるアデノシン負荷用静注60mg シリンジ「FRI」について、2015年8月に製造販売承認を取得、同年12月の薬価基準収載、発売開始致しました。

造影剤については、2010年4月にバイエル薬品株式会社より、SPIO製剤であるMRI用肝臓造影剤「リゾビスト® 注」を承継、販売開始致しました。

翌2011年1月には、非イオン性尿路・血管造影剤として本邦初となるオーソライズド・ジェネリック (AG) : イオプロミド注「FRI」の販売を開始し、本年2016年1月には発売5周年を迎えております。

今後も機能診断と形態診断に有用な医療用医薬品を併せ持つ総合画像診断薬企業として、幅広く画像診断領域に貢献してまいります。

1. 本邦初のオーソライズド・ジェネリック イオプロミド注「FRI」

特徴 (特性)

- (1) Ultravist® と原薬・添加物・製造方法が同一のオーソライズド・ジェネリック (AG)
- (2) 良好な摺動性を示すシリンジ製剤
- (3) 根本杏林堂社 CT 用自動注入器に適合し、IC

タグ (RFID) を装着 (シリンジ製剤)

- (4) 本剤は、使用成績調査等の副作用頻度が明確となる調査を実施していない

(参考：海外データ)

- ・ Palkowitsch Petal. : Acta Radiologica 2012 ; 53 : 179-186
- ・ Kopp AF et al. : Acta Radiologica 2008 ; 49 : 902-911

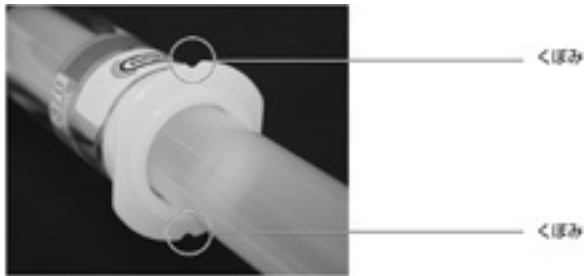
後発品は通常、先発品の物質特許消滅後に承認されれば製造販売可能となります。ただし、先発医薬品が「再審査」期間中にある場合は、後発医薬品の承認申請は実質的にはできません。しかしながら、医療用医薬品も他の工業製品と同様に複数の特許権により保護されており、先発医薬品と同一品質の後発医薬品は限られています。

(後発医薬品の効果や安全性については、厚生労働省がその品質について厳格な評価をした上で承認されております。)

これに対し、オーソライズド・ジェネリック (AG) は、先発品メーカーが「物質特許」「製法特許」「用途特許」などの一連の特許についてその使用を許諾しているため、先発品と同一品質の製品を提供することが可能となっています。

またイオプロミド注「FRI」は、直接の容器についても先発品と同一のものを使用しています。

特にシリンジ製剤については、根本杏林堂社製 CT 用自動注入器との適合を取得しており、医療機器とのマッチングという側面からも、より安全・確実な造影検査実施の一助となっていると考えています。



※自動注入器への適合：根本杏林堂製 CT 用自動注入器に適合する。
（イオプロミド注シリンジ「FRI」）

【根本杏林堂社製 CT 用自動注入器接合部】

2. IC タグ (RFID) の装着実現

2015 年 6 月にはイオプロミド注シリンジ「FRI」への IC タグ (RFID) の装着が実現いたしました。(RFID: Radio Frequency Identification)

この中には IC チップと小型のアンテナが埋め込まれており、そこに記録された情報を電波無線通信により、非接触で読み取る技術です。身近なところでは、交通系 IC カードシステムや商品物流管理システムなど、多くの場面で活用されております。

造影 CT 検査現場では、根本杏林堂社製 CT 用自動注入器に、IC タグ付きシリンジ製剤をセッティングすると、造影剤名、1 本当たりのヨード量、1mL 当たりのヨード量、容量、ロット番号、使用期限、耐圧が表示されます。また使用済みおよび使用期限切れアラート表示機能も備わっており、多忙な造影 CT 検査現場での製剤取り違いリスクなどの低減に寄与することが期待されております。さらに必要に応じて IC タグの固有 ID 番号 (UID) を読み取ることも可能となっております。

また CE-Evidence System (根本杏林堂社製) を導入することで、造影 CT 検査前の患者情報の確認、造影 CT 検査後の造影剤注入情報を RIS に反映することで診療情報の充実につなげることが可能となります。



【根本杏林堂社製 CT 用自動注入器への取り付け】

CE-Evidence System 導入のメリットとしては、次のようなことが考えられています。

- ① RIS から患者情報を取得し、以下の造影情報を RIS に送信
 - ・注入条件
 - ・造影剤情報
 - ・注入結果情報 など
- ② 造影 CT 検査情報を院内ネットワーク上で閲覧・管理可能
- ③ IC タグ情報の自動取得により手入力が可能
- ④ 造影 CT 検査の証拠としてデータ保存が可能
- ⑤ 過去の造影条件や副作用情報が参照可能 (オプション)



【イオプロミド注シリンジ「FRI」外観】

3. 本剤の使用に際しての重要な基本的事項

本剤の適正使用に関しては「添付文書」をご参照ください。本稿では「重要な基本的注意とその理由及び処置方法」について、本剤添付文書の記載内容に準じて以下に記載致しますので、臨床の場においてご留意ください。

- 1) ショック等の発現に備え、十分な問診をお願いします。
- 2) 投与量と投与方法の如何にかかわらず過敏反応を示すことがあります。本剤によるショック等の重篤な副作用は、ヨード過敏反応によるものとは限らず、それを確実に予知できる方法はないので、投与に際しては必ず救急処置の準備をお願いします。
- 3) 投与にあたっては、開始時より患者の状態を観察しながら、過敏反応の発現に注意し、慎重に投与をお願いします。また、異常が認められた場合には、直ちに投与を中止し、適切な処置をお願いします。
- 4) 重篤な遅発性副作用（ショックを含む）等があらわれることがあるので、投与中及び投与後も、患者の状態を十分に観察願います。



【自動的に反映される製剤情報画面の一例】

- 5) 外来患者に使用する場合には、本剤投与開始より1時間～数日後にも遅発性副作用の発現の可能性があることを患者に説明した上で、発疹、蕁麻疹、そう痒感、丘疹、悪心、嘔気、嘔吐、頭痛、発熱などの副作用と思われる症状が発現した場合には、速やかに主治医に連絡するように指示するなど適切な対応をお願いします。
- 6) ヨード造影剤の投与により腎機能の低下があらわれるおそれがあるので、適切な水分補給をお願いします。特に急性膵炎の患者においては、本剤投与前後にはガイドライン等を参考にして十分な輸液をお願いします。
- 7) 併用注意薬としてビグアナイド系糖尿病薬（メトホルミン塩酸塩、ブホルミン塩酸塩等）が報告されています。特に腎機能が低下している患者さんに対しては注意が必要です。

乳酸アシドーシスがあらわれることがありますので、本剤を使用する場合は、ビグアナイド系糖尿病薬の投与を一時的に中止するなど適切な処置をお願いします。機序・危険因子としてビグアナイド系糖尿病薬の腎排泄が減少し、血中濃度が上昇すると考えられています。

第5回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会

次 第

開 会 の 辞
 会 長 挨 拶
 来 賓 挨 拶
 表 彰
 総会運営委員会報告
 議 長 選 出
 総 会 職 員 任 命
 議 事
 報 告

第1号議案 平成27年度 事業報告 (案)
 第2号議案 平成27年度 決算報告 (案)
 第3号議案 平成27年度 監査報告
 第4号議案 会費規程変更
 第5号議案 名誉会員の承認
 第6号議案 その他
 平成27年度 補正予算 報告
 平成28年度 事業計画・予算 報告

閉 会 の 辞

総 会 運 営 委 員

榎本 克希	武田 義昭	林 洋希
新井 偉生	矢部 智	竹内 信行

第5回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定期総会

平成27年度事業報告（案）

巻頭言

会
告

お
知
ら
せ

学
術
特
集

寄
稿

連
載
企
画

技
術
解
説

総
会
資
料

動
本
会
の
き
の

強
各
支
部
勉
會
情
報

掲
各
示
支
板
部

議
事
録

動
會
員
向
の

コ
求
ー
ナ
ー
人

役
員
名
簿

申
F
込
A
書
X

ジ
年
間
ス
ケ
ル

平成27年度事業報告(案)

1. 総括

昨年5月30日に開催された、第4回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会において、役員選挙により一部役員交代を行い新たな執行部としてスタートを致しました。会員の皆さまのご協力はもちろんのこと、役員全員一丸となって1年を乗り切ってきました。心から感謝申し上げます。

平成27年度の主な出来事

(1) 一般

- ① 安保関連法案が成立
- ② TPP 大筋合意
- ③ 安倍首相が戦後70年談話発表
- ④ 大村智氏、梶田隆章氏ノーベル賞受賞
- ⑤ 選挙権年齢18歳に引き下げ

(2) 医療

- ① 胃癌検診に内視鏡を推奨
- ② ジェネリックの普及率を8割に要請
- ③ 低線量の長期間放射線被曝で白血病リスク上昇(英医学誌ランセットヘマトロジー)
- ④ 東北薬科大に37年ぶりに医学部新設
- ⑤ 群馬県で検診者にて死亡事故発生
- ⑥ 東芝メディカル、キャノンへ売却検討

(3) (公社) 埼玉県診療放射線技師会

- ① 技師会財政健全化計画
- ② 技師会事務所修繕完了
- ③ 高校特別授業推進
- ④ 被ばく相談データベース化案

公益活動

例年通り、各支部では各市町村で行われる「健康祭り」へ積極的な参加を行っており、参加された一般市民はもとより、行政からも高い評価を受けております。今後は健康祭りで併設された被ばく相談などの実績のデータベース化を行い、関係部署に報告を行っていく予定です。

2年目となった県立高校での「放射線特別授業」は4回の授業を行いました。県立高校からの依頼により文部科学省のカリキュラムに沿って授業を担当しているというのは、非常に意味のあることです。また、委員会を立ち上げ、この事業に関わる会員の皆さまの研鑽の場となると確信しております。

今後は事業を拡大していくために、県教育委員会と協力体制を作ってまいりたいと思います。

名誉会員の承認

本会へ多大な貢献があった会員として、新井俊吉氏を名誉会員に推薦させていただきました。ご承認のほど、よろしくお願い申し上げます。

学術活動

各モダリティーで、認定講習会を開催し、基礎からハイ

レベルまで対応した、きめ細かな内容となっています。時代の変化に応じて内容の適宜見直しを図り、事業遂行をしてまいります。

会員の育成

埼玉では、古くから、講師育成に取り組んでまいりました。埼玉の会員が、他学会、他県技師会などで多くの人材が活躍をしております。今後も、さらに推進してまいります。

役員の育成

役員の育成は、県民へ貢献する人材育成という意味でも大きな社会貢献であります。技師会で学び育った人材が、各施設でリーダーシップを発揮し、さらに人材育成をしていただくことは技師会の役目でもあります。多種多様な人材を育てるために定期的な人事を行い、互いが助け合う良き仲間としての技師会を目指しています。

技師会事務所修繕

平成8年に(社)埼玉県放射線技師会センター(現:(公社)埼玉県診療放射線技師会事務所)が完成して以来、大きな修繕をしておりませんでした。平成27年度では、内装、外装、屋根、トイレなどの大きな修繕を行いました。

1) 総務

入会促進事業の一つであるフレッシューズセミナーでは県内外から参加者58人あり、会員入会促進事業として毎年継続したいと考えています。

役員研修会では、講師として日本診療放射線技師会常務理事の橋本薫氏を迎え、これからの高齢化社会において増加するであろう認知症について、医療職とどのように関わっていけばよいか講演していただきました。

永年勤続表彰事業については、日本診療放射線技師会の委託で、埼玉県会員の対象者を抽出し返信のあった方を日本診療放射線技師会に推薦し、京都府で行われた学術大会にて表彰されました。埼玉県診療放射線技師会の永年勤続表彰は、対象者を抽出し、返信のあった方を表彰委員会に推薦し、総会で表彰されました。

新春の集いは、会員、賛助会員、新入会員が一堂に会し、例年同様和やかに開催されました。いずれの事業においても、今後継続の必要があると考えています。

2) 学術

学術活動において、会員が参加したいイベントが、身近に開催されることが大切と考えています。また最新の話題だけでなく、診療放射線技師として、基本的な内容を掘り下げていくことも本会の役割と思っています。本会においては10年以上前から読影に関して、セミナーを通じて教育のカリキュラムに取り込んでまいりました。平成22年

4月、厚生労働省医政局通知にもあったように、診療放射線技師の読影が社会的に重要視されるようになったことは、本会としても教育指針に関して、整合性が取れていると考えています。本年度学術事業の方向性に関しては、昨年と同様に考え進めてまいりました。近年、外部環境は各種認定制度や専門技師制度が確立されつつあり、周囲の状況を踏まえ、各セミナーや、講習会を開催しました。本年認定講習会は、胸部認定講習会・上部消化管認定講習会・CT検査認定講習会を開催しました。胸部認定講習会においては、診療放射線技師の読影やデジタル画像における撮影線量の最適化の講義を充実させました。上部消化管認定講習会・CT検査認定講習会においては、それぞれの認定機構や地域研究会との整合性を図り開催しました。また、内容に関しても充実し、実践的な教育をしてまいりました。その他、Freedセミナー、MRI講習会、DR計測セミナー、乳腺画像セミナー、救急撮影ケーススタディーを開催しました。

3) 編集・情報

埼玉放射線 Vol.63No.2・3・4、Vol.64.No.1の計4号を発売しました。編集・情報活動は、本会活動の中でも重要な事業と考えています。

会誌「埼玉放射線」は、平成26年から発行回数が年4回となりましたが、その分、内容をさらに充実させることへ力を注ぎました。

Webサイトについては、診療放射線技師向け情報提供や講習会などの申し込みの他、「診療放射線技師として必要な情報はなるべく掲載する」という方針の下、多岐にわたる情報を発信しました。また県民の方が閲覧しても有益になるよう、医療被ばくについての解説や放射線検査の紹介など、放射線診療に関する正確な情報を専門家の立場から分かりやすく提供しました。

これらWebサイトのほか、定期的に会員向けメールマガジンの配信を行いました。Webサイトやメルマガは即時性の高い情報提供手段と考えています。

4) 公益

平成27年度本会公益活動として

- ・埼玉県各支部の医療画像展でのパネルを使用した放射線検査や治療などの説明とパンフレットの配布
- ・各支部医療画像展での超音波式骨密度の無料測定
- ・ホームページからの被ばく相談(実績1件)
- ・がん患者支援チャリティ・イベントとしてRFLJ川越へ参加
- ・放射線特別授業(埼玉県内の高校へ放射線関連の授業を行う)を4施設4回実施を行ってきました。

公益活動は「不特定かつ多数のものの利益」と考えられがちですが、内閣府の公益認定等委員会では、公益活動は対象が特定又は少数であることが問題なのではなく、その活動が「求められているか」と受益の機会が「開かれているか」という2点をポイントとしています。この二点から27年度公益活動を振り返り、地域住民ひいては県民とわれわれ診療放射線技師をつなぐ懸け橋としてだけでなく、

医療に携わる者として、意識向上とチーム医療推進のために医療関係職種との交流を持った活動を展開していく所存であります。

2. 事業遂行評価

1. 職業人としての質の向上

(1) 学術大会・認定講習会・セミナーの定期開催

- ア. 胸部撮影認定講習会 ○
- イ. 上部消化管検査認定講習会 ○
- ウ. フレッシュアップセミナー ○
- エ. 放射線技術部門マネジメント・セミナー ○
(医療安全、接遇・クレーム、医療経営、人材育成)
- オ. CT認定講習会 ○
- カ. MRI基礎講習会 ○
- キ. 救急セミナー ○
(日本救急撮影技師認定機構との共催)
- ク. 読影力向上のための講習会 ○
(支部開催セミナー)

(2) 会員講師の育成と体制づくり ○

(3) 他県放射線技師会や他団体との合同講習会企画推進

- ア. 関東甲信越診療放射線技師学術大会へ協力 ○
- イ. 埼玉県医師会主催事業への支援 ○
- ウ. 埼玉臨床画像研究会への協力 ○
- エ. 日本放射線技術学会と合同企画 △
- オ. 日本診療放射線技師会と合同開催企画 ○
- カ. 各認定機構と合同企画(埼玉開催など) ×

2. 組織運営に関わる事業

- (1) 行政との連携 ○
- (2) 入会促進事業の強化 ○

3. 公益目的事業

- (1) 学術情報の提供 刊行誌「埼玉放射線」の発刊 ○
- (2) 市民公開講座の開催 ○
- (3) 地域自治体主催事業への参画 ○
- (4) 医療画像展の開催と支援 ○
- (5) 県民向けホームページの充実 ○
- (6) 医療被ばく相談の迅速な対応 ○
- (7) 公立学校における放射線教育の担務 ○
- (8) 技師会事務所近隣住民に対する公益事業 ×

4. 編集・情報

- (1) 本会会誌「埼玉放射線」の充実 ○
- (2) 診療放射線技師向けホームページの充実 ○
 - ア. 各講習会、イベントなどの迅速な広報 ○
 - イ. 学術資料などのデータベース化を推進 ○
- (3) メールマガジンの有効利用 ○

5. その他

- (1) 他職種の職能団体との連携 ○
- (2) 技師会事務所長期修繕計画の立案 ○
- (3) JARTおよび他県技師会への協力 ○

平成 27 年度各事業報告

1. 総務事項報告

(1) 平成 27 年度役員は次の通りである。

役 職 名	氏 名	担 当
会 長	田中 宏	
副 会 長	堀江 好一	
	富田 博信	
監 事	橋本 里見	
	鈴木 正人	
常 務 理 事	平野 雅弥	総 務
	結城 朋子	総 務
	潮田 陽一	財 務
	今出 克利	学 術
	八木沢英樹	編 集・情 報
	佐々木 健	公 益
理 事	双木 邦博	総 務・第一支部
	大西 圭一	総 務・第二支部
	渡部 進一	総 務・第三支部
	齋藤 幸夫	総 務・第四支部
	矢崎 一郎	総 務・第五支部
	高嶋 豊	総 務・第六支部
	栗田 幸喜	学 術
	城處 洋輔	学 術
	岡田 智子	学 術
	清水 邦昭	編 集・情 報
	芦葉 弘志	公 益

(2) 会議開催状況

ア. 総会

平成 26 年度第 4 回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会総会を、平成 27 年 5 月 30 日土曜日、埼玉会館 3C 会議室において会員 43 人出席、委任状提出 775 人、合計 818 人にて開催しました。総会では平成 26 年度事業報告案、平成 26 年度決算報告案、平成 26 年度監査報告、定款変更、名誉会員の承認について審議し決議しました。

イ. 理事会は下記の通り 8 回開催し、重要案件について審議し決議しました。

理事会開催状況

	年 月 日	開 催 場 所
1	27. 05. 14	技師会事務所
2	27. 05. 30	埼玉会館 3C 会議室
3	27. 06. 04	技師会事務所
4	27. 07. 02	同
5	27. 09. 03	同
6	27. 11. 05	同
7	28. 01. 07	同
8	28. 03. 03	同

ウ. 常務理事会は下記の通り 5 回開催し、理事会への提案議題の審議ならびに決定事項について処理しました。

常務理事会開催状況

	年 月 日	開 催 場 所
1	27. 04. 02	技師会事務所
2	27. 08. 06	同
3	27. 10. 01	同
4	27. 12. 03	同
5	28. 02. 04	同

エ. その他

役員研修会、連絡会議ならびに予算会議を開催、会務の重要事項について審議立案し、必要事項を調整しこれを処理しました。

役員研修会

	年 月 日	開 催 場 所
1	28. 02. 10	With You さいたま埼玉県男女共同参画推進センター

連絡会議

	年 月 日	開 催 場 所
1	27. 05. 07	技師会事務所
2	27. 06. 25	同
3	27. 08. 27	同
4	27. 10. 29	同
5	28. 02. 25	同

予算会議

	年 月 日	開 催 場 所
1	27. 11. 16	技師会事務所
2	28. 02. 25	同

北関東地域会長会議

	年 月 日	開 催 場 所
1	27. 06. 20	市川市文化会館
2	27. 11. 28	大宮ソニック

(3) 各委員会開催状況

各委員会開催状況は別表の通りです。

委 員 会 名	開 催 年 月 日
総 務 ・ 財 務 委 員 会	28. 03. 03
総 会 運 営 委 員 会	27. 05. 30
編 集 ・ 情 報 委 員 会	27. 08. 26
	27. 09. 08
	27. 11. 10
	27. 12. 08
	27. 06. 11
学 術 委 員 会	27. 06. 17
	27. 08. 17
	27. 09. 17
	27. 10. 21
	27. 12. 08
	28. 02. 03
	28. 02. 29
	28. 03. 14
	27. 06. 18
	27. 12. 17
放 射 線 特 別 授 業 運 営 委 員 会	27. 06. 16
	28. 01. 28

表彰委員会

	年月日	開催場所
1	27. 04. 07	技師会事務所
2	27. 09. 30	同
3	28. 03. 04	同

(4) 各種委員会名簿

ア. 表彰委員会

役職名	氏名
委員長	藤間 英雄
委員	小島 精一 渡辺 弘
	鈴木 正人 田中 宏
	堀江 好一 富田 博信
	平野 雅弥 結城 朋子

イ. 医療画像展実行委員会 (秩父会場)

役職名	氏名
実行委員長	横田 文克
副実行委員長	齋藤 幸夫
実行委員	清水 浩和 萩原 貴之
	新井 偉生 大野 渉
	高井 太市 関根 茂夫
	玉川 敏 勅使河原真由美
	近藤 和彦 新井紀美子

ウ. 医療画像展実行委員会 (浦和会場)

役職名	氏名
実行委員長	双木 邦博
実行委員	榎本 克希 岡田 翔太
	小野塚悠帆 梶 功治
	川島早紀子 佐藤 吉海
	西田 衣里 福田 栞
	三橋 則行 森 一也
	八木沢英樹 安本 佳章
	山浦 良太

エ. 医療画像展実行委員会 (川越会場)

役職名	氏名
実行委員長	渡部 進一
実行委員	吉岡 正樹 守谷 文貴
	市川 賢一 大野 哲治
	寺西 潤 小林 祐介
	藤田 彩乃 中村 美紀
	若林真千子

オ. 医療画像展実行委員会 (越谷市会場)

役職名	氏名
実行委員長	矢崎 一郎
実行委員	岩井 悠二 櫻井 均
	鈴木 孝 栗田 幸喜
	金子 初穂 中嶋 幸孝
	眞壁 耕平

カ. 医療画像展実行委員会 (深谷会場)

役職名	氏名
実行委員長	齋藤 幸夫
副実行委員長	清水 浩和
実行委員	新井 偉生 横田 文克
	高井 太市 萩原 貴之
	柏瀬 義倫 登坂 崇史
	坂本 里紗 小島 萌

キ. 医療画像展実行委員会 (行田会場)

役職名	氏名
実行委員長	萩原 貴之
副実行委員長	齋藤 幸夫
実行委員	清水 浩和 大野 渉
	横田 文克 高井 太市
	遠藤 勇 白石 雄一

ク. 編集・情報委員会

役職名	氏名
委員長	八木沢英樹
副委員長	清水 邦昭
委員	肥沼 武司 栗田 幸喜
	菅野 方仁 潮田 陽一
	宮崎 雄二 豊留 章裕
	吉田 敦 大友 哲也

ケ. 学術委員会

役職名	氏名
委員長	今出 克利
副委員長	栗田 幸喜 城處 洋輔
委員	岡田 智子 大森 正司
	尾形 智幸 志田 智樹
	中根 淳 近藤 敦之
	土田 拓治 伊藤 寿哉
	滝口 泰徳 富田 博信
	柴 俊幸
	佐々木 健

コ. 公益委員会

役職名	氏名
委員長	佐々木 健
副委員長	芦葉 弘志
委員	志藤 正和 矢島 慧介
	市浦 京子 眞壁 耕平
	小山 恵 内海 将人
	西山 史朗

サ. 総務・財務委員会

役職名	氏名
委員長	平野 雅弥
副委員長	結城 朋子 潮田 陽一
委員	堀江 好一 富田 博信
	双木 邦博 大西 圭一
	渡部 進一 齋藤 幸夫
	矢崎 一郎 高嶋 豊
	田中 達也 矢部 智
	佐々木 剛

シ. 総会運営委員会

役 職 名	氏 名
委 員 長	岡本 康正
委 員	石田 貴志 小田島明子
	高井 太市 岩井 悠治
	竹内 信行

ス. 総会実行委員会

役 職 名	氏 名
委 員 長	田中 宏
副 委 員 長	堀江 好一 富田 博信
委 員	平野 雅弥 結城 朋子
	潮田 陽一 今出 克利
	八木沢英樹 佐々木 健

セ. 選挙管理委員会

役 職 名	氏 名
委 員 長	尾形 智幸
委 員	小田 雄太 柴 俊幸
	野田 健一 山崎由紀敏
	中嶋 幸孝

ソ. 放射線特別授業運営委員会

役 職 名	氏 名
委 員 長	芦葉 弘志
副 委 員 長	佐々木 健
委 員	工藤 安幸 内海 将人
	成田 麻美 横山 寛
	矢島 慧介

(5) 表彰

- 叙勲瑞宝双光章受賞（敬称略）
新井 俊吉
- 公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰（敬称略）
堀江 好一
- 保健衛生知事表彰（敬称略）
角田 喜彦
- 公衆衛生事業功労者（財）日本公衆衛生協会会長表彰（敬称略）
濱守 誠、結城 朋子
- （公社）日本診療放射線技師会表彰
永年 50 年勤続者表彰 対象者なし
- 永年 30 年勤続者表彰（6 人、敬称略）
森田 寿、中村 正之、宇田 暢樹、岩田 雅巳、
藤田 功、堀 克世
- （公社）埼玉県診療放射線技師会表彰
永年 40 年勤続者表彰（2 人、敬称略）
小松 政文、濱守 誠
- 永年 20 年勤続者表彰（9 人、敬称略）
新井 偉生、小澤 昌則、加藤 浩之、新堀 隆男、
中村 禎志、中村 誠、萩原 貴之、原澤 俊明、
三橋 則行

(6) 物故者

なし

(7) 会員の動向（平成 27 年 3 月 31 日現在）

項 目	会 員 数
平成 26 年度末 会員数	1,178 人
平成 27 年度 新入会者数	59 人
再入会者数	5 人
転入者数	8 人
転出者数	7 人
退会者数	38 人
平成 27 年度末 会員数	1,205 人

(8) 平成 27 年度賛助会員 22 社（順不同）

- シーメンス・ジャパン株式会社
- GEヘルスケア・ジャパン株式会社
- 東芝メディカルシステムズ株式会社
- 株式会社三田屋製作所
- 株式会社日立メディコ
- 株式会社メディカル・サービス T&K
- コニカミノルタヘルスケア株式会社
- 第一三共株式会社
- カイゲンファーマ株式会社
- 富士フィルムメディカル株式会社
- 日本メジフィジックス株式会社
- 株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン
- エーザイ株式会社
- 東洋メディック株式会社
- 株式会社ケーアイシーメディカルシステム
- バイエル薬品株式会社
- 富士フィルム RI ファーマ株式会社
- 日本放射線防禦株式会社
- 株式会社ドクターネット
- キャノンライフケアソリューションズ株式会社
- ケアストリームヘルス株式会社
- 株式会社サイカンシステム

2. 学術教育活動

- (1) 第 14 回胸部認定講習会
講 師：佐々木健、清水達也、土田拓治、滝口泰徳、
染野智弘
開催日時：平成 27 年 12 月 6 日（日）
場 所：上尾中央総合病院
参 加 者：34 人
- (2) 第 14 回上部消化管検査認定講習会
講 師：志田智樹、遠藤亜矢子、工藤安幸、
竹内修平、今出克利、大森正司、入口陽介
開催日時：平成 28 年 1 月 17 日（日）
場 所：さいたま赤十字病院
参 加 者：19 人
- (3) 第 2 回 CT 認定講習会～入門編～
講 師：富田博信、中根淳、城處洋輔
開催日時：平成 27 年 8 月 31 日（月）
場 所：浦和コミュニティセンター 第 13 集会室
参 加 者：43 人
- (4) 第 2 回取得者向け CT 認定講習会
講 師：富田博信、中根淳、城處洋輔
開催日時：平成 27 年 8 月 31 日（月）
場 所：浦和コミュニティセンター IT 教室
参 加 者：10 人

- (5) 第7回CT認定講習会
 講師：富田博信、八木沢英樹、染野智弘、中根淳、
 佐々木健、志藤正和、城處洋輔、柴俊幸
 開催日時：平成28年1月24日(日)
 場所：済生会川口総合病院
 参加者：26人
- (6) 平成27年度胸部・上部消化管・CT検査認定試験
 開催日時：平成28年3月13日(日)
 場所：さいたま赤十字病院
 参加者：胸部20人 上部消化管4人 CT4人
- (7) 平成27年度胸部認定者
 指導員：該当者なし
 準指導員：鈴木友理(済生会川口総合病院)
 柴俊幸(所沢ハートセンター)
 伊藤玲香(上尾中央総合病院)
 佐々木学(上尾中央総合病院)
- (8) 平成27年度上部消化管検査認定者
 指導員：該当者なし
 準指導員：小濱大(埼玉医科大学総合医療センター)
- (9) 平成25年度CT認定者
 指導員：該当者なし
 準指導員：武田守市(中島病院)
 田中水悠(上尾中央総合病院)
 佐々木学(上尾中央総合病院)
 渡辺悠紀(熊谷総合病院)
- (10) MRI講習会
 講師：丸武史、近藤敦之、宿谷俊郎
 開催日時：平成27年11月8日(日)
 場所：さいたま赤十字病院
 参加者：17人
- (11) 第4回Freedセミナー
 講師：河野泰久
 開催日時：平成28年2月13日(土)
 場所：上尾中央総合病院
 参加者：20人
- (12) DR計測セミナー
 講師：土田拓治、滝口泰徳、森一也、大柿護
 開催日時：平成28年2月28日(日)
 場所：済生会川口総合病院
 参加者：17人
- (13) 乳腺画像セミナー
 講師：土田拓治、新島正美、辻村明日香、岡田智子
 開催日時：平成28年2月7日(日)
 場所：さいたま赤十字病院
 参加者：41人
- (14) 救急撮影ケーススタディー
 講師：滝口泰徳、伊藤寿哉、茂木雅和
 開催日時：平成28年3月30日(水)
 場所：上尾中央総合病院
 参加者：23人

3. 編集・情報活動報告

(1) 編集活動報告

平成27年度の編集活動として、会誌「埼玉放射線」を第63巻第240号から第64巻第243号まで、計4回発刊いたしました。特に、第63巻第240・241号には学術大会発表後抄録、第63巻242号には学術特集「日本放射線カウンセリング学会」「第35回埼玉CT Technology Seminar 学術

集会」、第63巻第243号寄稿「放射線安全教育の必要性和今後の課題」学術特集「平成27年度合同勉強会 in 熊谷～読影力を磨いてスキルアップ～」を収載しました。また前年度に続き、協賛企業の方々に「技術解説」をご執筆いただき、多くの方から内容について好評を頂きました。

平成28年度関東診療放射線技師学術大会HPの作成を行いました。

(2) 情報活動報告

ア「会員向けHP」

- 1) 学術案内(44件)
- 2) 巻頭言(3件)242号まで
- 3) 会誌(4件)239号まで
- 4) お知らせ(19件)
- 5) 学術データベース(40件)
- 6) 平成28年度関東甲信越診療放射線技師学術大会HP
 イ「一般向けHP」

ウ「会誌・バックナンバー」239号まで

エ「メールマガジン配信」

- 1) 6件 no.72まで

4. 新春の集い

開催日時：平成28年1月8日(金) 19:00～21:00

会場：大宮サンパレス GLANZ「ストーリーア」

参加者：会員41人、賛助会員35人、新入会員15人、
 合計91人

5. 役員・委員研修会

開催日時：平成28年2月10日(水)

場所：With You さいたま埼玉県男女共同参画推進
 センター セミナー室1

参加者：27人

6. 財務報告

決算関係報告は総会にて行います。

7. 公益活動

(1) 医療画像展(第18回 秩父市保健センターまつり)

開催日時：平成27年6月7日(日)

場所：秩父市保健センター

(2) リレー・フォー・ライフ川越

開催日時：平成27年9月19日(土)～20日(日)

場所：川越水上公園

(3) 医療画像展(越谷市民祭り)

開催日時：平成27年10月25日(日)

場所：越谷市役所庁舎

(4) 医療画像展(深谷市福祉健康まつり)

開催日時：平成27年10月25日(日)

場所：深谷市総合体育館

(5) 医療画像展(浦和区健康祭り)

開催日時：平成27年11月1日(日)

場所：コムナーレ浦和

(6) 彩の国いきいきフェスティバル

開催日時：平成27年11月15日(日)

場所：埼玉県県民活動センター

(7) 医療画像展(第29回川越市健康まつり)

開催日時：平成27年11月1日(日)

場所：ウエスタ川越

(8) 医療画像展(行田市健康フォーラム2015)

開催日時：平成 27 年 12 月 20 日（日）
場 所：行田市「みらい」ホール

(9) 被ばく相談

- ①各支部医療画像展、リレー・フォー・ライフ川越で開催
- ②ホームページにて 1 件

8. 支部報告

第一支部

支部理事 双木 邦博
監 事 宮澤 浩治
役 員 八木沢英樹 三橋 則行
佐藤 吉海 梶 功治
土田 拓治 森 一也
工藤 政文 五十嵐 浩
鎌田 靖男 田村 智将
大塚 忠義 川島 慶太
酒井 利幸 北原 弘治

(1) 第 1 回 支部勉強会

開催日時：平成 27 年 6 月 24 日（水）19：00～
場 所：JCHO さいたまメディカルセンター
参加人数：51 人
内 容：

- ア、メーカー最新技術講演
 - (ア)『富士フィルム FPD 最新動向について』
富士フィルムメディカル株式会社 浅野 省二
 - (イ)『ワイヤレス型 FPD を用いた最新製品のご紹介』
コニカミノルタヘルスケア株式会社北関東支社
販売推進部デジタルシステム担当 沼崎 明
 - (ウ)『超低線量 X 線診断装置
sterEOS イメージングシステムの臨床的有用性』
(株)メディテックファーイースト EOS Imaging 社
営業技術部 アントアン ムニエ
- イ、教育講演
 - (ア)『診療放射線技師法改正・業務拡大に伴う統一講習会実施について』
日本診療放射線技師会 常務理事 富田 博信

(2) 第 1 回 支部役員会

開催日時：平成 27 年 7 月 29 日（水）19：00～
場 所：JCHO 埼玉メディカルセンター
参加者：13 人

(3) 浦和区健康まつり

開催日時：平成 27 年 11 月 1 日（水）10：00～
場 所：浦和コミュニティセンター
参加事業：超音波式骨密度測定
医療画像展
放射線検査の啓発・説明

測定人数：560 人

(4) 第 2 回 支部勉強会

開催日時：平成 28 年 1 月 13 日（水）19：00～
場 所：JCHO 埼玉メディカルセンター
参加人数：54 人
内 容：

- ア、メーカー講演
 - 『心電図の基礎』
日本光電 安全管理担当 秋村裕彦
- イ、教育講演
 - 『乳腺画像カンファレンス』

埼玉協同病院 新島正美

ウ、支部調査報告

『埼玉県第一支部における一般撮影被ばく線量調査と DRL 比較』

済生会川口総合病院 瀬尾光広

(5) 支部決算報告

開催日時：平成 28 年 3 月 25 日（金）19：00～
開催場所：浦和コミュニティセンター
参加人数：25 人
内 容：平成 27 年度第一支部決算報告
第一支部理事 双木邦博

(6) 第 3 回 支部勉強会

開催日時：平成 28 年 3 月 25 日（金）19：00～
場 所：浦和コミュニティセンター
参加人数：25 人
内 容：

- ア、一般演題
 - 『MRI における頭部白質病変の定量評価
～大学院での研究成果と、そこで得たこと～』
さいたま市立病院 佐藤吉海
- イ、使用経験
 - 『SIEMENS 社製 MAGNETOM Aera 1.5T 使用経験～ resolve, SEMAC ～』
東川口病院 鎌田靖男
SIEMENS MR 事業部 石川啓介

第二支部

会 長（支部理事） 大西 圭一
副会長・会計 柴 俊幸
会 計 小田島明子
監 事 園部 明彦
肥沼 武司
役 員 栗原 真 瀧澤 誠
山下 隆行 矢幅 俊一
近藤 忠晴 塩野谷 純
小沢 利行
協力員 武田 義昭 千葉 雅恭 仲埜 智文

(1) 第 1 回勉強会

日 時：平成 27 年 4 月 23 日（木）18：30～
場 所：国立障害者リハビリテーションセンター
参加者：59 人
内 容：

- ア、製品紹介
 - 『フィリップス社製デジタルマンモグラフィ Micro Dose SI フォトンカウンティングによる最新技術のご紹介』
株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン
坂口 裕一

イ、一般研究発表

『脊椎領域における STIR 法の撮像条件検討 ～当院での至適条件検討～』

大宮中央総合病院 川久保 彰人

『128DAS-CT における高速撮影が画質に与える影響について』

越谷市立病院 関根 貢

『スペクトラルイメージングの臨床応用について』
株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン
坂口 裕一

- ウ、「より良い検査を求めて～小児検査～」
 座長 きたもと脳神経外科クリニック 横山 寛
 1) 「撮影条件最適化について～一般撮影～」
 済生会川口総合病院 森 一也
 2) 「読影について～一般撮影～」
 埼玉県立小児医療センター 田中 宏
 3) 「撮影条件最適化について～CT～」
 済生会川口総合病院 豊田 奈規
 4) 「読影について～CT～」
 埼玉県立小児医療センター 春日 沙織

(2) 第2回勉強会

日時：平成27年5月28日(木) 18:30～
 場所：国立障害者リハビリテーションセンター
 参加人数：48人
 内容：

- ア、製品紹介
 「Aquilion ONE -次バージョンソフトウェア
 “Functional Suite”のご紹介」
 東芝メディカルシステムズ株式会社関東支社
 営業推進部 CT担当 大西 輝法

- イ、一般研究発表
 「Zoom DWI の臨床利用の可能性 ～乳腺 DWI の歪みの基礎検討～」
 防衛医科大学校病院 近藤 忠晴
 「全脊椎撮影における乳腺被ばく線量低減の試み」
 上尾中央総合病院 小川 智久

「逐次近似再構成について」
 東芝メディカルシステムズ株式会社関東支社営業推進部
 CTアプリケーション担当 佐川 美奈

- ウ、「各施設・各メーカーにおけるルーチン検査～婦人科領域～」
 座長 東京医科大学病院 岡本 淳一
 1) 東芝ユーザー
 イムス富士見総合病院 吉田 晋吾
 2) Philips ユーザー
 済生会川口総合病院 丸 武史
 3) SIEMENS ユーザー
 埼玉医科大学病院 荒木 智一
 4) GE ユーザー
 上尾中央総合病院 石川 応樹

(3) 第3回勉強会

日時：平成27年6月25日(木) 18:30～
 場所：国立障害者リハビリテーションセンター
 参加者：43人
 内容：

- ア、製品紹介
 「MMGトレンド情報」
 シーメンス・ジャパン株式会社
 XP ビジネスマネジメント部 山田 恭子
 イ、一般研究発表
 「当院における乳腺 MRI の分解能の検討」
 埼玉石心会病院 坂口 功亮
 「透視検査における術者被ばくの低減に向けた取り組み」
 上尾中央総合病院 藤巻 武義
 「SIEMENS MAMMO 技術特集」
 シーメンス・ジャパン株式会社
 XP ビジネスマネジメント部 山田 恭子

- ウ、「急性腹症 CT ～機械的イレウスの原因を探る～」
 座長 小川赤十字病院 田中 達也
 1) 上尾中央総合病院 滝口 泰徳
 2) 済生会川口総合病院 富田 博信

(4) 循環器 CT セミナー 2015 (第2支部・バイエル薬品共催)

日時：平成27年9月12日(土)
 場所：OLSビル(大宮法科大学院大学) 2F 講堂
 参加人数：193人
 内容：

ア、セッション I 「心臓 CT 最新技術報告」

- 座長 上尾中央総合病院 館林 正樹
 講師 株式会社フィリップス
 エレクトロニクスジャパン 守谷 芽実
 シーメンス・ジャパン株式会社 松浦 孝俊
 東芝メディカルシステムズ株式会社 新井 信夫
 Eヘルスケア・ジャパン株式会社 大川 博和

イ、セッション II

- 座長 八重洲クリニック 吉田 諭史
 講師 「基礎からわかる時間分解能」
 済生会川口総合病院 豊田 奈規
 「明日から使えるハーフ再構成とフル再構成」
 高瀬クリニック 高柳 知也
 「手術に必要な CT 画像構築の基本のキホン」
 東京ベイ浦安市川医療センター小島 基揮

ウ、セッション III

- 「冠動脈動態解析アルゴリズムの効果と臨床的意義について」
 座長 益子病院 蒲田 淳一
 講師 江戸川病院 佐藤 英幸

エ、セッション IV

- 「低電圧冠動脈 CT に造影技術を活用するためのヒント」
 座長 三井記念病院 皆川 利浩
 講師 埼玉医科大学総合医療センター 中根 淳

オ、技術講演

- 「医工連携で開発した画像フィルターと臨床評価 -学位取得と臨床研究の両立について-」
 座長 石心会川崎幸病院 石田 和史
 講師 日本海総合病院 渋谷 幸喜

カ、特別講演

- 「CT と MRI での心筋 Perfusion (両者の比較を含めて)」
 座長 東京女子医科大学病院 飯村 浩
 埼玉医科大学際医療センター 妹尾 大樹
 講師 北海道大学 真鍋 徳子

(5) 第4回勉強会

日時：平成27年9月24日(木) 18:30～
 場所：国立障害者リハビリテーションセンター
 参加人数：43人
 内容：

- ア、製品紹介
 「Non Helical Volume Scan が開く、4次元の世界」
 東芝メディカルシステムズ 新井 信夫
 イ、「整形外科領域の撮影技術向上を目指して」
 1) 一般撮影
 「教科書に載っていない実践撮影のコツと X 線所見のとり方～踵骨編～」

- 座長 防衛医科大学校病院 野瀬 英雄
 講師 上尾中央総合病院 内田 瑛基
- 2) CT
 「整形外科領域のX線CTの標準化～正確なMPR切り出し～について」
 座長 越谷市立病院 関根 貢
 講師 彩の国東大宮メディカルセンター 田上 陽菜
- 3) MRI
 「上肢MRIの基礎」
 座長 トワーム小江戸病院 菅野 勝
 演者 草加市立病院 佐藤 広崇
- (6) 第5回勉強会
 日時：平成27年10月22日(木)18:30～
 場所：国立障害者リハビリテーションセンター
 参加者：43人
 内容：
 ア、製品紹介
 「シーメンスMRIの最新技術情報」
 シーメンス・ジャパン株式会社 MR ビジネスマネージメント部 諸井 貴
 イ、一般研究発表
 「FPDにおける幾何学的不鋭が画像に及ぼす影響」
 済生会川口総合病院 森 一也
 「当院におけるマンモグラフィCADの検討」
 丸山記念総合病院 木村 浩明
 「腹部MRI撮像における新しいアプローチ」
 シーメンス・ジャパン株式会社 MR ビジネスマネージメント部 諸井 貴
 ウ、「CT-AECの基礎と応用技術～ハイスペックCTユーザーから見た今までとこれから～」
 座長：済生会川口総合病院 志藤 正和
 所沢ハートセンター 柴 俊幸
 講師：さいたま赤十字病院 渡部 伸樹
 済生会川口総合病院 豊田 奈規
 埼玉石心会病院 伊藤 寿哉
 済生会栗橋病院 内海 将人
- (7) 第2・3・4・6支部合同勉強会
 日時：平成27年11月14日(土)15:00～18:00
 場所：森林公園 四季の湯温泉 ホテル・ヘリテイジ
 参加人数：101人
 内容：
 ア、「読影力を磨いてスキルアップ！」
 コメンテーター 上尾中央総合病院 館林 正樹
 座長 所沢ハートセンター 柴 俊幸
 埼玉医科大学病院 戸矢 雅人
 熊谷総合病院 吉田 敦
 指扇病院 石川 直哉
- 1) 四肢領域(第三支部)
 埼玉医科大学病院 高橋 忍
- 2) 頭頸部領域(第六支部)
 上尾中央総合病院 金野 元樹
- 3) 胸部領域(第四支部)
 小川赤十字病院 高井 太市
- 4) 腹部領域(第二支部)
 イムス三芳総合病院 小田島明子
- イ、「みんなで創ろう!『やりがいのある仕事』～チーム医療と診療放射線技師の役割～」
- 座長 埼玉医科大学総合医療センター 市川 賢一
 講師 上尾中央総合病院 佐々木 健
- (8) 第6回勉強会
 日時：平成27年11月26日(木)18:30～
 場所：国立障害者リハビリテーションセンター
 参加人数：49人
 内容：
 ア、製品紹介
 「シーメンスMRIの最新技術情報」
 シーメンス・ジャパン株式会社 MR ビジネスマネージメント 石川 啓介
 イ、「アルツハイマー型認知症治療における現状と展望」
 座長 防衛医科大学校病院 新井 真二
 埼玉医科大学総合医療センター 河原 剛
- 1) アリセプト
 エーザイ株式会社 猪俣 亨
- 2) リバスタッチパッチ
 小野薬品工業株式会社 鈴木 隆
- 3) メマリー
 第一三共株式会社 原田 芳幸
- ウ、「認知症における画像診断の役割について」
 座長：埼玉医科大学総合医療センター 河原 剛
- 1) CT
 小川赤十字病院 寺内ゆかり
- 2) MRI
 埼玉医科大学病院 小川真理子
- 3) SPECT
 済生会川口総合病院 城處 洋輔
- 4) PET
 東京ベイ先端医療・幕張クリニック 三本 拓也
- 第三支部
 支部理事 渡部 進一
 役員 市川 賢一 大野 哲治
 吉岡 正樹 寺西 潤 小林 祐介
 会計幹事 守谷 文貴
 会計監査 今井 昇
- (1) 第1回 第三支部勉強会を開催
 ア. 開催日時：平成27年6月19日(金)19:00～21:00
 イ. 開催会場：ウエスタ川越 生涯学習施設 2F 会議室1
 ウ. 参加人数：57人
 エ. 内容：
 メーカー講演
 (ア)「MRI撮影における各種撮影シーケンスの技術解説・E11バージョンソフトウェアの最新機能紹介」
 シーメンス・ジャパン株式会社 石川 啓介氏
 技師講演
 (イ)「知っておきたい社会人のメールマナー講座」
 埼玉医科大学総合医療センター 半澤 一輝
 (ウ)「超急性期の脳梗塞治療におけるCT画像の見方・考え方」
 埼玉医科大学総合医療センター 栗原 良樹
- (2) 第1回3地区役員会
 ア. 開催日時：平成27年6月19日(金)21:00～21:30
 イ. 開催会場：ウエスタ川越 生涯学習施設 2F 会議室1
 ウ. 参加人数：7人
 エ. 内容：川越健康まつり、納涼会など
- (3) 第29回 川越市健康まつり実行委員会

- ア. 開催日時：平成 27 年 6 月 29 日 (月) 13:30～15:00
 イ. 開催会場：川越市総合保健センター 会議室
 ウ. 参加人数：25 人
 エ. 内 容：開催場所、タイムスケジュールなど
- (4) 第 2・3 支部合同 納涼会
 ア. 開催日時：平成 27 年 7 月 18 日 (土) 19:00～21:00
 イ. 開催会場：ベニーノ チェッロ (西武本川越ベベ 3F)
 ウ. 参加人数：37 人
 エ. 内 容：施設間での親睦を深める
- (5) 第 2 回 3 地区役員会
 ア. 開催日時：平成 27 年 7 月 13 日 (月) 19:00～20:00
 イ. 開催会場：埼玉医科大学病院 会議室
 ウ. 内 容：支部合同勉強会、ボウリング大会、健康まつり、リレー・フォー・ライフ
- (6) 第 29 回 川越市健康まつり 第 3 回実行委員会
 ア. 開催日時：平成 27 年 7 月 29 日 (水) 13:30～15:00
 イ. 開催会場：川越市総合保健センター 会議室
 ウ. 内 容：催し物企画、前日準備などの説明
- (7) リレー・フォー・ライフ in 川越
 ア. 開催日時：平成 27 年 9 月 19 日 (土) 13:00～20 日 (日) 13:00
 イ. 開催会場：川越市水上公園
 ウ. 参加人数：46 人 (第三地区会員)
 エ. 内 容：リレー・フォー・ライフにボランティア協力
- (8) 第 29 回 川越市健康まつり 第 4 回実行委員会
 ア. 開催日時：平成 27 年 9 月 30 日 (水) 13:30～15:00
 イ. 開催会場：川越市総合保健センター 会議室
 ウ. 内 容：催し物企画、前日準備などの説明
- (9) 第三地区ボウリング大会
 ア. 開催日時：平成 27 年 10 月 2 日 (金) 19:00～21:00
 イ. 開催会場：川越ボウリングセンター
 ウ. 参加人数：34 人
 エ. 内 容：会員の親睦を深める
- (10) 第 3 回 3 地区役員会
 ア. 開催日時：平成 27 年 10 月 2 日 (金) 21:00～21:30
 イ. 開催会場：川越ボウリングセンター内 会議室
 ウ. 参加人数：6 人
 エ. 内 容：支部合同勉強会、健康まつりについて
- (11) 第 29 回 川越市健康まつり 第 5 回実行委員会
 ア. 開催日時：平成 27 年 10 月 19 日 (月) 13:30～15:00
 イ. 開催会場：川越市総合保健センター 会議室
 ウ. 内 容：催し物企画、前日準備などの説明
- (12) 第 2・3・4・6 支部合同勉強会実行委員会
 ア. 開催日時：平成 27 年 10 月 23 日 (金) 19:30～
 イ. 開催会場：エーザイ株式会社
 大宮コミュニケーションオフィス
 ウ. 内 容：予演会、準備など
- (13) 第 29 回 川越市健康まつり
 ア. 開催日時：平成 27 年 11 月 1 日 (日) 10:00～15:00
 イ. 開催会場：ウエスタ川越
 ウ. 参加人数：10 人 (地区会員含む)
 エ. 内 容：医療画像展の開催 (来場者 350 人)
- (14) 第 2・3・4・6 支部合同勉強会催
 ア. 開催日時：平成 27 年 11 月 14 日 (土) 13:00～
 イ. 開催会場：ホテルヘリテイジ
 ウ. 参加人数：勉強会 (101 人)
 エ. 内容：研究発表、講演、懇親会
 (ア) 支部合同症例会 「読影力を磨いてスキルアップ!」
- 四肢領域・・(第三支部) 埼玉医科大学病院
 高橋 忍
 頭頸部領域・(第六支部) 上尾中央総合病院
 金野 元樹
 胸部領域・・(第四支部) 小川赤十字病院
 高井 太市
 腹部領域・・(第二支部) イムス三芳総合病院
 小田島明子
- (イ) 特別講演
 「みんなで創ろう! 『やりがいのある仕事』
 ～チーム医療と診療放射線技師の役割～」
 講 師 上尾中央総合病院 佐々木 健
- (15) 第 4 回 3 地区役員会
 ア. 開催日時：平成 27 年 12 月 21 日 (月) 18:30～19:30
 イ. 開催会場：埼玉医科大学病院 会議室
 ウ. 参加人数：6 人
 エ. 内 容：新年会、勉強会、地区総会について
- (16) 第三地区新年会
 ア. 開催日時：平成 28 年 1 月 9 日 (土) 19:00～21:00
 イ. 開催会場：創作料理彩々 (サイサイ)
 埼玉県川越市脇田町 11-3 筋野ビル 2F
 ウ. 参加人数：41 人
 エ. 内 容：会員の親睦を深める
- (17) 第 5 回 3 地区役員会
 ア. 開催日時：平成 28 年 3 月 1 日 (火)
 イ. 開催会場：埼玉医科大学病院 会議室
 ウ. 参加人数：9 人
 エ. 内 容：次年度事業計画、勉強会、地区総会につ
 いて
- (18) 第 3 回 第三支部勉強会を開催
 ア. 開催日時：平成 28 年 3 月 18 日 (金) 19:00～20:00
 イ. 開催会場：ウエスタ川越 第 1 会議室
 ウ. 参加人数：40 人
 エ. 内 容：技師講演
 (ア) 「当院のステレオガイド下乳房生検における
 EnCor バイオプシーブロープの使用経験」
 埼玉医科大学国際医療センター 宮崎 千晶
 (イ) 「東芝 320 列 CT Aquilion ONE Vision Edition
 使用経験」
 埼玉医科大学国際医療センター 池野 裕介
- (19) 平成 27 年度 第三支部・地区定期総会
 ア. 開催日時：平成 28 年 3 月 18 日 (金) 20:00～20:40
 イ. 開催会場：ウエスタ川越 第 1 会議室
 ウ. 参加人数：17 人
 (委任状提出 163 人：議長一任 163 人)
 本総会出席 17 人と委任状数 163 人、合計が 180 人とな
 り第三支部会員数 234 人の過半数を超えており、埼放技三
 地区会会則第 9 条により本総会は成立。
 エ. 内容：定期総会審議事項
 審議-1：平成 26 年度事業報__審議の結果承認
 審議-2：平成 26 年度決算報告__審議の結果承認
 審議-3：平成 27 年度事業計画案__審議の結果承認
 (ア) 勉強会
 1) 第 1 回勉強会 (平成 28 年 6 月 17 日 予定)
 2) 支部合同勉強会(第 2 回) (平成 28 年 11 月 予定)
 3) 第 3 回勉強会 (平成 29 年 3 月 予定)
 (イ) 親睦会行事
 1) 納涼会 (平成 28 年 7 月 予定)

- 2) ボウリング大会 (平成 28 年 10 月予定)
 - 3) 新年会 (平成 28 年 1 月予定)
 - (ウ) 公益
 - 1) リレーフォーライフ川越 (平成 28 年 9 月予定)
 - 2) 川越市健康まつり (平成 28 年 12 月 11 日 予定)
 - (エ) 役員会・定期総会
 - 1) 第 1 回役員会 平成 28 年 6 月
 - 2) 第 2 回役員会 平成 28 年 9 月
 - 3) 第 3 回役員会 平成 28 年 12 月
 - 4) 第 4 回役員会 平成 29 年 3 月
 - 5) 第三支部・地区定期総会平成 29 年 3 月
- 審議-4:平成 28 年度予算案について_審議の結果承認
 審議-5:平成 28 年度役員改選_審議の結果承認
- ・代表幹事 : 渡部 進一
 - ・副代表幹事 : 吉岡 正樹
 - ・会計幹事 : 守谷 文貴
 - ・会計監査 : 今井 昇
 - ・幹事 : 佐藤 正彦
 - ・幹事 : 佐藤 正康
 - ・幹事 : 小林 祐介
 - ・幹事 : 中田 智仁

第四支部

- | | |
|-----------|----------------------------|
| 会長 (支部理事) | 齋藤 幸夫 |
| 副会長 | 清水 浩和 |
| 会計 | 大野 渉 |
| 役員 | 萩原 貴之 新井 偉生
横田 文克 高井 太市 |
| 監事 | 山田 伸司 関根 茂夫 |
- (1) 第 1 回 支部役員会
開催日時:平成 27 年 4 月 23 日 (木) 18:30~20:00
場所:深谷赤十字病院
参加者:5 人
 - (2) 医療画像展 (秩父保健センターまつり)
開催日時:平成 27 年 6 月 7 日 (日) 10:00~14:00
場所:秩父市保健センター
内容:骨密度測定、エコー、パネル展示、風船釣り等
実行委員:12 人
骨密度測定:352 人
パネル展示:50 人
スーパーボール釣り:200 人
 - (3) 地域医療連携講演会
開催日時:平成 27 年 6 月 22 日 (木) 18:50~20:30
場所:深谷赤十字病院 1F 多目的ホール
講演内容:
開会挨拶:深谷赤十字病院 院長 伊藤 博 先生
座長:深谷赤十字病院 放射線科部長 湯浅 昌之 先生
一般演題:「機器更新に伴う各モダリティーの紹介」
深谷赤十字病院 放射線科部
特別講演:
「3 テスラ MRI Discovery MR750w の使用経験-体幹部領域を中心に-」
大阪大学大学院医学系研究科 放射線医学講座 堀 雅敏 先生
閉会挨拶:深谷市・大里郡医師会 副会長 谷口 章 先生
参加者:94 人

- (4) 第 1 回 支部勉強会
開催日時:平成 27 年 6 月 25 日 (木) 18:30~21:30
場所:さくらめいと 第 1 会議室
講義内容:
「FUJIFILM 最新ソリューション」
富士フィルムメディカル株式会社 MS 部 東日本 MS センター 浅野 省二 氏
「FUJIFILM3D ワークステーションご紹介」
富士フィルムメディカル株式会社 3D 営業技術グループ 長谷川 由香 氏
「3D ワークステーション VINCENT によるアプリ実践検証」当日展示予定機器:FPD (CALNEO Smart、C/VG 画像用 2M2 面 /VINCENT)
参加者:45 人
- (5) 第 2 回 支部役員会
開催日時:平成 27 年 6 月 25 日 (木) 21:30~22:00
場所:さくらめいと 第 1 会議室
参加者:7 人
- (6) 山中隆二氏日本公衆衛生功労協会会長表彰祝賀会
開催日時:平成 27 年 6 月 27 日 (土) 19:00~
場所:秩父市大宮 5911-1 ナチュラルファームシティ農園ホテル
参加者:72 人
- (7) 平成 27 年度 第四支部 納涼会
開催日時:平成 27 年 7 月 31 日 (金) 19:00~
場所:旬彩ダイニング 浪漫 熊谷市宮前町 2-95
参加者:58 人
- (8) 第 3 回 支部役員会
開催日時:平成 27 年 9 月 4 日 (金) 19:00~19:30
場所:深谷赤十字病院
参加者:7 人
- (9) 医療画像展 (深谷市福祉健康まつり)
開催日時:平成 27 年 10 月 25 日 (日) 10:00~15:00
場所:深谷ビクタートル・深谷市総合体育館
内容:骨密度測定、パネル展示、風船釣りなど
実行委員:10 人
骨密度測定、パネル展示、モニター展示:402 人
スーパーボール釣り:100 人
- (10) 第 2・3・4・6 支部合同勉強会 (第 2 回 支部勉強会)
開催日時:平成 27 年 11 月 14 日 (土) 15:00~
場所:森林公園 四季の湯温泉ホテル・ヘリテイジ
講演内容:
開会挨拶 所沢ハートセンター 大西 圭一
支部合同症例検討会
コメンテーター
上尾中央総合病院 館林 正樹
支部座長
所沢ハートセンター 柴 俊幸
埼玉医科大学病院 戸矢 雅人
熊谷総合病院 吉田 敦
指扇病院 石川 直哉
「読影力を磨いてスキルアップ!」
四肢領域
第三支部 埼玉医科大学病院 高橋 忍
頭頸部領域
第六支部 上尾中央総合病院 金野 元樹
胸部領域

- 第四支部 小川赤十字病院 高井 太市
腹部領域
- 第二支部 イムス三芳総合病院 小田島明子
チーム医療 座長
埼玉医科大学総合医療センター 市川 賢一
「みんなで創ろう!『やりがいのある仕事』
～チーム医療と診療放射線技師の役割～」
上尾中央総合病院 佐々木 健
閉会挨拶 深谷赤十字病院 齋藤 幸夫
合同勉強会懇親会 司会進行 渡部 進一
参加者:101人
- (11) 平成27年度 第四支部 忘年会
開催日時:平成27年11月27日(金)19:00～
場 所:キングアンバサダー熊谷
参加者:73人
- (12) 医療画像展(行田市健康フォーラム2015)
開催日時:平成27年12月20日(日)10:30～16:00
場 所:行田市「みらい」ホール
内 容:骨密度測定、パネル展示など
実行委員:8人
骨密度測定、パネル展示、モニター展示:150人
- (13) 第3回 支部勉強会
開催日時:平成28年1月27日(水)18:30～21:00
場 所:さくらめいと 第1会議室
講演内容:「東芝CT装置の最新情報
～RSNA2015で全米デビューを果たした Aquilion
ONE ViSION FIRST Edition～」
東芝メディカルシステムズ株式会社
関東支社 営業推進部 大西 輝法 氏
「当直中に撮影したCT 症例報告 Ver2」
羽生総合病院 岡田 拓司
「読影の補助力UP講座
～当直医とディスカッションできるようになろう～」
羽生総合病院 大野 渉
参加者:59人
- (14) 第4回 支部役員会
開催日時:平成28年1月27日(水)21:00～21:30
場 所:さくらめいと 第1会議室
参加者:7人
- (15) 角田喜彦氏埼玉県保健衛生知事表彰祝賀会
開催日時:平成28年2月6日(土)18:00～
場 所:熊谷市銀座1-64
マロウドイン熊谷「飛天」
参加者:92人
- (16) 平成27年度 第四支部 監査会
開催日時:平成28年2月26日(金)18:30～
場 所:熊谷総合病院
参加者:8人
- (17) 第4回支部勉強会・平成27年度第四支部総会
開催日時:平成28年3月24日(木)18:30～20:00
場 所:さくらめいと 第1会議室
講演内容:「胸部領域」
～冠動脈CT検査でPTEが発見された症例～
小川赤十字病院 高井 太市
内 容:定期総会
参加者:53人

- 第五支部
支部理事 矢崎 一郎
支部役員
鈴木 孝 中村 禎二
中村 正之 岩井 悠二
矢部 智 西山 史朗
金子 初穂 中嶋 幸孝
眞壁 耕平 矢作 悠馬
- (1) 支部情報交換会
開催日時:平成27年4月30日(木)
場 所:草加市立病院 心臓血管センター 5F 講堂
内 容:
「心臓CTの基礎」
船橋市立医療センター 医療技術部 放射線技術科
石塚 瞬一
「心臓MRIの基礎」
草加市立病院 放射線科 佐藤 広崇
- (2) 支部情報交換会
開催日時:平成27年5月28日(木)
場 所:春日部市市民活動センター
内 容:
①もう当直業務は怖くない!!～基礎から学ぶCT検査～
越谷市立病院 放射線科
関根 貢
②頭部CT検査の基礎
越谷市立病院 放射線科
國井 琢矢
③TBT法を用いた3DCT-Angioの使用経験
越谷市立病院 放射線科
矢部 智
④SIEMENS社製MRI装置Aeraの初期使用経験
越谷市立病院 放射線科
高村 明宏
- (3) 支部情報交換会
開催日時:平成27年6月25日(木)
場 所:春日部市市民活動センター
内 容:放射線技師に必要なITの基礎
春日部市立病院 放射線科
矢崎 一郎
- (4) 支部情報交換会
開催日時:平成27年7月31日(木)
場 所:春日部市市民活動センター
内 容:『CTにおける金属アーチファクト』
獨協医科大学越谷病院 放射線部
郷久 将樹
『磁化率アーチファクト ZEROを目指して』
獨協医科大学越谷病院 放射線部
大橋 一範
- (5) 支部情報交換会
開催日時:平成27年8月27日(木)
場 所:春日部市市民活動センター
内 容:「デジタルマンモグラフィ装置の技術情報」
シーメンスジャパン株式会社
大塚 恭一 氏
- (6) 支部情報交換会
開催日時:平成27年10月1日(木)
場 所:春日部市市民活動センター
内 容:

- ①当院の救急科における急性腹症
草加市立病院 放射線科
丹野 亮
- ②急性腹症のMRI
草加市立病院 放射線科
佐藤 広崇
- ③ Parallel Imaging の基礎
草加市立病院 放射線科
加藤 広一

(7) 支部情報交換会

開催日時：平成 27 年 11 月 26 日 (木)
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：

- ①当院における術前頭部 3D-CTA の現状
越谷市立病院 放射線科
村本 圭祐
- ②肺動脈血栓塞栓症の CT 撮影法と当院の工夫
越谷市立病院 放射線科
関根 貢
- ③ CT 検査の被ばく線量推定 (WAZA-ARI v2 の使用
経験)
越谷市立病院 放射線科
矢部 智

(8) 越谷市民祭り

開催日時：平成 27 年 11 月 6 日
場 所：越谷市役所庁舎内

(9) 支部情報交換会

開催日時：平成 28 年 1 月 28 日 (木)
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：「新しい 1.5T-MRI 装置【MAGNETOM
Amira】のご紹介」
シーメンスヘルスケア株式会社
石川 啓介 氏

(10) 支部情報交換会

開催日時：日時：平成 28 年 3 月 24 日 (木)
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：「最新の PET-CT 情報と読影環境」
シーメンスヘルスケア株式会社 分子イメージング事業部
寺田 泰陽 氏

第六支部

会 長 (支部理事) 高嶋 豊
副会長 山口 明
監 事 濱守 誠 尾形 智幸
学 術 川久保彰人 藤巻 武義
館林 正樹 茂木 雅和
広 報 仙波 亮
編 集 辻村明日香
総 務 竹内 信行 金原 幸二
会 計 松田 繁尚 徳田 光希

(1) 地区役員会

開催日時：平成 27 年 4 月 7 日 (木)
場 所：さいたま赤十字病院
参 加 者：11 人

(2) 平成 27 年 第六支部第 1 回定期講習会

開催日時：平成 27 年 5 月 14 日 (木) 19:00 ~
場 所：指扇病院
内 容：

ア、『メーカー講演～シーメンス CT』
イ、『一般撮影～撮影のポイント』

- ①頰骨撮影法
講 師：丸山記念総合病院 高嶋 豊
- ②教科書に載っていない膝関節撮影法
講 師：上尾中央総合病院 仲西 一真
- ③小児一般撮影
講 師：埼玉県立小児医療センター
北井亜梨沙

参 加 者：45 人

(3) BLS 実技講習会

開催日時：平成 27 年 6 月 19 日 (金) 19:00 ~
場 所：上尾中央総合病院看護研究センター 1F
講師インストラクター：9 人

上尾中央総合病院 藤井 紀明
上尾中央総合病院 中山 勝雅
上尾中央総合病院 岡村 聡志
上尾中央総合病院 吉村 和広
上尾中央総合病院 佐々木 健
上尾中央総合病院 矢島 慧介
上尾中央総合病院 館林 正樹
上尾中央総合病院 藤巻 武義
埼玉医科大学総合医療センター 大根田 純

参 加 者：27 人

(4) 納涼会

開催日時：平成 27 年 7 月 16 日 (木)
場 所：カインドハウス Kin 魚

参 加 者：35 人

(5) 地区役員会

開催日時：平成 27 年 9 月 1 日 (火)
場 所：さいたま赤十字病院

参 加 者：11 人

(6) 平成 27 年度 第六支部第 2 回定期講習会

開催日時：平成 27 年 10 月 22 日 (木) 19:00 ~
場 所：丸山記念総合病院
内 容：

ア、『各施設の教育紹介』

講 師：8 人
埼玉県立がんセンター 平野 幸夫
埼玉県立小児医療センター 金原 幸二
さいたま赤十字病院 鈴木 裕之
上尾中央総合病院 矢島 慧介
さいたま北部医療センター 竹内 信行
彩の国東大宮メディカルセンター 中村 哲子
指扇病院 仙波 亮
丸山記念総合病院 高嶋 豊

参 加 者：45 人

(7) 支部合同勉強会 (2.3.4.6 支部)

開催日時：11 月 14 日 (土)
場 所：ホテルヘリテージ熊谷
参 加 者：100 人

(8) 彩の国いきいきフェスティバル

開催日時：平成 27 年 11 月 15 日 (日)
場 所：埼玉県民活動総合センター
～放射線展～パネル展示
被ばく相談 5 人 骨密度測定 200 人
実行委員：12 人

(9) 忘年会

開催日時：平成 27 年 11 月 26 日 (木) 19:00～

場 所：コリアンダイニングクオオズ

参加者：30 人

(10) 地区役員会

開催日時：平成 28 年 1 月 14 日 (木)

場 所：さいたま赤十字病院

参加者：11 人

(11) 埼玉県診療放射線技師会第六支部・第六地区定期総会
及び第六支部第 3 回定期講習会

開催日時：平成 28 年 3 月 10 日 (木) 19:00～

場 所：埼玉県立がんセンター 4F 講堂

内 容：

①定期総会

②第六支部第 3 回定期講習会

ア、『製品紹介～富士製薬工業株式会社』

イ、特別講演『造影剤のリスクマネージメント』

講 師：群馬大学大学院医学研究科放射線診断学

核医学分野 教授 対馬義人先生

参加者：50 人

9. 研究会活動

(1) 埼玉医用乳房画像研究会活動報告

ア、画像の向こうの患者を診よう

1) 第 40 回 症例検討会

開催日時：平成 27 年 4 月 21 日 (火)

参加者：31 人

2) 第 41 回 症例検討会

開催日時：平成 27 年 5 月 19 日 (火)

参加者：29 人

3) 第 42 回 症例検討会

開催日時：平成 27 年 6 月 16 日 (火)

参加者：35 人

4) 第 43 回 症例検討会

開催日時：平成 27 年 7 月 21 日 (火)

参加者：39 人

5) 第 44 回 症例検討会

開催日時：平成 27 年 8 月 18 日 (火)

参加者：23 人

懇親会開催 参加者：22 人

6) 第 45 回 症例検討会

開催日時：平成 27 年 9 月 15 日 (火)

参加者：18 人

7) 第 46 回 症例検討会

開催日時：平成 27 年 10 月 27 日 (火)

参加者：30 人

8) 第 47 回 症例検討会

開催日時：平成 27 年 11 月 17 日 (火)

参加者：26 人

9) 第 48 回 症例検討会

開催日時：平成 28 年 1 月 19 日 (火)

参加者：19 人

懇親会開催 参加者：16 人

10) 第 49 回 症例検討会

開催日時：平成 28 年 2 月 23 日 (火)

参加者：24 人

11) 第 50 回 症例検討会

開催日時：平成 28 年 3 月 22 日 (火)

参加者：21 人

イ、乳腺画像セミナー

開催日時：平成 28 年 2 月 7 日 (日)

場 所：さいたま赤十字病院 本館 5 階 講堂

参加者：41 人

ウ、第 23 回東京埼玉医用乳房画像研究会

開催日時：平成 27 年 9 月 27 日 (日)

場 所：さいたま赤十字病院

参加者：31 人

エ、第 24 回東京埼玉医用乳房画像研究会

開催日時：平成 28 年 2 月 21 日 (日)

場 所：慶應義塾大学病院

参加者：15 人

(2) 埼玉消化管撮影研究会活動報告

ア、第 45 回 埼玉消化管撮影研究会

講 師：柴田太、三浦洋敬、田中修二、今出克利

開催日時：平成 27 年 6 月 26 日 (金)

場 所：さいたま赤十字病院 5F 第 3 会議室

内 容：ITEM X 線透視装置 最新情報、
動画を用いて症例の紹介、読影の abc ～
上級者編～

参加者：38 人

イ、第 46 回 埼玉消化管撮影研究会

講 師：西村正生、大森正司

開催日時：平成 27 年 11 月 12 日 (木)

場 所：さいたま赤十字病院 第 3 会議室

内 容：胃 X 線検査による 線検査による H.Pylori
H.Pylori H.Pylori 感染診断アトラス、さ
いたま赤十字病院の消化管動画マニュアル

参加者：44 人

ウ、第 47 回 埼玉消化管撮影研究会

講 師：入口陽介、今出克利、大森正司

開催日時：平成 28 年 1 月 17 日 (日)

場 所：さいたま赤十字病院 本館 5 階 講堂

内 容：上部消化管の読影と病理、上部消化管撮影
技術、精密検査法およびレポート作成

参加者：45 人

平成27年度（公社）埼玉県診療放射線技師会理事会審議事項

1. 平成26年度事業報告について審議し総会に提出することを承認した。（議案書番号：理-1）（承認）
2. 鈴木正人埼玉県議会議員候補推薦状の発行について審議し承認した。（議案書番号：理-2）（承認）
3. 鈴木聖二埼玉県議会議員候補推薦状の発行について審議し承認した。（議案書番号：理-3）（承認）
4. 叙勲、関係団体表彰推薦者及び埼玉県診療放射線技師会永年勤続表彰者、功労賞表彰者について審議し承認した。（議案書番号：理-4）（承認）
5. 新入会員について審議し承認した。（議案書番号：理-5）（承認）
6. 平成26年度決算書について審議し総会に提出することを承認した。（議案書番号：理-6）（承認）
7. 平成26年度補正予算（案）について審議し承認した。（議案書番号：理-7）（承認）
8. 平成27,28年度 会長、副会長、常務理事の選任について審議し承認した。（議案書番号：理-8）（承認）
9. 深谷市福祉健康まつりへの参画およびのぼり貸出について審議し承認した。（議案書番号：理-9）（承認）
10. 新入会員について審議し承認した。（議案書番号：理-10）（承認）
11. 第7回CT認定講習会入門編および取得者向け講習会の開催について審議し承認した。（議案書番号：理-11）（承認）
12. 第24回参議院議員選挙における畦元将吾氏への推薦状の発行について審議し承認した。（議案書番号：理-12）（承認）
13. 第41回越谷市民祭りへの参画およびパネル貸出について審議し承認した。（議案書番号：理-13）（承認）
14. 浦和区健康まつりへ参画および骨密度装置・のぼりの貸出について審議し承認した。（議案書番号：理-14）（承認）
15. 第29回川越市健康まつりへの参画について審議し承認した。（議案書番号：理-15）（承認）
16. リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015川越への参画およびパネル・のぼり等の貸出について審議し承認した。（議案書番号：理-16）（承認）
17. 「記者バンドブック」購入について審議し承認した。（議案書番号：理-17）（承認）
18. 第2回DR計測セミナー開催について審議し承認した。（議案書番号：理-18）（承認）
19. 乳腺画像セミナー開催について審議し承認した。（議案書番号：理-19）（承認）
20. 第4回Freedセミナー開催について審議し承認した。（議案書番号：理-20）（承認）
21. 救急ケーススタディ開催について審議し承認した。（議案書番号：理-21）（承認）
22. 胸部認定講習会開催について審議し承認した。（議案書番号：理-22）（承認）
23. 平成27年度MRI基礎講習会開催について審議し承認した。（議案書番号：理-23）（承認）
24. 平成27年度第15回上部消化管認定講習会の開催について審議し承認した（議案書番号：理-24）（承認）
25. 第7回CT認定講習会開催について審議し承認した。（議案書番号：理-25）（承認）
26. 新入会員について審議し承認した（議案書番号：理-26）（承認）
27. 行田市市民フォーラム2015への参画およびパネル・骨密度装置の貸出について審議し承認した。（議案書番号：理-27）（承認）
28. 彩の国いきいきフェスティバルへ参画およびパネル・骨密度装置の貸出について審議し承認した。（議案書番号：理-28）（承認）
29. リレー・フォー・ライフ・ジャパンでの被ばく相談・医用画像展の追加開催および追加予算について審議し承認した。（議案書番号：理-29）（承認）
30. 平成28年度関東甲信越診療放射線技師学術大会での抄録集およびポスター依頼会社について審議し承認した。（議案書番号：理-30）（承認）
31. 会員施設への医用画像展パネルの貸出について審議し承認した。（議案書番号：理-31）（承認）
32. 埼玉放射線へのホームページ二次元バーコード記載に関して審議し承認した。（議案書番号：理-32）（承認）
33. 新入会員について審議し承認した。（議案書番号：理-33）（承認）

34. 技師会事務所・倉庫の修繕及びリフォームに関し、内容と予算について審議し承認した。(議案書番号：理-34)
35. 平成 27 年度役員研修会の平成 28 年 2 月開催について審議し承認した。(議案書番号：理-35) (承認)
36. 新入会員について審議し承認した(議案書番号：理-36) (承認)
37. 新井俊吉氏の名誉会員への推薦について審議し承認した。(議案書番号：理-37) (承認)
38. 技師会事務所の修繕について審議し承認した。(議案書番号：理-38) (承認)
39. 第 19 回秩父市保健センターまつりでの医療画像展開催に関して、予算および骨密度装置、展示パネル等の貸出について審議し承認した。(議案書番号：理-39) (承認)
40. 第 5 回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会開催について審議し承認した。(議案書番号：理-40) (承認)
41. 新入会員について審議し承認した(議案書番号：理-41) (承認)
42. 会費規程変更について審議し承認した。(議案書番号：理-42) (承認)
43. 平成 28 年度埼玉県診療放射線技師会収支予算について審議し承認した。(議案書番号：理-43) (承認)
44. 平成 28 年度事業計画案について審議し承認した。(議案書番号：理-44) (承認)
45. フレッシュアップセミナー開催について審議し承認した。(議案書番号：理-45) (承認)
46. 編集情報企画班設置について審議し承認した(議案書番号：理-46) (承認)
47. 技師会事務所配管修繕実施について審議し承認した。(議案書番号：理-47)
48. 新入会の承認について審議し承認した。(議案書番号：理-48)

平成28年度事業計画（案） 画像診療のコーディネーター

平成22年4月30日、各都道府県知事宛に厚生労働省医政局長から医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進についての通達があったことはご承知の通りである。診療放射線技師に関する項目は2つであり①画像診断における読影の補助を行うこと。②放射線検査等に関する説明を行うことである。

この通達が出されてからすでに6年が経過した。今から4年後の2020年東京オリンピックが開催される年には10年経過する。つまり「読影の補助」は過去のものであり、次に何を目標としていくのかを考えなくてはならない。

ビジネス形態には、「受け身型ビジネス」と「提案型ビジネス」がある。受け身型ビジネスとはその名の通り、顧客から依頼された仕事をこなすのみのビジネススタイルである。例えば、客がパソコンを購入するとしよう。一人の店員は、客に言われた通りのパソコンを提供したとする。しかし、客は購入した後で、自分の要望とパソコンのスペックが異なっており、別途パーツを買い付けしたという話は時々聞く。それに対し、もう一人の店員は顧客のニーズと予算を聞き、客に必要なパソコンのスペックを提案したとする。客にとって、どちらの店員を信頼するかは明らかである。さらに付け加えれば、数年先まで考え、松竹梅の3種類程度の提案ができれば申し分がない。受け身型ビジネスと提案型ビジネスでのスタイルの違いにより、店員と客の関係が大きく異なることが分かる。前者は店員と客の間に上下関係が生まれ、後者は対等な立場となり、客からすれば店員はパソコンを購入する際の大切なパートナーなのである。

では、この2人の店員には違いが3つある。一つは仕事を依頼してくれた人に喜んでもらいたいという思いである。二つ目はパソコンにおける知

識量である。この知識は技術だけでなく、客が利用する場面まで落とし込める知識量ということになる。いくら知識があっても客のパソコン使用状況が快適にならなければ意味がない。三つ目は対話力である。客の要望を聞き提案をする際、押しつけがましい提案や上から目線の提案では逆効果になる。

私たち診療放射線技師は診療科からの検査依頼を受け、情報量の多い画像を提供するのが仕事である。診療科の医師にとって必要な情報とは質的診断を目的としているのか、質的診断は他院で済んでおり、治療方針の決定のためなのか、また経過観察のためなのか。原因そのものが不明で病名を絞るためなのか。目的により検査の方法や検査範囲はおのずと異なってくる。さらには、患者の年齢や生活状況によっても異なる場合もある。また病棟や外来の事情により、異なることもあるだろう。それらの全てを考慮し、私たちが必要に応じ、検査の提案をしていくスキルが必要なのである。

では、検査の提案は誰にするのか。それは検査の依頼医であり、患者であり、同じ病院のメディカルスタッフである。診療放射線技師の「提案型ビジネス」を実現させるためには、多くの知識と経験、人間性が求められる。そして医療の主役である患者に必要とされる診療放射線技師になるためには、提案型ビジネスとして画像診療のコーディネイトができる人材が求められている。

そのために必要な知識とは、装置の管理、物理特性の理解、検査精度の管理、読影力、臨床的な知識、患者および家族の心理、人生経験などである。

読影の補助とは、すでに過去のモノであり、本来の目的である画像診療のコーディネーターを目指さすことが求められている。

1. 職業人としての質の向上

(1) 学術大会・認定講習会・セミナーの定期開催

- ア. 埼玉県診療放射線技師学術大会
 - イ. 胸部撮影認定講習会
 - ウ. 上部消化管検査認定講習会
 - エ. フレッシュアップセミナー (SART セミナー)
 - オ. 放射線技術部門マネジメント・セミナー (医療安全、接遇・クレーム、医療経営、人材育成)
 - カ. CT 認定講習会
 - キ. MRI 基礎講習会
 - ク. 乳腺セミナー
 - ケ. DR 計測セミナー
 - コ. 救急撮影ケーススタディー (日本救急撮影技師認定機構との共催)
 - サ. 読影力向上のための講習会 (支部開催セミナー)
 - シ. 業務拡大に伴う統一講習会
- ### (2) 会員講師の育成と体制づくり
- ### (3) 他県診療放射線技師会や他団体との合同講習会企画推進
- ア. 関東甲信越診療放射線技師学術大会への協力
 - イ. 埼玉県医師会主催事業への支援
 - ウ. 埼玉臨床画像研究会への協力
 - エ. 日本放射線技術学会関東部会との合同企画
 - オ. 日本診療放射線技師会との合同開催企画
 - カ. 各認定機構との合同企画 (埼玉開催の推進)

2. 組織運営に関わる事業

- (1) 行政との連携
- (2) 入会促進事業の強化

3. 公益目的事業

- (1) 学術情報の提供 刊行誌「埼玉放射線」の発刊
- (2) 市民公開講座の開催
- (3) 地域自治体主催事業への参画
- (4) 医療画像展の開催と支援
- (5) 県民向けホームページの充実
- (6) 医療被ばく相談の迅速な対応
- (7) 公立学校における放射線教育の担務
- (8) 技師会事務所近隣住民に対する公益事業

4. 編集・情報

- (1) 本会会誌「埼玉放射線」の充実
- (2) 診療放射線技師向けホームページの充実
 - ア. 各講習会、セミナー、イベントなどの迅速な広報
 - イ. 学術データベースの充実
- (3) メールマガジンの有効利用

5 その他

- (1) 他職種の職能団体との連携
- (2) 技師会事務所長期修繕計画の立案
- (3) 日本診療放射線技師会・他県技師会への協力

平成 28 年度当初予算

自平成 28 年 4 月 1 日 至平成 29 年 3 月 31 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

科 目	公益目的事業会計			収益事業会計			法人会計	内部取引控除	合計	備考
	公1	公2	公3	共通	小計	収1				
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
受取会費	0	0	0	5,695,000	5,695,000	0	0	5,695,000	0	11,390,000
正会員受取会費				5,445,000	5,445,000	0	0	5,445,000	0	10,890,000
賛助会員受取会費				250,000	250,000	0	0	250,000	0	500,000
事業収益	7,655,500	0	1,310,000	0	8,965,500	410,000	0	410,000	0	9,375,500
講習会受講料等収益	605,500				605,500	0	0	0	0	605,500
学術大会参加登録費収益	6,950,000				6,950,000	0	0	0	0	6,950,000
会誌広告収益	0	0	1,310,000	0	1,310,000	0	0	0	0	1,310,000
福利事業収益	100,000	0	0	0	100,000	0	0	0	0	100,000
賃貸収益					0	410,000	0	410,000	0	410,000
受取寄付金					0	0	0	0	0	0
雑収益	1,140,000	0	0	0	1,140,000	0	0	173,300	0	1,313,300
受取利息					0	0	0	100	0	100
雑収益	1,140,000	0	0	0	1,140,000	0	0	173,200	0	1,313,200
経常収益計	8,795,500	0	1,310,000	5,695,000	15,800,500	410,000	0	5,868,300	0	22,078,800
(2) 経常費用										
事業費										
給与手当	205,500	154,107	154,107	0	513,714	0	0	0	0	513,714
福利厚生費	1,514,100	54,000	0	0	1,568,100	0	0	0	0	1,568,100
会議費	960,000	54,000	206,000	222,000	1,442,000	0	0	0	0	1,442,000
旅費交通費	1,264,500	250,445	110,000	222,000	1,846,945	0	0	0	0	1,846,945
通信運搬費	194,400	63,880	687,620	0	945,900	0	0	0	0	945,900
減価償却費	263,660	87,886	347,086	0	698,632	26,012	0	26,012	0	724,644
消耗什器備品費	108,000	0	0	0	108,000	0	0	0	0	108,000
消耗品費	828,438	133,066	50,966	0	1,012,470	0	0	0	0	1,012,470
修繕費	40,000	40,000	40,000	0	120,000	0	0	0	0	120,000
印刷製本費	49,430	1,250	2,417,924	0	2,468,604	0	0	0	0	2,468,604
光熱水料費	6,800	6,800	6,800	0	20,400	0	0	0	0	20,400
賃借料	3,368,088	371,757	87,600	0	3,827,445	0	0	0	0	3,827,445
保険料	15,310	5,510	5,510	0	26,330	0	0	0	0	26,330
諸謝金	889,250	285,685	146,000	0	1,320,935	0	0	0	0	1,320,935
租税公課	24,270	8,090	8,090	0	40,450	20,000	0	20,000	0	60,450
支払手数料	51,840	12,960	14,240	0	79,040	8,000	0	8,000	0	87,040
渉外費	70,000	10,000	10,000	0	90,000	0	0	0	0	90,000
委託費	345,600	50,000	350,000	0	745,600	25,000	0	25,000	0	770,600
雑費	83,376	10,864	10,000	0	104,240	0	0	0	0	104,240

公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰を受賞して

JCHO さいたま北部医療センター
堀江 好一

このたび、平成 27 年度公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰を拝受致しました。

平成 28 年 3 月 8 日、ピシッとスーツを着込んで職場へと向かい、14 時からの式典に備えておりました。12 時を過ぎたころ電話があり、緩和ケア病棟に入院中の義父が息を引き取ったことを知らされました。1 年前まで一緒にゴルフをしていたくらい元気だった義父の命日と、表彰式が重なるという、忘れることのできない日となりました。

表彰式を欠席し、この原稿を書いている今も表彰状が手元にないので写真を載せることもできませんが、厚労省の Press Release には「多年にわたり公衆衛生事業のために献身的活動を続け、その功績が特に顕著であり、その事業に携わる者の模範となる者を表彰するものである」と書かれています。診療放射線技師として 31 年間働き、技師会の理事も長くやっておりますが、診療放射線技師の模範といえるかと問われたら、そんな自信は全くありません。昨年、義父に Stage IV の大腸がんが見つかり、その後の治療について相談されましたが、自分は病気のことや治療のこと、チーム医療のことも意外と知らないことを痛感しました。病気を患っている人を多く見てはいますが、治療の甲斐なく亡くなっていく人を見届けるということはほとんどありません。そんな中、緩和ケア病棟の看護師の方々の献身的な対応には頭が下がる思いでした。自分がうわべだけの医療スタッフに思えてくるほどでした。今回の受賞は、これを機にもっともっと知識を深めなさいという義父からのメッセージのように思えてきました。

最後に、表彰に当たりご推薦いただいた本会、田中会長はじめ、理事、表彰委員の方々に深く感謝申し上げます。

公衆衛生協会会長表彰を受賞して

丸山記念総合病院
濱守 誠

このたび、平成 28 年 3 月 8 日大手町サンケイプラザホールにて、一般財団法人日本公衆衛生協会会長表彰を受賞させていただきました。この名誉ある表彰を受賞するに当たり、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の役員・会員の皆さま、そして職場のスタッフに深く感謝申し上げます。受賞に当たり、芦葉理事より話を聞き辞退を伝えましたところ、田中会長より直接電話がありました。しかし、私以上に受賞にふさわしい諸先輩方がいるのではと辞退を申し入れましたが、表彰委員会の強い推薦であるとのことで、名誉ある受賞を頂くことに致しました。

しかし、技師生活 40 年、受賞に値する仕事をしてきたかと今でも思い起こす次第です。受賞功績として『診療放射線業務を通じて地域住民の健康維持に尽力』とありますが、間接的に尽くしたのかなと思っています。また『診療放射線技師の育成指導に尽力』とありますが、特別に育成指導を行ったとは思っていません。当院の今までのスタッフに恵まれ、歴代の技師会役員の方々や会員の方々に多少なりにも名前を覚えてもらったのが、私の財産であり、受賞に結びついたものと思っております。ありがとうございます。

最後に、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会のますますのご発展と会員皆さまのご活躍、ご健勝をご祈念申し上げます。



公衆衛生協会会長表彰を受賞して

埼玉県済生会川口総合病院
結城 朋子

表彰式は平成 28 年 3 月 8 日、大手町サンケイプラザにて「公衆衛生事業功労者厚生労働大臣賞」、「公衆衛生事業功労者一般財団法人日本公衆衛生協会会長賞」「地区衛生組織活動功労者一般財団法人日本環境保健活動団体連合会会長賞」と 3 つ合同で行われ、それぞれの賞一人一人が紹介された後、代表者に表彰状と記念品が手渡されました。表彰式には、主に看護職の年配の方が多く参加されていました。このような中、診療放射線技師でまだまだ若輩ものの私が、頂いてもいいものかとも思いました。この年齢まで長く診療放射線技師として仕事を続けてこられたこと、また技師会活動が続けることができたこと、全てにおいて家族、同僚、技師会役員の皆さまのご理解とお力添えがあって受賞できたものと感謝の念に堪えません。これからも診療放射線技師の一人として、今回の受賞に恥じないよう日々の仕事に、技師会活動に従事していきたいと思えます。

最後になりましたが、本賞受賞に当たり公益社団法人埼玉県診療放射線技師会会長さまにおきましては、ご推薦いただき誠にありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

「県立高校放射線特別授業」

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 会長 田中 宏

平成23年3月11日の東日本大震災に伴う原子力発電所の事故をきっかけに、文部科学省から放射線に関する副読本が各学校へ配布された。連日聞きなれない言葉がマスコミで飛び交い、その分かりにくい専門用語が国民へ大小の不安を与えた。これまで、放射線に関する知識を学ぶ機会がほとんどなかったことが原因であり、現在は多くの学校で放射線に関する副読本を使用し、学校ごとで放射線に関する授業を行っている。

学校教育の現場では、主に理科の教員が対応をしているが、学校によっては外部からの講師を招聘しており、その放射線特別授業を請け負う団体や組織は多数存在する。

埼玉県診療放射線技師会は職能団体であり、法人の目的は埼玉県民のためにある。これまで県民に対する放射線啓蒙活動として学術大会における市民公開講演、各市町村や医師会で開催される健康祭りへの参加、各市民団体による放射線に関する講演、これらに伴う被ばく相談などを行ってきた。今回、埼玉県診療放射線技師会が放射線特別授業に参加することは、学校の正式な授業の一環として、診療放射線技師が教壇に立ち、放射線に関する最も身近な専門家として教鞭を持つことは、学生にとっても有効だと考えている。

この事業計画を進めるに当たり、学校へ直接依頼する方法と教育委員会へ依頼する方法があるが、本会では後者の方法を選択した。その理由は、教育委員会へ直接訪問し、本会の事業説明や放射線特別授業へ参加する趣旨、内容を説明し理解をしていただいた。放射線はデリケートな分野であり、政治的な意図がないということを理解していただくことが大切である。学校側も埼玉県診療放射線技師会が教育委員会で説明を行っているということが、埼玉県診療放射線技師会に対して

の信頼へつながる。

この事業は公益事業ということで、埼玉県からは無料で受けている。講師は本会会員で委員会を設置し、その中で必要な知識、講義の方法を習得した診療放射線技師から講師選出規程に基づいて派遣される。一般の方々への放射線の説明は、学会や研究会での講義の内容とは大きく変わる。そして患者、一般市民、また学生への講義ではそれぞれ説明に使う用語や方法は異なる。また授業の講義を受け持つには、質問や疑問の範囲は多岐にわたるため、幅広い時事問題や一般常識も必要になる。これまで本会から数多くの講師にご協力いただいているが、診療放射線技師としてだけでなく、社会人として勉強になったというコメントを頂いている。

本事業は平日に学校で講義する必要がある、特定の講師に負担がかからないよう、数多くの会員に講師として参加していただき、事業を拡大していきたいと考えている。現在は県立高校だけに限っているが、今後、講師が増えれば、将来は中学校や小学校にも拡大していきたいと考えている。

興味を持たれた会員の方がおりましたら、お近くの役員や埼玉県診療放射線技師会へお問い合わせをいただければ幸いです。

「放射線について考える」特別授業の講師を担当して

東松山市立市民病院 工藤 安幸

1. はじめに

今回の「特別授業」について振り返ると、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の小川清前会長から、すでに抱いていたその構想の話をされたことに始まる。確か平成24年度の埼玉県診療放射線技師学術大会の時に協力を依頼され、とても有意義で大切な活動だと共感したことを覚えている。

私事ではあるが、原発事故が起きた平成23年3月以降、特別授業を行うまでの間に、自治体職員、地域健康推進員、病院職員、小学校PTA、保育士、地域医療職の研修会や県民公開講座の場で、「わかりやすい放射線・放射能の話」の講演の経験があった。

この時期、自治医科大学RIセンターの菊地透氏は、医療防護連絡協議会発行の医療放射線防護(No.71, 31-38, 2015)の中で、「医療関係者に対する放射線防護に関する教育訓練」と題し、「わが国の放射線教育は、義務教育の小学校・中学校、さらに高校・大学教育においても、長い期間実施されていない。また医療関係者への放射線防護の教育訓練に対してもほとんど実施されていない。今回の福島原発事故災害を契機に、最近、義務教育・高等教育課程における放射線教育が勧められている。しかし、現状では放射線教育を行う教師の人材不足が課題となっている」と述べていた。

また当時、東京電力(株)のHP上で示されていた資料(平成25年6月27日付)によると、[福島第一原子力発電所1～4号機の廃炉措置等に向けた中長期ロードマップ]として、「廃炉作業は、使用済燃料貯蔵プールの燃料や原子炉内部に溶解落ちた燃料を回収してから進められることになり、作業完了までは30～40年かかると考えられています」とあった。

これらのことから、近い将来の社会を担う高校生に、放射線に関する正しい知識を身に付けても

らうために、高校生を対象に分かりやすい出前授業「放射線について考えよう」を行うことが、田中宏会長の下決定された。

平成26年に特別授業運営委員会が結成され、そのメンバーとなった私は、第2回目として、6月10日に、埼玉県立川越西高校の授業を担当した。

2. 授業報告

この高校に伺って、複数台の放射線測定機器を所有していたのに驚かされた。実は放射線を実感として捉えてもらうために、GMサーベイメータを持参していたからである。担当教諭は放射線に詳しい先生で、原発事故後、雨どいの排水溝付近の線量測定を行っていたという。一部の生徒はもとも、比較的理解度が高く、私が例え話を交えて丁寧な解説した講義は、むしろ物足りなさを感じさせてしまったようであった。

これまで講演などで、関心のある人たちの前で話をする機会が多かった私には、今回の授業という場面では、関心や理解度の違う生徒たちに、限られた時間内に分かりやすく説明しなければならず、率直に学校教育の難しさも感じられた。ただ知識を吸収する年齢の真ただ中にいる高校生たちに、説明した内容を素直に受け入れてもらえたことは、私にとってとても貴重な経験になった。

授業後に行ったアンケートで、感想のコメントの中からいくつかを以下に示した。

○今回の授業はとても良く、勉強になりました。もう少し時間を多く取れば、もっと多くのことを学べると思います。

○最初は放射線は恐ろしいイメージが大きかったが、今回の話を聞いて、放射線全てが怖いわけではない、ということが分かったので安心です。

○放射線の話は例えがあって分かりやすかった。
 ○放射線は兵器とかだけでなく、医療の分野に使われていたことにビックリした。これからも新しい使い方を発見してほしい。
 ○放射線は使い方によっては、この世界の発展にもつながり、便利な世の中になるということと、とても恐ろしいものにもなるということ、という放射線の二面性が知れてよかった。とても勉強になってよかった。
 ○知っていることも結構多かったと思いました。いかにメディアが原発を、恐れ怖がらせているかが分かりました。
 ○放射線については知っていることが多くつまらなかったです。ですが病院での放射線の扱いについては詳しい使い方など、新しい事が学べて面白かったです。
 ○食べ物の中にも放射性物質が含まれているのに驚きました。今までは放射能を浴びると危ないといわれてきましたが、まず放射能とは、作用という意味だったのを初めて知りました。また、がんの影響があまりないということで、少し不安がなくなりました。
 ○原発事故の時から、インターネットやTVなどで情報を得ていたのですが、さほど不安には思っていなかったが、今回の話で情報の信ぴょう性も持つことができました。これからはしっかり情報を得て冷静に対応していきたいと思いました。
 ○放射線によるがんの発生率は、そこまで高くないということに安心しました。さらに発生率を下げるためにも、健康な身体作りを心掛けようと思います。放射線についてたくさんを知れて、とても勉強になりました。

授業後に担当教諭から「事前に知識がない生徒たちにも大変丁寧に講義していただき、たくさんのお礼のメールを頂いた。

3. まとめ

生徒の理解度には個々に相応の差があり、事前

に先生と十分に打ち合わせすることが重要であると感じた。また講義の前後で生徒にアンケート調査をするので、1コマ45分の授業では実質35分と短く、説明する内容を厳選する必要がある。

事故当時は、連日のようにニュースや新聞などに取り上げられ、本も多数出版された。それにより多くの国民は理解が深まったと推測される。

事故から5年の年月がたち、現在の高校生は当時小学校の高学年で、今後は低学年の世代が高校生になっていく。

昨今、世論の関心がやや薄れつつある中で、しかし、廃炉などに関わる社会的な影響が、この先数十年も続くことを考えると、私たち埼玉県診療放射線技師会が公益社団法人として、この「特別授業」の活動を継続的に行っていく必要性は大きいと考えている。

「放射線特別授業に講師として参加して」

埼玉県済生会栗橋病院 内海 将人

1. 参加のきっかけ

私は平成26年度より埼玉県診療放射線技師会公益委員として会務に携わっている。平成27年度より放射線特別授業運営委員会が公益事業の一環として、公益委員会下に組織されたことをきっかけに、特別授業准講師育成講習へ参加させていただいた。その結果、准講師、講師として2度、高校へ派遣された。



図1. 持参したバリウム製剤とヨード造影剤

2. 准講師として県立常盤高校へ

県立常盤高校は、埼玉県唯一の看護師養成高等学校である。2コマの授業時間を与えていただき、時間にゆとりのある授業が開催できた。私は准講師として講師の補助と「診療放射線技師の仕事とは」をテーマにした。学生にとってあまり馴染みのない職業であろうから、少しでも画像診断を身近に感じてほしいと考え、当院で使用しているレントゲンフィルム、バリウムやCT用ヨード造影剤シリンジ(図1.2)を持参した。医療現場で実際に使用している道具を手にとって、触る、見る、という経験が、一番診療放射線技師を間近に感じることができるのではないか、という考えからであった。学生はそれぞれ手に取って実際に触れながら、フィルムを見ながら講義を熱心に聞いていた。看護師養成校という校風から参加された女生徒が9割を占めており、一つのトピックへの反応が大きかったのが印象的であった。高校生への授業ということで講義を始める前は非常に緊張していたのだが、いざ話し始めてみるとスラスラと話すことができた。



図2. 持参した頸椎XP
(筆者が交通事故時に撮影したもの)

3. 講師として県立川越西高校へ

県立川越西高校へは講師として派遣された。講師は「放射線について考えよう」という基本テーマを基に講義する。この内容は、文部科学省が2015年に発刊した「中学生、高校生のための放射線副読本～放射線について考えよう～」の内容に準拠しつつ、講師のオリジナリティを入れることも許されている。各高校から特別授業依頼時に「このような内容を学生に教えてほしい」というテーマが与えられることがあり、今回は「放射線の人体への影響」に重きを置いて話してほしい、という依頼であったため、その意向に沿ったスライド作りを心掛けた。単純な文字の羅列だけで

は、飽きられてしまうと思い、霧箱を撮影した動画（図3）を流し、放射線を言葉だけではなく見ることによって理解を促そうと試みた。またなるべく学生が興味を引きそうな身近な話題から、伝えたいテーマを説明するというように、自分の身に起こっていることを感じて考えてもらうよう、飽きのこない工夫を凝らした。授業当日は雨だったため、教室の窓が閉じられていたので「この教室には壁からラドンという放射線物質が放出されていると思われ、窓が閉じられている現在では、外よりも被ばく量がわずかに多くなります（図4）」と説明すると、学生は驚いた表情を見せていた。依頼された教諭が学生に対し、放射線についての予習プリントを配布してくださっていたこともあり、スムーズな授業が開催できた。

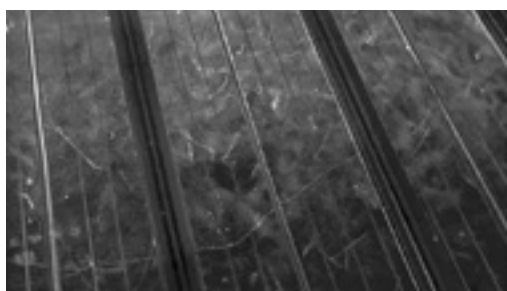


図3. 霧箱の動画スライド

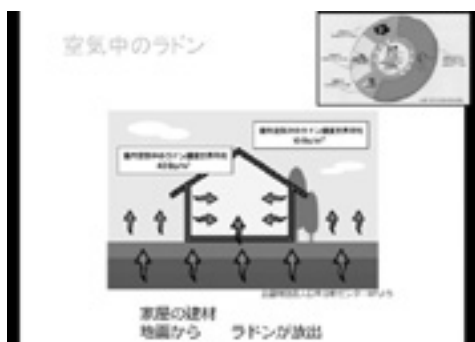


図4. ラドンは部屋の壁などからも放出されていることを説明するスライド

4. 出張授業の有効性と将来

放射線や被ばくに関しては、高校の教員でも理解し説明や教育することが難しい領域であり、そ

れらのスペシャリストであるわれわれが分かりやすく説明することで、理解しやすいのではないかと。出張授業中に教諭からの質問も何度かお答えした。また将来の高齢化社会を踏まえ、医療や介護業界のニーズは増加傾向であり、数年後の医療業界を目指す学生へ現状やアドバイスなどが見込めるなど、実際に病院、医療現場で働いている診療放射線技師から話を聞けることは高校側にとってメリットといえる。技師会としても診療放射線技師という職業を知ってもらえるというメリットがある。今後も本活動を継続していくことは、診療放射線技師会にとっても学生にとっても有用であると考えている。

5. 最後に

講師、准講師として貴重な体験の機会を与えてくださいました放射線特別授業運営委員会の皆さま、埼玉県診療放射線技師会の皆さまに深くお礼を申し上げます。

「放射線特別授業講師の体験談」

深谷赤十字病院 成田 麻美

1. はじめに

今回は出張特別授業でどのような授業をしたか、またその体験談を書くことになっていますが、授業の内容は経験豊富な他の先生方が説明してくださると思いますので、私は体験談の方に重心を置いて書かせていただこうと思います。

2. 准講師候補者講義

この特別授業の活動は、埼玉県診療放射線技師会（以下、埼放技）第4支部の会長であり、当院の大先輩でもある齋藤さんに教えていただいて初めて知りました。その時に講師の募集をしているから、興味があるなら参加するよう勧めていただきました。技師歴6年目の技師としても、人としてもまだまだ未熟で、大役を果たせる自信もありませんでしたが、放射線について一般の方々に広く知ってもらおうお手伝いを微力ながらできればと思い、立候補しました。また恥ずかしながらあがり症で発表も不慣れなため、それらの克服も密かに重大な目的の一つと考えていました。

さて、講師として教壇に立つためには、まずは公益委員会の主催する勉強会に参加し、准講師候補として登録します。次に正講師の先生に付き添い実際に「診療放射線技師のお仕事」の授業を行います。その様子は録画され、録画した授業について後日委員会で講評を受け、正講師と認定されます。

私の場合、いきなり准講師として授業を行うのはハードルが高く、依頼して下さった高校にあまりに申し訳なく思えたため、お願いをして授業の見学からにさせていただきました。

お邪魔したのは、看護師養成高校である常盤高校で、間に休憩をはさんだ90分の授業でした。その時の正講師は上尾中央総合病院の佐々木さん、准講師は済生会栗橋病院の内海さんでした。

授業の流れは何となく理解できたものの、佐々木さんも内海さんも生徒さん達の心を鷲掴みにしていたので、私には無理では・・・？と返って不安も大きくなってしまいました。

3. 准講師

そのおよそ半年後の平成27年5月上旬、准講師のご依頼をいただき、せっかく来たお話しですので、有難く受けさせていただきました。6月上旬に、川越西高校で「診療放射線技師のお仕事」について授業が決定しました。しかし、上手くまとめることができず、内海さんの授業スライドを使わせてもらいました。さらに当日は、緊張と不安で、何をどう話したのかほとんど覚えていないのですが、内海さんがフォローしてくださったおかげで、何とか無事に終えることができました。後日の委員会でも推して下さり、正講師として認定していただいたのですが、人に伝えることの難しさと自身の力不足を痛感したので、もっと知識と理解を深めなければならないと感じました。

4. 講師

そして正講師として授業をしてみないかと、丸山記念総合病院の芦葉さんに誘っていただき、平成27年11月27日に寄居城北高校で「放射線」について授業することが決まりました。授業を受けてくださるのは看護師志望の15人の生徒さんたちです。スライドを作成するに当たり、他の先生方の授業スライドやアドバイスをたくさん頂いて、何とか完成しました。ですが、あれもこれもと詰め込んでしまい、30分の授業時間に対して、スライド枚数が50枚を超えてしまいました。時間厳守は絶対ですから、30分以内に収まるように何度も練習をしましたが、不安を残したまま当日を迎えてしまいました。

授業は午後からだったので、お昼少し前に仕事を抜けさせていただき、寄居城北高校に向かいました。食事をもとにもできないほど緊張していましたが、合流した芦葉さんの落ち着いた態度と優しい笑顔と言葉に励まされて校舎に入りました。

授業がいざ始まると、やはり緊張して余裕など皆無でしたが、生徒さん達が私の拙い話をしっかり聞いてくれて、反応を返してくれて、理解しようとしてくれて、スムーズにはいきませんが、何とか授業を終えることができました。続けて芦葉さんが「診療放射線技師のお仕事」について授業したのですが、生徒さん達の反応を見ながら、それに応えるように授業をしていく様子がお手本を見せていただいているようで、とても勉強になりました。スライドの一例を図1～図4に掲載します。

5. さいごに

今回の授業も成功したとはとてもいえませんが、授業時間（制限時間）に合わせて何パターンかスライドを用意しておくこと、スライドに対して原稿を作らないなどアドバイスをいただきました。今後も、より分かりやすい授業を生徒さんに提供できるように研鑽を重ねて、放射線について正しく知ってもらうためのお手伝いや、興味のきっかけになればと思います。

最後に、アドバイスやサポートをしてくださった諸先生方や、私が授業に行くことを快く送り出してくださる当院のスタッフに、この場を借りて厚くお礼申し上げます。



図 1.



図 2.

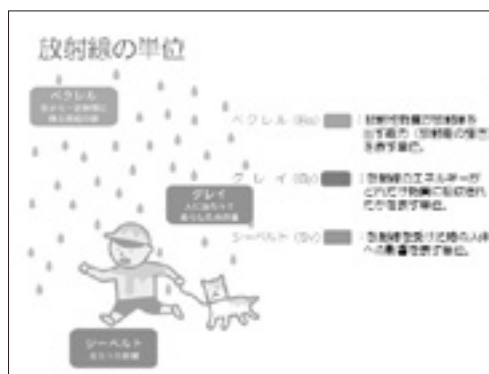


図 3.

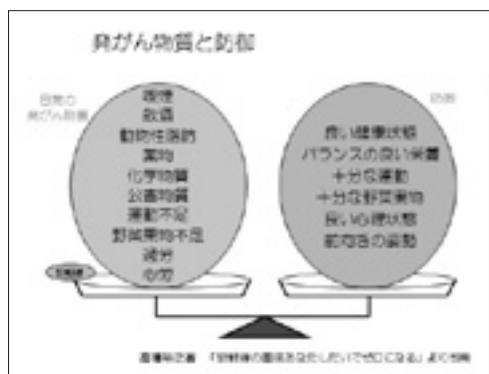


図 4.

巻頭言
 会
 告
 お知らせ
 学術特集
 寄
 稿
 連載企画
 技術解説
 総会資料
 本
 会
 の
 各
 支
 部
 勉
 励
 情
 報
 各
 支
 部
 活
 動
 議
 事
 録
 会
 員
 向
 の
 コ
 ー
 ナ
 ー
 人
 員
 名
 簿
 申
 込
 書
 ジ
 年
 コ
 ュ
 ス
 ル
 ケ

「特別授業「放射線について考えよう」アンケート評価」

丸山記念総合病院 芦葉 弘志

1. 【はじめに】

埼玉県診療放射線技師会（以下、技師会）では、福島第一原子力発電所事故により文部科学省から配付されている「放射線に関する副読本」を使用して、平成26年度より放射線啓蒙活動の一環として放射線特別授業運営委員会を組織し「放射線について考えよう」の特別授業を県立高等学校で行っている。

2. 【目的】

特別授業の際、生徒に対しアンケート調査を行った。この授業が有用であったか検討をする。

3. 【方法】

平成26年4月より平成27年3月までに3校4授業を行った。その際授業の前と終了後に生徒にアンケート調査を行った。アンケートは無記名、10段階評価を使用し、1、放射線についての理解 2、放射線についての不安度 3、授業内容について その他（全体を通しての意見をご記入ください）という欄を設けた。

A 高等学校21人 B 高等学校30人 C 高等学校2学年74人 C 高等学校3学年76人 合計201人の有効回答数にて検討を行った。

4. 【授業内容】

文部科学省から出されている「中学生・高校生のための放射線副読本」に沿った内容で委員会にて検討して行なった。

- ①福島第一原子力発電所事故
- ②原子と原子核
- ③放射線の種類と性質
- ④放射線による影響
- ⑤放射性物質に対する防護
- ⑥退避や避難の考え方

放射線技師のお仕事紹介（図1）

授業風景を図2に紹介する

5. 【結果 1】

4 授業平均点数 授業前理解 4.55 授業後理解 7.88 理解向上度 3.33 授業前不安度 4.96 授業後不安度 7.31 不安解消度 2.35 授業内容 8.65（図3）であった。

理解度、不安度についてZ検定（有意水準0.05）を行い、ともにp値0.0001以下であった（図4）。授業の前後で放射線に関する理解が得られた。授業の前後で放射線に関する不安は解消された。という結果となった。

6. 【結果 2】

ここに生徒からの意見を記載する

- ①今まで放射線と放射能の違いや、体にどういった影響があるのかなど全く分からなかったけど、今回の授業でとてもよく分かりました。
- ②今まで放射線は危険なものだと思っていましたが人体に大きな影響があるのは基準を超えたときだけだと聞いて少し安心しました。
- ③放射線についてマイクロシーベルトなど分からなかったけど、今日やっと分かってよかった。とても良い勉強になったと思う、この事を家の人や、友達に伝えたらよいと思う。

授業後に担当教諭からのお礼もあった

本日は、〇〇先生、〇〇先生にはお忙しい中、ご来校いただきありがとうございます。〇〇先生には診療放射線技師に関するいろいろな伺うことができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

これらのことは生徒はもちろんですが、私も今後の指導に役立てられると思います。両先生方にもよろしくお伝えください。

本日は本当にありがとうございました。機会がありましたらまたお願いします。

別の高校からのお礼もあった

昨日は特別講義を行っていただきありがとうございました。

生徒も放射線に関する正しい知識が得られ、看護師として働きたいとさらに感じていたと思えました。来年度以降も実施させていただければと思っています。今後ともよろしくお願い致します。

7. 【考察】

放射線に対し、授業前では不安が大きかったが、授業の後ではその不安が解消されていることを考え、正しく利用すれば安全であるということ十分に理解できたと考える。各高等学校ごとに講義を行う講師は同一ではなく、授業のバラツキが生じないように技師会組織として委員会を設立し定期的な勉強会を開催している。今後は公益活動だけでなく、会員教育としてもこの活動を役立てたい。

8. 【まとめ】

学校教育の現場に、診療放射線技師が関わることは有効である。さらに公益活動だけではなく、会員の人材育成という効果も期待できる。

9. 【謝辞】

今回の内容は昨年千葉で開催された、平成27年度関東甲信越診療放射線技師学術大会に学会発表し日本診療放射線技師会より「優秀な研究発表に対する学術奨励賞」を受賞した。関係各位の協力の下、頂いた賞であり、ここに感謝申し上げます。



図 1.



図 2.

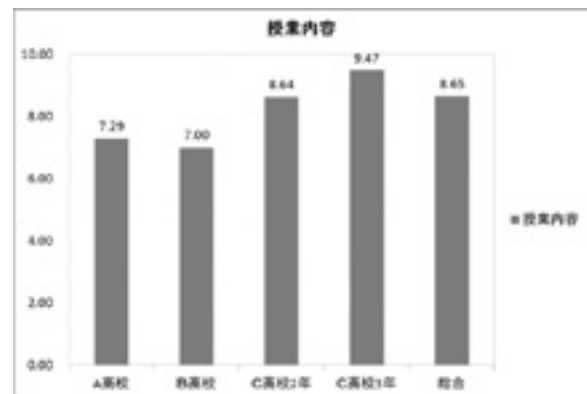


図 3.

	授業前平均	授業後平均	差	P値	有意差
4校舎 総合	4.55	7.88	3.33	0.0001以下	有り
	授業前安心度	授業後安心度			
	4.96	7.21	2.25	0.0001以下	有り

図 4.

平成28年 新春の集い 開催報告

総務常務理事
結城 朋子

平成28年1月8日、恒例となっております「平成28年新春の集い」が、大宮サンパレス・グランツにて開催されました。毎年この時期、新年のごあいさつや顔合わせ、また情報交換の場として例年多くの会員の皆さま、賛助会員の皆さまにご参加いただいております。今回の出席者は91人、このうち埼玉県診療放射線技師会の新しい会員となった新入会員15人の皆さんにもご出席いただきました。

開会のごあいさつの後しばらくはご歓談いただき、雰囲気になれたころ、新入会員の皆さまには自己紹介を兼ねて自分はどうのような診療放射線技師を目指すのか、将来の豊富も合わせて一人一人お話をいただきました。また日ごろお世話になっております賛助会員の皆さまにも、短い時間ではありましたが、スピーチをしていただきました。

終始和やかな雰囲気のなかあつという間の2時間でした。

最後にお忙しい中、ご参加いただきました会員、賛助会員の皆さまに心より感謝申し上げるとともに、皆さまのご協力を賜り、執行部一同、当会の運営に努力してまいります。

今後ともよろしくお願い致します。



第15回上部消化管検査認定講習会 開催報告

学術常務理事
今出 克利

平成28年1月17日（日）に、第15回上部消化管検査認定講習会をさいたま赤十字病院で開催しました。受講者数は19人で、午後からは埼玉消化管撮影研究会との合同開催となり、全体での参加者は45人でした。今年は、東京都がん検診センターの入口先生をお招きして、読影と病理について講演していただきました。病変発見時の動画や内視鏡画像、病理組織像との対比など、普段目にするのできない貴重なスライドを準備していただき、受講生も大変勉強になったことと思います。ただ、講義時間が足りなかったため、全てお聞きできなかったのは残念ですが、また次の機会に講演していただきたいと思います。講習会のプログラムは下記の通りです。

プログラム（敬称略）

平成28年1月17日（日）：上部消化管撮影 認定講習会

9：00～9：30	受診者管理（検査説明・接遇・情報管理）	志田 智樹（レインボークリニック）
9：30～11：00	X線透視装置の基礎：画質：性能評価	遠藤 亜矢子（株式会社日立製作所）
11：00～12：00	被ばく管理	工藤 安幸（東松山市立市民病院）
12：00～12：30	造影剤のリスクマネジメント	竹内 修平（伏見製薬）

埼玉消化管撮影研究会と合同開催

13：30～15：30	上部消化管の読影と病理	入口 陽介（東京都がん検診センター）
15：30～16：30	上部消化管撮影技術	今出 克利（さいたま市民医療センター）
16：30～17：30	精密検査法およびレポート作成	大森 正司（さいたま赤十字病院）

終わりに、東京都がん検診センターの入口先生、日立製作所の遠藤さま、伏見製薬の竹内さま、講義を担当していただいた技師の先生方、また当日、会場準備や運営にお手伝いいただいた埼玉消化管撮影研究会の世話人、バリウムメーカーのMRの方々にこの場を借りて深くお礼申し上げます。



入口陽介先生



平成 27 年度 第 7 回 CT 認定講習会 開催報告

学術理事
城處 洋輔

平成 28 年 1 月 24 日（日）に、第 7 回 CT 認定講習会が済生会川口総合病院の東館講堂にて開催され、他県からの参加者も合わせ 26 人が受講された。前半は、分野ごとに CT 検査における解剖を含めた基礎から臨床症例を交えた実践的な内容であり、後半は、TDC の理解を中心とした造影技術、装置の性能評価やプロトコル構築のために必要な物理特性について講じられた。物理特性実習では事前に撮影したファントムデータを用い、受講生がエクセルを用いて真剣に解析する姿勢が見られた。また自由参加としたファントム作成実習では、和やかな雰囲気の下参加者同士楽しみながら作成する様子が見られた。当日のプログラムを以下に記す。

受講生の皆さま、また講義や実習を担当された講師の皆さまには、この場をお借りしてお礼申し上げます。

CT 認定講習会 プログラム

8:20 ~ 8:40	受付		
8:40 ~ 8:45	オリエンテーション		
8:45 ~ 9:45	救急 CT の撮影法、読影講義	佐々木 健	上尾中央総合病院
9:50 ~ 10:50	胸部 CT の撮影法、読影講義	染野 智弘	羽生総合病院
11:00 ~ 12:00	腹部 CT の撮影法、読影講義	八木沢英樹	JCHO 埼玉メディカルセンター
13:00 ~ 14:00	頭頸部 CT の撮影法、読影講義	富田 博信	済生会川口総合病院
14:10 ~ 15:10	造影技術概論	中根 淳	埼玉医科大学総合医療センター
15:20 ~ 16:20	物理特性講義	柴 俊幸	所沢ハートセンター
16:30 ~ 17:30	実習 1 (MTF、SSPz 測定用ファントム作成)		
17:30 ~ 19:30	実習 2 (MTF、SSPz、NPS)	柴 俊幸	所沢ハートセンター
		志藤 正和	済生会川口総合病院
		城處 洋輔	済生会川口総合病院



講義風景



ファントム作成実習

平成 27 年度 乳腺画像セミナー 開催報告

学術理事
岡田 智子

今回のセミナーでは、初心者が乳腺診療に関わる際に役立つ基礎知識として、画像所見と病理を交えた講義内容を企画しました。そして座学で得た知識の復習として読影実習を 40 症例行いました。マンモグラフィでは、カテゴリー分類だけでなく、画像所見と病理を理解することで一歩先に進んだ読影が行える講義内容でした。超音波検査については、実際に検査に従事していない受講生が多かったですが、講義内で動画を用いて詳しく説明していたこともあり、受講生からも非常に好評でした。乳腺 MRI 検査の基礎は、乳腺診療における MRI 検査の役割から実際の MRI 画像、撮像シーケンスなど基礎からの講義内容になっており、初心者でも分かりやすく理解できたと感じました。最後に、まとめとして実際のマンモグラフィの読影を受講者に行ってもらった後に、画像所見、カテゴリー、最終病理診断を解説しました。

セミナー終了後のアンケート結果として、おおむね良好な結果でした。今回、非会員の参加が多くまだ乳腺画像セミナーの需要があると感じることができました。今後は、読影実習にさらに力を入れつつ、フレッシュアップからステップアップしたいベテラン技師にも満足してもらえる内容を企画していきたいと思えます。

最後に、お忙しい中ご講演いただいた講師の皆さま、ならびにセミナー運営のためにご尽力いただきましたさいたま赤十字病院尾形技師長に心より感謝申し上げます。

日 時：平成 28 年 2 月 7 日（日）10：00～17：20

場 所：さいたま赤十字病院 本館 5 階 講堂

受講者数：会員 30 人、非会員 11 人

プログラム

読影における基礎（MMG と病理）	済生会川口総合病院	土田 拓治
読影における基礎（US と病理）	埼玉協同病院	新島 正美
読影における基礎（MRI と病理）	埼玉県立がんセンター	辻村 明日香
実習 1：読影		
実習 2：読影		
読影解説	さいたま赤十字病院	岡田 智子

第4回 Freed セミナー報告

上尾中央総合病院
佐々木 健

平成28年2月13日に、第4回となる Freed セミナーが開催されました。今回は「理想の上司」「理想の部下」は、どのような人物像なのかをテーマに、グループワークを行い、その後「リーダーの役割と人が動きたくなるコミュニケーション」の講義を行っています。案内文に記載したように、管理者と新人や若手スタッフをどのようにつなげるか、どう上手く付き合うか、参加者の方々と考えるよい機会となりました。

〈ディスカッション風景〉



以下にグループワークの結果とディスカッションの内容を紹介します。

第4回 Freedセミナー

開催日:平成28年 2月 13日

報告者:上尾中央総合病院 矢島 繁介

テーマ

- ◆理想の上司
- ◆理想の部下

上記について、ワールドカフェにてディスカッションを行った。

理想の上司

理想の上司とは「目標になれる(ぶちがたい)と思える上司」

<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1年以上経験がある人 <input type="checkbox"/> 自信を持っていて責任感のある人 <input type="checkbox"/> 任せってくれる人(道筋を示してくれる) <input type="checkbox"/> 寄りを見てくれる人 <input type="checkbox"/> 困ったときに明確な指示を出すことができる人 	<p>まずは自分ができるようになる(経験)</p> <p>▼ 実習である必要はない</p> <p>▼ 部下・後輩に任せる(責任感)</p> <p>▼ 責任をもって育てる</p> <p>▼ 底りがよく見えている(柔軟性)</p> <p>的確な状況判断ができる</p>
---	--

理想的ではない上司とは...?

- ・ 話が長く結論がない
- ・ 否定的
- ・ 保守的
- ・ 気分屋
- ・ 言い方がキツイ

理想の上司

理想の上司

- 日常会話をする
- 信頼してくれる上司
- やる気を出させる上司
- 感情豊かな上司
- 管理能力のある上司
- コミュニケーションをとれる上司

上司からの会話が大得意

コミュニケーション不足が原因

嫌いな上司

- 理不尽な怒り方をする
- 人によっておこる反応が違う
- 人に目くじらに注意する
- 結果の前で怒られるのはイヤ

新進社員が大切とよく言われるが、上司との関係が悪くと嫌いな上司は、上司から周囲の良い関係を構築することで、経歴短しや、評価をあげることもできる上司が理想

『仕事を任せられた』と感じる時もあるが...
 ● それはあなたに任せられるからやるべきじゃない?

理想の上司

理想の上司とは寛大でビジョンをはっきり示してくれる人

具体的には...

- 肯定的である
- 部下にチャレンジさせる
- 自分自身も向上心を持っている
- 先を見据えた行動ができる
- 言っている事とやっている事が違わない
- アムとムチのバランスが上手

アムとムチのバランスは3:7が理想!

1人に対して組織全体が

褒める	:	叱る
3		7

理想の部下

⇒ 人としての基本ができ、仕事に対して真面目に向き合える人間

次人・部下

- 文句ではなく意見が言える
- 助言を素直に聞き、すぐ実行できる
- 良好な人間関係を築ける
(コミュニケーション能力)
- 責任感がある
- やる気 実績
- 返事・挨拶ができる

⇔

実際可愛がっている部下

- レスポンスが良い
- 関わりが長く、よく話す
- 挨拶してくれる
- 協力家
- 面白い

仕事面よりも人柄が大切

理想の部下

⇒ 後輩にアクション・アプローチでさ、報・連・相が行える

<p>一般職の理想</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>上司の行動で不足箇所を補える <input type="checkbox"/>言い分を守る <input type="checkbox"/>自分の考えを言える 	<p>後輩者の理想</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>自ら考え、行動する <input type="checkbox"/>元気・やる気がある <input type="checkbox"/>てきぱき動ける <input type="checkbox"/>上司と同じことができる <input type="checkbox"/>先を見据えられる <input type="checkbox"/>業務改善ができる 	<p>困る部下</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>考えが分からない <input type="checkbox"/>反応ない <input type="checkbox"/>反抗ばかり <input type="checkbox"/>完璧すぎる <input type="checkbox"/>期限が守れない
---	--	---

年代ごとに、理想像は異なる

理想の部下

⇒ 素直なのに生意気

<p>理想像</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>言うこと聞く <input type="checkbox"/>気づいて行動できる <input type="checkbox"/>ポジティブ <input type="checkbox"/>意見を言える <input type="checkbox"/>返事が言える <input type="checkbox"/>自分で考えられる <input type="checkbox"/>言葉の裏に気づける 	<p>理想像</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>笑顔 <input type="checkbox"/>やる気ある <input type="checkbox"/>愛嬌ある <input type="checkbox"/>お洒落好き <input type="checkbox"/>相談をくれる <input type="checkbox"/>相談してくれる 	<p>別居って何？</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>指示待ちせずに行動できる <input type="checkbox"/>発想の違い <input type="checkbox"/>提案してくる <input type="checkbox"/>言葉の裏を気づける <input type="checkbox"/>一人で仕事を任せられる
--	--	---

上司の理想より、プラスして答えられる...
切磋琢磨し合える

まとめ(全体討論:今回は理想の上司について考えた)

<p>部下とのコミュニケーションが上手な上司</p> <p>まずは業務中(あそびがないとき等)の日常会話から 予算5000円から4000円のご飯の話 今まで聞いた映画の話 国内旅行の話</p>	
<p>成長を促すことができる</p> <p>自分の経験を伝える</p> <p>サポートして、部下をよく観察する</p>	<p>話がブレない</p> <p>自分の考えを持つ</p> <p>経験を積む⇒失敗体験も必要</p>

結論:理想の上司とは 自分を持っていて人を育てられ、尊敬できる上司

第4回 Freed セミナーに参加して

埼玉医科大学国際医療センター
宮崎 千晶

診療放射線技師として仕事をしていくのに何が必要か。撮影の腕前、検査や医療の知識はもちろん、組織で働く社会人としてのスキルも必要なのではないか。技師歴10年目、組織の中でも中堅といわれる年代になりあらためて考え、今所属している組織をより仕事のしやすい現場にしたいと思い、セミナーに参加することにしました。

セミナーは2月13日土曜日、よく晴れた暖かい午後に行われました。ディスカッションと座学を交え約3時間、その後の楽しい懇親会、とても充実したセミナーでした。

ディスカッションでは、まず4人の違う病院の年代の違うメンバーが集まったグループで「理想の上司」「理想の部下」とはどんな人物なのかを話し合い、発表しました。私たちのグループの課題は「理想の上司」でした。グループ内ではさまざまな意見が出され、それぞれ経験談も交えながら「話しやすい人がいいけど、ほどよい距離感がほしい」「どっしり構えてフォローしてほしい」「肯定的にチャレンジさせてほしい」などたくさんの意見が出ました。が、どの意見も自分に当てはめてみると、、、まあ「理想」ですから。グループごとの発表を聞いてみると、どのグループも上司にも部下にも仕事の完璧さよりも少しミスや抜けている部分があっても話しやすく、元気があり、他人を考えられるなど、人間的な面が大切という意見がでました。

その後、佐々木講師から「リーダーシップコミュニケーション」の講座がありました。上司はリーダーシップ、部下はフォロワーシップを持ちそれぞれに役割があること、どうすれば部下を仕事に向かわせる姿勢にできるのかを学びました。中でも職場内の意見や質問には答えるだけでなく、答えに至る過程や考えを話して、相手がなぜその意見や質問に至ったのか意見に耳を傾ける「語って聴く」ことが大切であること、人が自ら動くためには「納得」が必要であること、そのためのコミュニケーションはどうすればいいのか、私自身とても納得できる内容でした。ぜひ職場に持ち帰り実践したいと思います。

セミナー終了後は楽しい懇親会もあり、お互いの職場の悩みを相談し合ったり、他院の対応策を聞いたりと大変身になる1日でした。

理想の上司になるには、理想の部下像を想像し、上司らしく先輩らしくではなく‘ありのまま’の自分をさらけ出し、理解してもらい、持っている知恵や経験、厳しさや面白さを惜しみなく与える、この繰り返しにより、その姿を見た部下や後輩が“あなた”を良い上司、先輩に育ててくれると認識することが第一歩と考えています。

平成28年5月14日の関東甲信越診療放射線技師学術大会では、
Freed セミナー企画 「真剣！ シャベリ場～10年後の未来を考える～」
を開催します。

楽しくディスカッションできればと考えていますので奮ってご参加ください。

第2回 埼玉 DR 計測セミナー報告

学術委員
土田 拓治

第二回 DR 計測セミナーが、済生会川口総合病院にて開催された。当日は 17 人の参加者であった。このセミナーの特徴は、初学者が自施設で FPD、CR などの物理特性を取得できるような実習形式を取り入れている。グループ実習では 4, 5 人に分かれ、実器によるデータ取得を体験することで、講師と充実したディスカッションができ、より理解が深まったと思われる。アンケート結果より、来年度の開催を望む声が多く聞かれたことは、企画側のモチベーションも高くなる。

このような体験型セミナーはニーズも高いが、会場を提供してくれる施設の理解が必要である。参加者は、そのあたりを十分留意し、装置を丁寧に扱う気持ちを忘れてはいけない。今回、会場を提供してくれた埼玉県済生会川口総合病院 原澤茂院長および放射線技術科富田科長には、この場を借りてお礼申し上げます。

以下プログラムを記載する。

- 13:10 ~ 14:40 物理特性測定における基礎・Image J Fiji plug in による応用実習
済生会川口総合病院 土田 拓治
- 14:50 ~ 15:30 実習 1; 一般撮影機器における物理特性測定 (入出力特性、NPS)
済生会川口総合病院 森 一也
- 15:35 ~ 16:15 実習 2; 一般撮影機器における物理特性測定 (MTF)
上尾中央総合病院 滝口 泰徳
- 16:25 ~ 17:50 実習 3; PC による物理特性解析
EIZO 株式会社 大柿 護
- 18:00 ~ 18:10 閉会式・終了

時間	講義・応用実習	実習 1	実習 2	実習 3
13:10~14:40	A, B, C, D			
14:50~15:30		A(40分)	B(40分)	C, D
15:35~16:15		B(40分)	A(40分)	
16:25~17:05		C(40分)	D(40分)	A, B
17:10~17:50		D(40分)	C(40分)	

平成 27 年度 埼玉県診療放射線技師会認定試験 開催報告 (胸部・上部消化管検査・CT)

学術常務理事
今出 克利

平成 27 年度埼玉県診療放射線技師会認定試験を平成 28 年 3 月 13 日（日）に、さいたま赤十字病院で開催しました。CT 認定では、筆記試験と読影試験に加えて物理特性（NPS・MTF・SSPz）の試験が行われ、16 人が受験し A 認定が 0 人、B 認定が 4 人でした。胸部認定では、胸部単純写真の読影試験および筆記試験が行われ、20 人が受験し A 認定が 0 人、B 認定が 4 人でした。上部消化管検査認定では、普通胃と横胃の 2 症例による画像評価と、読影試験および筆記試験が行われ、4 人が受験し A 認定が 0 人、B 認定が 1 人でした。

認定試験を合格した方々には、各施設において撮影技術向上と精度管理の普及をお願いするとともに、放射線業務の質の向上に努めていただきたいと思います。

最後に、試験会場をご提供いただいた、さいたま赤十字病院の尾形技師長、大森さん、岡田さんに厚くお礼申し上げます。

【CT 認定】

A 認定：該当者なし

B 認定：武田 守市（中島病院）

田中 水悠（上尾中央総合病院）

佐々木 学（上尾中央総合病院）

渡辺 悠紀（熊谷総合病院）

【胸部認定】

A 認定：該当者なし

B 認定：鈴木 友理（済生会川口総合病院）

柴 俊幸（所沢ハートセンター）

伊藤 玲香（上尾中央総合病院）

佐々木 学（上尾中央総合病院）

【上部消化管検査認定】

A 認定：該当者なし

B 認定：小濱 大（埼玉医科大学総合医療センター）



公益社団法人日本診療放射線技師会「業務拡大に伴う統一講習会」 ～通常開催～ 北関東地域（埼玉県）開催報告

学術理事
城處 洋輔

平成 28 年 2 月 20 日（土）、21 日（日）に、日本診療放射線技師会が主催とする業務拡大に伴う統一講習会が、JCHO 埼玉メディカルセンターにて開催された。今回からは静脈注射講習既修了者の制限をなくした通常開催とし、他県からの参加者も合わせ 56 人が 2 日間にわたり受講された。講習の合間には日本診療放射線技師会副会長である小川清氏より法改正から本講習会の意義について解説いただき、講義および実習を通じ業務拡大に伴う必要な知識、技能を習得またはそのきっかけとなったことと思われる。受講生の皆さま、また実習を担当された講師、会場スタッフの皆さまにはこの場をお借りしてお礼申し上げる。

プログラム

平成 28 年 2 月 20 日（土）

- 8:50～9:00 開講式・オリエンテーション
- 9:00～9:50 講義（DVD 放映）静脈注射関係
- 9:50～10:40 講義（DVD 放映）静脈注射関係
- 10:50～11:40 講義（DVD 放映）静脈注射関係
- 11:50～12:40 実習・演習 静脈注射
- 13:30～14:20 講義（DVD 放映）法改正
- 14:20～15:10 講義（DVD 放映）IGRT
- 15:20～16:10 講義（DVD 放映）IGRT
- 16:10～17:00 講義（DVD 放映）IGRT



平成 28 年 2 月 21 日（日）

- 8:50～9:00 オリエンテーション
- 9:00～9:50 講義（DVD 放映）下部消化管
- 9:50～10:40 講義（DVD 放映）下部消化管
- 10:50～11:40 講義（DVD 放映）下部消化管
- 11:40～12:30 講義（DVD 放映）下部消化管
- 13:20～14:10 実習・演習 下部消化管
- 14:20～15:10 実習・演習 IGRT
- 15:20～16:20 実習・演習 BLS
- 16:30～17:20 試験説明および確認試験
- 17:40～17:50 閉講式



実習指導者（敬称略）	大森 正司	さいたま赤十字病院
	石田 直之	埼玉医科大学総合医療センター
	佐々木 健	上尾中央総合病院
	八木沢 英樹	JCHO 埼玉メディカルセンター

各支部勉強会情報

第一支部情報

今後の予定

1. 平成 28 年度第 1 回勉強会

日時：平成 28 年 6 月 16 日（木）
（19：00～20：40）

会場：コムナーレ浦和 15 集会室

内容：

1) メーカー最新技術講演

『Perfusion CT・MR の最新情報』

CT シーメンスヘルスケア
MR フィリップスヘルスケア

2) 一般講演

『川口市立医療センターにおける心臓 MRI の紹介』

川口市立医療センター 千代岡 直家

3) 教育講演

『CT・MR・RI における虚血評価の最新情報』

日本大学病院 循環器内科 鈴木 康之先生

第二支部

平成 27 年 5 月 26 日（木）「平成 28 年度第 2 回勉強会」

場所 国立障害者リハビリテーションセンター 4F 中
会議場（予定）

1. 製品紹介（18：30-18：45）

司会：所沢ハートセンター 柴 俊幸

『ITEM2016 最新 GECT レポート』

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 CT 営業推進部
プロダクトスペシャリスト 大川 博和

2. 一般研究（18：45～19：15）

座長：パークタウンクリニック 矢幅 俊一、

防衛医科大学校病院 今井 真仁

所沢ハートセンター 柴 俊幸

「胃 X 線検査におけるピロリ菌感染判定方法について」
大宮シテイクリニック 堀越 隆之

「Bone Scan Whole body 撮像における %RMSU・
FWHM によるスキャン速度の検討」

埼玉県立がんセンター 山本 壮一

「Gemstone Spectral Imaging (Dual Energy CT) の臨
床応用について」

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 CT 営業推進部
プロダクトスペシャリスト 大川 博和

3. 特別講演（19：15～20：30）

座長：原田病院 瀧澤 誠

乳腺の画像診断「MMG と病理」（仮）

埼玉県済生会川口総合病院 土田 拓治

平成 27 年 6 月 23 日（木）「平成 28 年度第 3 回勉強会」

場所 国立障害者リハビリテーションセンター 4F 中
会議場（予定）

1. 製品紹介（18：30-18：45）

司会：防衛医科大学校病院 野瀬 英雄

「富士フィルム一般撮影 最新画像処理のご紹介」

富士フィルムメディカル株式会社 MS 部

販売促進グループ東日本 MS センター 浅野 省二

2. 一般研究（18：45-19：15）

座長：防衛医科大学校病院 野瀬 英雄、埼玉医科大学病
院 荒木 智一

「保育器収容低体重児に対するポータブル撮影時にお
ける撮影条件および被ばく線量の基礎検討」

埼玉医科大学総合医療センター 鳥越 翔

「3.0T-MRI における single shot T2WI の高分解能化に
ついての基礎的検討」

済生会川口総合病院 丸 武史

「一般撮影の線量管理 最新状況」

富士フィルムメディカル株式会社 MS 部

販売促進グループ 東日本 MS センター 浅野 省二

3. 特別セッション『研究のためのファントム作成について』（19：15～20：45）

座長：済生会川口総合病院 土田 拓治、草加市立病院 佐
藤 広崇

1) DR 研究のためのファントム

北里大学メディカルセンター 今花 仁人

2) MMG 研究のためのファントム

獨協医科大学越谷病院 高橋 利聡

3) CT 研究のためのファントム

埼玉県済生会川口総合病院 城處 洋輔

4) MRI 研究のためのファントム

埼玉医科大学病院 荒木 智一

平成 28 年 8 月 27 日（土）「循環器 CT セミナー 2016」

場所 浦和コルソコミュニティプラザ 7F ホール

時間 10：30～18：30

平成 28 年 9 月 29 日（木）「平成 28 年度第 4 回勉強会」

場所 国立障害者リハビリテーションセンター 4F 中会議場 (予定)

1. 製品紹介 (18:30-18:45)

司会: 所沢ハートセンター 柴 俊幸

「シーメンスが取り組む Metal Artifact Reduction について」

シーメンス・ジャパン株式会社 CT 事業部 松浦 孝俊

2. 特別セッション (18:45-20:45)

1) 一般撮影 (座長 防衛医科大学校病院 野瀬 英雄)

「Talbot-Lau 干渉計 X 線撮影装置による臨床撮影」

埼玉医科大学病院 仁藤 真吾

2) CT (座長 上尾中央総合病院 金野 元樹)

「整形疾患から考える CT 撮影のポイント」

越谷市立病院 村本 圭祐

3) MRI (座長 済生会川口総合病院 丸 武史)

「プロトコルを考える ～基礎からの腰椎 MRI～」

上尾中央総合病院 石川 応樹

平成 28 年 10 月 27 日 (木) 「平成 28 年度第 5 回勉強会」

場所 国立障害者リハビリテーションセンター 4F 中会議場 (予定)

1. 第 2 支部セッション (18:45-19:30)

座長: 埼玉石心会病院 八木 雅恭、狭山中央病院 浜田 真行、所沢ハートセンター 柴 俊幸

「3 月稼働の Angio-CT 装置について ～Angio/80 列 CT/US の可能性～」

防衛医科大学校病院 野口 拓斗

「CT 用低コントラストファントムの作成」

国立障害者リハビリテーションセンター病院 肥沼 武司

「0 (ゼロ) から START ! Angio 稼働 ～稼働に向けた経験報告～」

イムス三芳総合病院 高田 博邦

2. 特別講義 (19:30～20:30)

座長: 埼玉石心会病院 塩野谷 純

『転移のメカニズム』

講師 西狭山病院 小澤 昌則

平成 28 年 11 月 24 日 (木) 「平成 28 年度第 6 回勉強会」

場所 国立障害者リハビリテーションセンター 4F 中会議場 (予定)

1. 製品紹介 (18:30～18:45)

「最新の超音波診断装置について」

東芝メディカルシステムズ 関東支社 営業推進部 墨 華恵

2-1. 基本を学ぶ (座学) (18:45～19:15)

1) 心エコー

「基本断面と B モード・M モードによる計測の基礎」

所沢ハートセンター 検査科 谷川 浩史

2) 腹部エコー

「肝の基本走査と Couinaud 分類・肝内血管の解剖について」

済生会川口総合病院 放射線技術科 結城 朋子

3) 頸動脈エコー

「頸動脈の基礎と正常の超音波像について」

済生会川口総合病院 臨床検査科 絹田 泰三

2-2. 基本を学ぶ (実技)

※東芝メディカル US 装置 3 台を用いた実技講習となります (要予約)

1) 心エコー講師

所沢ハートセンター 検査科 谷川 浩史

2) 腹部エコー講師

済生会川口総合病院 放射線技術科 結城 朋子

3) 頸動脈エコー講師

済生会川口総合病院 臨床検査科 絹田 泰三

平成 29 年 3 月 11 日 (土) 「Dual Energy CT セミナー 2017」

場所 未定

時間 12:45～19:00

第三支部

1. 平成 28 年度 第 1 回 第三支部勉強会を開催

開催日時: 平成 28 年 6 月 17 日 (金)

(19:00～21:00)

開催会場: ウェスタ川越 2F 活動室 1

内 容

・メーカー講演: 未定

・技師講演

1) 「苦手を克服! 肘関節 MRI の撮像方法」

埼玉医科大学病院 荒木 美和

2) 「MRI 認定における性能評価の解析方法について (ImageJ)」

埼玉医科大学病院 栗田 京助

第一支部

第一支部報告

ア. 第2回勉強会

(ア) 日 時：平成28年1月13日(水) 19:00～20:40

(イ) 会 場：JCHO 埼玉メディカルセンター 3階第会議室

(ウ) 参加人数：54人

(エ) 内 容：

(a) メーカー講演 日本光電 安全管理担当 秋村 裕彦
『心電図の基礎』

(b) 教育講演 埼玉協同病院 新島 正美
『乳腺画像カンファレンス』

(c) 支部調査報告 済生会川口総合病院 瀬尾 光広
『埼玉県第一支部における一般撮影被ばく線量調査とDRL比較』



日本光電 秋村 裕彦



埼玉協同病院 新島 正美



済生会川口総合病院 瀬尾 光広

イ. 支部決算報告

(ア) 日 時：平成 28 年 3 月 25 日（金） 19：00～

(イ) 会 場：コムナーレ浦和 14 集会室

(ウ) 内 容：

(a) 27 年度第一支部決算報告 第一支部理事 双木 邦博

ウ. 第 3 回勉強会

(ア) 日 時：平成 28 年 3 月 25 日（金） 19：10～20：40

(イ) 会 場：コムナーレ浦和 14 集会室

(ウ) 参加人数：25 人

(エ) 内 容：

(a) 一般演題 さいたま市立病院 佐藤 吉海

『MRI における頭部白質病変の定量評価～大学院での研究成果と、そこで得たこと～』

(b) 使用経験 東川口病院 鎌田 靖男

SIEMENS MR 事業部 石川 啓介

『SIEMENS 社製 MAGNETOM Aera 1.5T 使用経験～ resolve, SEMAC ～』



第二支部

平成 28 年度 事業に向けて

所沢ハートセンター 柴 俊幸

気付けば平成 28 年、かつて話題になった不吉な予言から 16 年が過ぎ、スタッフにも平成生まれが当たり前になり、冗談めかしに言っていた「昭和の人」という言葉に違和感がなくなってきていると感じる今日このごろです。

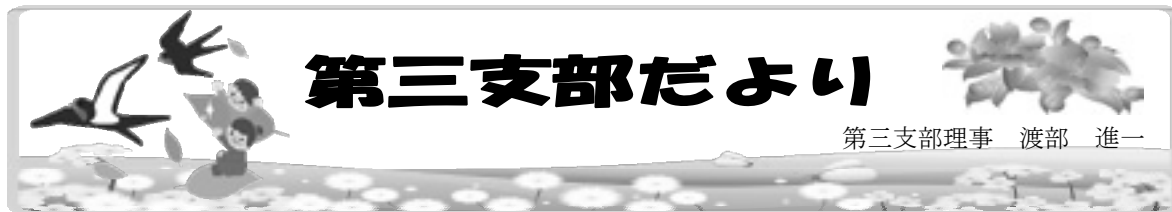
先ほど確認してみたところ、私の技師免許交付が平成 18 年 5 月 25 日。つい最近のようでもあり、長い長い 10 年のようにも感じます。どこかで聞いた話ですが、大人になるに連れて時間の経過が短く感じるというのは、新しい体験が子供のころに比べて少ないからだ、という説があるそうです。小さいころは入学式、入園式から始まり、初めての授業、初めての遠足、初めての運動会、初めての部活動など新しい体験があるために、その都度思い出が増えるが、大人になるとその初めてのが減っていくために時がすぎるのが早く感じる、という説だそうです。

逆に考えるのであれば、大人になっても新しいことを探して行動していくことで時間を長く感じる、つまり一日一日を有意義に過ごせるともいえるのではないのでしょうか。もちろん歳を取るごとに体力も落ち、積極的に行動することも多少億劫になります。そこで効いてくるのは何よりもモチベーション、やる気ではないかと感じます。では仕事の上で何がモチベーションを上げることにつながるかと考えた時に、やはり一緒に行動してくれる誰かがいるということが大きいように感じます。後輩、先輩、同僚問わず、一緒に行動してくれる誰かがいること、引っ張ってくれる誰かがいること、ついてきてくれる誰かがいること、手本にできる誰かがいることがモチベーション維持に必要不可欠に感じます。自分の職場はもちろんですが、技師会のような職能団体での活動ではそのような出会いを大切にしながら今年度も活動していければと思います。

さて、この 4 月から新しく技師会に入会される方もいるかと思いますが、平成 28 年度もさまざまな催し物が開催されます。5 月には関東甲信越診療放射線技師学術大会が埼玉にて開催されますし、第二支部としても定期勉強会に加え、循環器 CT セミナーや Dual Energy CT セミナー、熊谷でも合同勉強会など、どれか一つは引っ掛るものがあるかと思っています。会誌や Web サイトなどで気になったものがあつたとき、いきなり足を運ぶことに抵抗があればぜひ技師会や支部に問い合わせしてみてください。きっと皆さん「仲間が増える！」と目を爛々とさせて案内してくれると思います。せっかく入会した職能団体ですので、できるだけ有意義に活用し、スキルアップに役立てていただければと思います。

とりとめのない文章となってしまいましたが今年度も皆さまと楽しく活動していければと思いますのでよろしくお願い致します。

第三支部



謹啓

緑樹の候、会員の皆さまにはいっそうご活躍のこととお慶び申し上げます。平素より第三支部の運営に当たりましては格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、3月18日(金)に行われました平成27年度定期総会におきましては無事に終わることができ、誠にありがとうございます。心から感謝申し上げます。本年度も第三地区勉強会、支部合同勉強会や親睦会などを予定していますのでぜひご参加くださいますよう申し上げます。また2月より第三支部ホームページを開設しました。随時、各種イベントの最新情報を掲載していきますので、ぜひご覧ください。

最後になりますが、平成28年度の役員が一部変更になりましたので役員一同、本年度もよろしくお願ひします。

敬白

【報告事項】

(1) 第三地区新年会

- ア. 開催日時：平成28年1月9日(土) 19:00~21:00
- イ. 開催会場：創作料理彩々(サイサイ) 埼玉県川越市脇田町11-3 筋野ビル2F
- ウ. 参加人数：41人
- エ. 内 容：会員の親睦を深める

(2) 第5回 3地区役員会

- ア. 開催日時：平成28年3月1日(火) 19:00~
- イ. 開催会場：埼玉医科大学病院 会議室
- ウ. 参加人数：9人
- エ. 内 容：次年度事業計画、勉強会、地区総会について

(3) 第3回 第三支部勉強会を開催

- ア. 開催日時：平成28年3月18日(金) 19:00~20:00
- イ. 開催会場：ウェスタ川越 第1会議室
- ウ. 参加人数：40人
- エ. 内 容：技師講演
 - (ア)「当院のステレオガイド下乳房生検における EnCor バイオプシープローブの使用経験」
埼玉医科大学国際医療センター 宮崎 千晶
 - (イ)「東芝320列CT Aquilion ONE Vision Edition 使用経験」
埼玉医科大学国際医療センター 池野 裕介



宮崎氏



池野氏



勉強会風景

(4) 平成 27 年度 第三支部・地区定期総会

ア. 開催日時：平成 28 年 3 月 18 日（金） 20:00～20:40

イ. 開催会場：ウエスタ川越 第 1 会議室

ウ. 参加人数：17 人（委任状 163 通：議長一任 163 人過半数を超えており、本総会は成立）

エ. 内容：定期総会審議事項

審議-1：平成 27 年度事業報告_____審議の結果承認

審議-2：平成 27 年度決算報告_____審議の結果承認

審議-3：平成 28 年度事業計画案_____審議の結果承認

審議-4：平成 28 年度予算案について__審議の結果承認

審議-5：平成 28 年度役員改選_____審議の結果承認

(5) 平成 28 年度 第三支部役員紹介

- ・代表幹事：渡部 進一（埼玉医科大学病院）
- ・副代表幹事：吉岡 正樹（埼玉医科大学病院）
- ・会計幹事：守谷 文貴（埼玉医科大学病院）
- ・会計監査：今井 昇（旭ヶ丘病院）
- ・幹事：佐藤 正彦（埼玉医科大学総合医療センター）
- ・幹事：佐藤 正康（埼玉医科大学総合医療センター）
- ・幹事：小林 祐介（埼玉医科大学国際医療センター）
- ・幹事：中田 智仁（埼玉医科大学国際医療センター）

第四支部

ぶらり第四支部の旅 Vol. 2

第四支部 齋藤・萩原

花粉の苦しみから解放され、気候も暖くなりそろそろドライブ日和かな。さあ、今回の第四支部ご当地紹介は、「羽生市」を紹介させていただきます。とはいうものの「羽生市」の情報を何も持っていない私は、途方に暮れていたところ、第四支部会長より司令がでました。「羽生パーキングエリア 鬼平江戸処をレポートして!」と。「羽生市」情報収集のため実際に現地へ飛びました。

「鬼平江戸処」は2013年12月、東北自動車道の上り線、羽生パーキングエリアにオープンしました。

高速道路ということで一区間高速料金を払う覚悟を決めていましたが、高速の側道である、一般道からも入場が可能と知り、まずは一安心。

いざ入場すると、思わず「おお」と小さな声がありました。大勢の人の向こう側に江戸の町並みが広がっているのが見えます。細かいところの演出もなかなかのクオリティーです。店内もフードコートやお土産屋などが江戸っぽくなっており、鬼平ファンにはピンとくる箇所もあり楽しめるようになっています。

ふと「なぜ羽生で江戸? 鬼平?」という疑問が湧きますが、そこは深く考えず休憩がメインで。どうしても気になる方は、鬼平江戸処の公式HPで詳しい説明が載っていましたのでそちらをどうぞ。

もう一つ「世界キャラクターさみっと in 羽生」を紹介します。毎年11月に羽生水郷公園で開催され、全国47都道府県、海外からのゆるキャラやキャラクターが約400体も集まる全国的にも有名なイベントです。

ゆるキャラは老若男女に人気があり、2日間で45万人もの来場者だったとのこと。

一番人気のふなっしー、埼玉県ダントツのふっかちゃん、子供が泣きだすメロン熊などメジャーなゆるキャラからそうでないゆるキャラまで勢揃いすることはなかなかありません。私は参加したことがないので、一度は行ってみたいですが、45万人と聞くと尻込みします。もし、れんと君とれいちゃんが参加していればぜひ応援に行きます。

お伝えしきれなかったですが「羽生市」にはまだまだ良いところがいっぱいあります。私も知らないことが多いですがこれからも多くの発見をしていこうと思います。

さて、次は何処を紹介しようかなあ～

第四支部のぶらり旅は、つ・づ・く



鬼平江戸処 外観



鬼平江戸処 外観



鬼平江戸処 外観



鬼平江戸処 外観



鬼平江戸処 店内



ゆるキャラ 集合



鬼平江戸処 店内



ゆるキャラ 集合



ゆるキャラ
ムジナもん

埼玉県保健衛生知事表彰 祝賀会報告

第四支部 萩原

平成 28 年 2 月 6 日（土）、マロウドイン熊谷にて、熊谷総合病院 角田喜彦氏の埼玉県保健衛生知事表彰を祝う会が行われました。角田氏と関わりの深い約 100 人の方々が出席され、盛大な祝賀会となりました。

華やかな会場の中、多くの方々からのご祝辞、角田氏ご本人のあいさつ、花束贈呈、余興でのユニークなパフォーマンスなどが行われ、会場全体が笑顔に包まれました。

第四支部所属の角田氏の表彰は同支部会員の喜びでもあります。

このたびは誠におめでとうございました。



凛々しいです



熊谷総合病院の皆さま



万歳三唱

平成 28 年度 第 19 回秩父市保健センターまつり 開催案内

第四支部 齋藤

毎年恒例となっております秩父市保健センターまつりが本年も開催されます。
市民の方々に福祉と健康の意識を高めていただけるように企画をしております。近隣の方、技師会の活動に興味ある方は、ぜひお立ち寄りください。

1. 日 時 平成 28 年 6 月 5 日（日）午前 10 時～午後 2 時
2. 会 場 埼玉県秩父市永田町 4-17 秩父市保健センター
3. 主 催 秩父市健康推進員連絡会秩父支部・秩父市健康づくり推進協議会・秩父市
4. 公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会のイベント内容
放射線医療画像パネル展示・放射線医療の啓蒙活動
放射線検査の説明および医療被ばくの相談
骨密度測定・スーパーボール釣りなど

実行委員として参加していただける会員の方はお近くの第四支部役員までお声掛けください。
会員皆さまのご協力をお願い致します。



昨年度実行委員の皆さま

第五支部

第五支部

情報交換会

場所は春日部市民活動センター〔ふれあいキューブ〕

5月26日 19:00~

6月16日 19:00~

7月28日 19:00~

詳しくは、HP などでご案内致します。

(気軽にご来場していただいてご意見など伺いできれば幸いです)

皆さまとお話ができるような企画を考えております。

テーマなど皆さまのご意見をお待ちしています。

ご参加ご協力をお願い致します。



第五支部理事 矢崎



情報交換会以外でもご意見ご提案があれば気軽にご連絡ください

地区の活動にご協力いただける方からのご連絡お待ちしております。

できる範囲の活動でかまいませんので気軽にご協力をお願い致します。



第六支部

埼玉県診療放射線技師会 第六支部

1. 巻頭言 辻村 明日香
2. 平成 27 年度 総会および第 3 回定期講習会報告
3. 平成 28 年度 第 1 回定期講習会案内
4. 平成 28 年度 納涼会案内
5. 旧役員退任あいさつ
6. FAX 配信案内

巻頭言

振り返り

埼玉県立がんセンター 辻村 明日香

編集を担当している埼玉県立がんセンターの辻村です。

早いもので六支部にかかわらせていただきおよそ 6 年が経過しました。今回この巻頭言を書くにあたり、5 年前に一度書かせていただいた時はどんな事を書いていたのか振り返ってみました。当時、私は小児医療センターで働いており初めての新人が入ったことや飼い始めたばかりの愛犬たちのことが書かれていました。愛犬たちが架け橋となり近所の小学生が遊びに来たり、家族の会話が増えたように自分が架け橋となり、先輩と後輩の間をつなぎうまく仕事が回るようになることやさらに自分の知識を身に着けること、そして六支部の皆さまとかかわっていくことなどを目標にあげていました。

では、実際今は、、、愛犬たちも 7 歳になり、近所の小学生は中学生へと成長しました。私自身はその後がんセンターへ異動となり 4 年目に入りました。小学生が中学生になるくらい月日は流れましたが自分はその年月でどんな日々を送ったのだろうかと考えると非常に考えてしまいました。最初のうちは新しい事を覚えることで精いっぱい、しかし段々と慣れていき漠然と仕事をこなす事だけに陥っているような気がしてきました。うまく仕事は回っているかもしれませんが、成長したのかといわれると yes とは答える自信はありません。

今回の巻頭言を担当させていただいた事で過去を振り返り自分を見直すいい機会になりました。漠然と過ごし時間だけが過ぎて後悔をしてしまわないように、いつでも止まって振り返るチャンスはあると思います。いかに自分が成長できるかももう一度日々の仕事を振り返りまた、皆さまとともに有意義な時間を過ごしていきたいと思いました。

仕事でも第六支部でも日々成長できますように今年度もよろしくお願ひ致します。

平成 27 年度 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会第六支部・第六地区定期総会報告
丸山記念総合病院 高嶋 豊

去る 3 月 10 日に公益社団法人埼玉県診療放射線技師会第六支部・第六地区定期総会が行われ、総会は無事終了致しました。お忙しい中多くの出席者また、委任状ありがとうございました。

平成 28 年度は第六支部定期講習会、支部合同勉強会及び彩の国いきいきフェスティバルへの参加を行い第六支部の活性化を図っていききたいと思います、会員の皆さまのご協力をお願い致します。

平成 27 年度 埼玉県放射線技師会第六支部・第六地区
総 会 議 事 録

- | | |
|--|--|
| <p>1. 日時 平成 28 年 3 月 10 日 (木)
19 時 00 分～19 時 30 分</p> <p>2. 場所 埼玉県立がんセンター 4 F 講堂</p> <p>3. 会員数 267 人</p> <p>4. 出席者 34 人
委任状提出者 159 人
合計 193 人</p> <p>5. 開会</p> <p>6. 会長挨拶</p> <p>7. 議長選出・書記任命
さいたま北部医療センター森村周氏選出、
書記に埼玉県立小児医療センター佐藤克哉氏、丸山記念総合病院野口祐輔氏が選出された。</p> <p>8. 議事事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度事業報告 ・平成 27 年度決算報告 ・監査報告
事業監査報告
会計監査報告 ・平成 28 年度事業計画案 ・平成 28 年度予算案 ・その他 | <p>9. 議事の経過
総会出席者の審査の結果、本総会は成立する旨、報告された。
平成 27 年度事業報告を高嶋会長が報告。
平成 27 年度決算報告を松田会計が報告。
監査報告は濱守誠氏、尾形智幸氏により、事業が適正に行われた。また、収支共に会務・事業に対し健全に行われていると認める旨を報告した。議長は以上の議事について順次に賛否を諮り、全員異議なく承認された。
平成 28 年度事業報告案を高嶋会長が説明。平成 28 年度予算案を松田会計が説明。議長はこれらの案について順次に賛否を諮り、全員異議なく承認された。</p> <p>10. 閉会</p> <p>以上のとおり議事が進行されたことを報告致します。</p> <p style="text-align: right;">平成 28 年 3 月 18 日
指扇病院
仙波 亮</p> |
|--|--|

平成 27 年度 第 3 回定期講習会報告

大宮中央総合病院

秋谷 龍一郎

平成 28 年 3 月 10 日に埼玉県立がんセンターにおいて、埼玉県診療放射線技師会第六支部定期講習会が開催された。拙筆ながらその旨を報告させていただく。

特別講演として群馬大学大学院教授、対馬義人先生による「造影剤のリスクマネジメント」について御講義いただいた。

MRI 造影剤構造の Macrocylic (環状) と Linear (直線状) の違いによる、Gd キレートの外れ方の違いを化学式を用いて解説、造影剤軽度副作用歴のあった患者への対応・対策、先日ニュースにもなった水溶性有機ヨード造影剤の脊髄造影による死亡事故の話題、ESUR、ACR などのガイドラインに基づいた造影剤に対する幅広い内容の講演だった。

中でも印象的だったのが NSF (腎性全身性繊維症) の話題だ。MRI 造影剤である Gd 製剤は発売当初は腎毒性がほとんど無く、腎不全患者、透析患者にも比較的安全に使用することが可能とされてきた。造影 CT が腎不全患者、透析患者にとって CIN (造影剤腎症) の高リスクであったことから、以前では積極的に Gd 製剤を使用した検査が行われてきた。しかし今では全く逆の見解になっている。NSF は腎不全患者、特に透析患者に Gd 製剤を投与すると数日～数年にかけて発症し、筋肉や腱の石灰化が進みやがて四肢が拘縮していく。実際の NSF 患者の写真、CT・病理画像も交えた症例も提示していただき衝撃を受けた。

造影剤使用時に患者の一番近くにいるのは、検査をオーダーした医師ではなく私達技師である。正しい知識で危険因子を除外し、安心・安全な検査を常に行うことが求められている。

納涼会のお知らせ

第六地区納涼会を下記の通りに開催いたしますので、お知らせ致します。時節柄、忙しいと思いますが、奮ってご参加ください。

- | | |
|-------|------------------------------------|
| 1. 日時 | 平成 28 年 7 月 14 日 (木)
19 時 00 分～ |
| 2. 場所 | 未定 |
| 3. 会費 | 未定 |
| 4. 備考 | 出席のお問い合わせは下記の連絡先にお問い合わせください。 |

さいたま北部医療センター 竹内 信行

tell : 048-663-1671

mail : loveasahibeer2009@gmail.com

旧役員 退任あいさつ

・丸山記念総合病院 松田繁尚

総務として3年、会計として2年務めさせていただきました。会長を始め、他の役員の方には大変お世話になりました。任期中は、定期講習会や合同勉強会などで会員の皆さまや、他支部の方々と接することができ、貴重な経験をさせていただきました。今後は一会員として第六支部を盛り上げていきたいと考えています。5年間ありがとうございました。

・大宮中央総合病院 川久保彰人

役員を2年間務めさせていただきました大宮中央総合病院の川久保です。初めてのことでわからない中、他の役員の方々に助けていただきながら2年間取り組んできました。この経験を今後も活かしていき、第六支部に関わっていきたいと思います。ありがとうございました。

・埼玉県立小児医療センター 金原幸二

二年間という短い期間でしたが第六支部の役員をやらせていただき、とても貴重な経験をさせてもらいました。今後の生活に活かしていけたらと思います。本当にありがとうございました。

※第六支部事業案内配信のご案内※

第六支部では、勉強会や納涼会などの事業案内をFAX又はメールにて配信しております。配信を希望される第六支部会員の方がおられましたら、第六支部ホームページよりお申し込みをお願い致します。

第六支部ホームページ

<http://dairokushibu.jimdo.com/>

平成 27 年度 第 4 回常務理事会議事録（抄）

日 時：平成 27 年 12 月 2 日（木）
18：45～21：00

場 所：公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
事務所

出席者：会 長：田中 宏
副 会 長：堀江 好一
常 務 理 事：八木沢 英樹、
平野 雅弥、潮田 陽一、
佐々木 健、今出 克利、
結城 朋子、
欠 席：富田 博信

第 1. 議事録作成人 議事録署名人の選出

議 長 田中 宏
議事録署名人 田中 宏、堀江 好一
議事録作成人 結城 朋子
と定めた。

議事録作成人、議事録署名人の選出につき、田中会長を議長に選出し、平成 27 年度第 4 回常務理事会を開催した。

第 2. 報告及び確認事項

1. 会長（田中）

- (1) 全国会長会議について報告した。
(ア) 日時：平成 27 年 11 月 22 日（日）
(イ) 場所：京都
- (2) 北関東会長会議について報告した。
(ア) 日時：平成 27 年 11 月 28 日（土）
(イ) 場所：大宮ソニックシティ
- (3) 財務会議について報告した。
(ア) 日時：平成 27 年 11 月 16 日（月）
(イ) 場所：技師会事務所
- (4) 事務所修繕について渡辺事務局長と打ち合わせを行い、修繕時期を 12 月初旬とした。
(ア) 日時：平成 27 年 11 月 27 日（金）
(イ) 場所：技師会事務所
- (5) 埼玉乳がん臨床研究グループ（SBCCSG）による研究会開催（平成 28 年 5 月 15 日）につ

いての後援を受けた。

2. 副会長（堀江）

- (1) 東京三菱 UFJ ファクターの後藤氏と面談し、手数料返金に関して交渉した。また次年度より会費コンビニ支払期限を月末にせず、1 日早めることとした。
(ア) 日時：平成 27 年 11 月 6 日（金）
- (2) 財務会議に出席した。
(ア) 日時：平成 27 年 11 月 16 日（月）
(イ) 場所：技師会事務所
- (3) 埼玉県医療整備課に「本会の財務状況の改善計画について」を送信した。
- (4) 北関東会長会議に出席した。
(ア) 日時：平成 27 年 11 月 28 日（土）
(イ) 場所：大宮ソニックシティ
- (5) 事務所パソコンの発注を行った。

3. 総務（平野）

- (1) 第二、三、四、六支部合同勉強会 in 熊谷に参加した。
(ア) 日時：平成 27 年 11 月 14 日（土）
(イ) 場所：ホテルヘリテイジ四季の湯温泉
- (2) 新春の集い担当者との打ち合わせを行った。
(ア) 日時：平成 27 年 11 月 18 日（水）
(イ) 場所：埼玉医科大学病院
- (3) 第二支部第 6 回勉強会に参加した。
(ア) 日時：平成 27 年 11 月 26 日（木）
(イ) 場所：国立障害者リハビリテーションセンター

4. 総務（結城）

- (1) 日本診療放射線技師会へ「永年勤続表彰候補者（30 年）」6 人の申請を行った。（今回は 50 年の対象者なし）
- (2) 賛助会員、埼玉県医師会長等へ新春の集いのお知らせを送付した。

5. 編集情報（八木沢）

- (1) 平成 28 年度関東甲信越診療放射線技師学術

大会について以下の作業を行った。

- (ア) 事前参加登録返信メールの内容を変更
- (イ) HP 上の学会大会タブの色を変更
- (ウ) HP 写真デザイン変更
- (エ) ポスターロゴの使用申請を提出
- (オ) HP 上の登録オープン時期を設定した。
- (2) 埼玉県診療放射線技師会ホームページの学術データベース入力を行った。
- (3) 会誌広告・バナー募集を再度依頼した。
- (4) 会誌見積もりを望月印刷に依頼した。
- (5) 特定非営利活動法人医学中央雑誌刊行会より会誌郵送の依頼があった。
- (6) Web サイトへの掲載および更新について下記の作業を行った。(会員用)
 - (ア) 第 40 回埼玉 CT Technology Seminar@川越のご案内
 - (イ) 第 320 回定例会循環器画像技術研究会のお知らせ
 - (ウ) 第 28 回埼玉臨床画像研究会のお知らせ
 - (エ) 業務拡大に伴う統一講習会におけるプログラム変更のお知らせ
 - (オ) 第 35 回ソニック CT カンファレンスのお知らせ
 - (カ) 第三支部新年会のお知らせ
 - (キ) 会誌バックナンバー 238 号掲載
- (7) Web サイトへの掲載および更新について下記の作業を行った(一般用)
 - (ア) 会誌バックナンバー 238 号掲載
- (8) メールマガジンについて。
 - (イ) メルマガ登録 1 件
 - (ウ) メルマガ No.71 号配信

6. 公益 (佐々木)

- (1) 放射線特別授業を行った。
 - (ア) 日時：平成 27 年 11 月 6 日(金)、平成 27 年 11 月 27 日(金)
 - (イ) 場所：上尾高校、寄居城北高校
 - (ウ) 講師：佐々木健(上尾)、成田麻美(寄居)
準講師：矢島慧介(上尾)、芦葉弘志(寄居)
見学：大河原侑司(上尾)

- (2) 日本診療放射線技師会レントゲン週間について埼玉県より実行委員 2 人を選出した。
- (3) 第二、三、四、六支部合同勉強会にて講演を行った。
 - (ア) 日時：平成 27 年 11 月 14 日(土)
 - (イ) 場所：ホテルヘリテージ
 - (ウ) 内容：「みんなで創ろうやりがいのある仕事」
- (4) 日本診療放射線技師学会大会にて発表した。
 - (ア) 日時：平成 27 年 11 月 21～23 日
 - (イ) 場所：京都
 - (ウ) 内容：放射線特別授業

7. 財務 (潮田)

- (1) 顧問税理士の巡回監査を受け、以下の項目について確認、指摘された。
 - (ア) 日時：平成 27 年 9 月 27 日(金)
 - (イ) 確認・指摘事項
寄付金の使用方法について
10 月末時点での収支相償について
社会保障、マイナンバー制度について

第 3. 審議・承認事項

1. 新井俊吉氏の名誉会員への推薦について審議し承認した。(議案書番号：常理-37)(承認)
2. 技師会事務所の修繕について審議し承認した。(議案書番号：常理-38)(承認)

次回、平成 27 年度第 5 回常務理事会予定 平成 28 年 2 月 4 日(木)

配布資料(メール配信を含む)

- (1) 会長資料
- (2) 総務資料
- (3) 財務資料
- (4) 編集情報資料
- (5) 公益資料
- (6) 議事録

平成 27 年度 第 5 回常務理事会議事録（抄）

日 時：平成 28 年 2 月 4 日（木）18：45～21：00
 場 所：公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会事務所
 出 席 者：会 長：田中 宏
 副 会 長：堀江 好一、富田 博信
 常 務 理 事：八木沢 英樹、平野 雅弥、
 潮田 陽一、佐々木 健、
 今出 克利、結城 朋子

第 1. 議事録作成人 議事録署名人の選出

議 長 田中 宏
 議事録署名人 田中 宏、堀江 好一
 議事録作成人 結城 朋子
 と定めた。

議事録作成人、議事録署名人の選出につづき、田中会長を議長に選出し、平成 27 年度第 5 回常務理事会を開催した。

第 2. 報告及び確認事項

1. 会長（田中）

- (1) 埼玉県看護協会新年会に出席した。
 (ア) 日時：平成 28 年 1 月 9 日（土）
- (2) 衆議院会館三ツ林事務所を訪問した。
 (ア) 日時：平成 28 年 2 月 1 日（月）
- (3) 厚生労働大臣表彰を当会堀江副会長が受賞した。

2. 副会長（堀江）

- (1) 東京三菱 UFJ ファクターの後藤氏と面談し、手数料返金に関して交渉した。また次年度より会費コンビニ支払期限を月末にせず、1 日早めることとした。
 (ア) 日時：平成 27 年 11 月 6 日（金）
- (2) 財務会議に出席した。
 (ア) 日時：平成 27 年 11 月 16 日（月）
 (イ) 場所：技師会事務所
- (3) 埼玉県医療整備課に「本会の財務状況の改善計画について」を送信した。
- (4) 北関東会長会議に出席した。
 (ア) 日時：平成 27 年 11 月 28 日（土）
 (イ) 場所：大宮ソニックシティ
- (5) 事務所パソコンの発注を行った。

3. 総務（結城）

- (1) 永年勤続表彰（20 年、40 年）対象者へ申請書類を発送した。
- (2) 平成 28 年新春の集いを開催した。
 (ア) 日 時：平成 28 年 1 月 8 日（金）
 (イ) 場 所：大宮サンパレス GLANZ
 (ウ) 参加人数：会員 41 人、賛助会員 35 人、新入会員 15 人

4. 編集情報（八木沢）

- (1) 平成 28 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会について以下の作業を行った。
 (ア) 大会ポスター（A2）印刷をキタジマ(株)へ依頼
 (イ) HP 写真に関東甲信越マークを追加
- (2) 埼玉県放射線誌 243 号について以下の作業を行った。
 (ア) 会誌 243 号を発行（平成 28 年 1 月 21 日）
 (イ) 企業執筆者へお礼状と会誌を郵送

- (ウ) 求人広告依頼もとへお礼状と会誌を郵送
- (3) Web サイトへの掲載および更新について下記の作業を行った。（会員用）
 (ア) 循環器画像技術研究会主催 第 3 回冠動脈模型作成セミナーお知らせ掲載
 (イ) 行田健康フォーラム参加報告掲載
 (ウ) 平成 27 年度埼玉診療放射線技師会認定試験開催のお知らせ掲載
 (エ) 会誌バックナンバー 239 号掲載
 (オ) 第五支部情報交換会お知らせ掲載
 (カ) 第四支部勉強会お知らせ掲載
 (キ) 第三支部サイト新規作成のお知らせ掲載とリンク設置
 (ク) 平成 28 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会後援に埼玉県を追加掲載しポスターを差し替え
- (4) Web サイトへの掲載および更新について下記の作業を行った。（一般用）
 (ア) 会誌バックナンバー 238 号掲載
 (5) メールマガジンについて。
 (ア) メルマガ No.72 号配信

5. 学術（今出）

- (1) 上部消化管認定講習会を開催した。
 (ア) 日 時：平成 28 年 1 月 17 日（日）
 (イ) 場 所：さいたま赤十字病院
 (ウ) 参加者：19 人
- (2) CT 認定講習会を開催した。
 (ア) 日 時：平成 28 年 1 月 24 日（日）
 (イ) 場 所：済生会川口総合病院
 (ウ) 参加者：26 人
- (3) アフターコンベンション開催助成金について報告した。

6. 公益（佐々木）

- (1) 放射線特別授業運営委員会を開催した。
 (ア) 日時：平成 28 年 1 月 28 日（木）19：00～20：30
 (イ) 場所：技師会事務所
 出席：3 人
 欠席：5 人
- (2) 関東甲信越診療放射線技師学術大会へのさいたま市の後援をいただいた。

第 3. 審議・承認事項

1. 会費規程変更について審議し、承認した。（議案書番号：常理-42）（承認）

次回、平成 28 年度第 1 回常務理事会予定 平成 28 年 4 月 7 日（木）

配布資料（メール配信を含む）

- (1) 会長資料
- (2) 副会長資料
- (3) 総務資料
- (4) 編集情報資料
- (5) 学術資料
- (6) 公益資料
- (7) 議事録

平成 27 年度 第 6 回理事会議事録 (抄)

日 時：平成 27 年 11 月 5 日 (木) 18:45 ~ 21:00
 場 所：公益社団法人埼玉県診療放射線技師会事務所
 出席者：会 長：田中 宏
 副 会 長：堀江 好一、富田 博信
 常 務 理 事：平野 雅弥、結城 朋子、
 潮田 陽一、今出 克利、
 八木沢 英樹、佐々木 健
 理 事：栗田 幸喜、城處 洋輔、
 岡田 智子、清水 邦昭、
 芦葉 弘志、双木 邦博、
 大西 圭一、渡部 進一、
 齋藤 幸夫、矢崎 一郎、
 高嶋 豊
 監 事：橋本 里見
 欠 席：鈴木 正人

第 1. 議事録作成、議事録署名人の選出

議 長 田中 宏
 議事録署名人 田中 宏、堀江 好一
 議事録作成人 結城 朋子
 と定めた。

第 2. 報告及び確認事項

1. 会長 (田中)
 - (1) 技師会事務所リフォーム完成、代金支払い済み。今後の修繕計画 (修繕積立金) について報告した。
 - (2) 新井俊吉氏、平成 28 年秋の叙勲にて瑞宝双光章に決定した。
 - (3) 角田喜彦氏、埼玉県知事表彰に決定した。
 - (4) 平成 27 年 10 月 23 日、公衆安全大会知事表彰へ出席した。
 - (5) 平成 27 年 10 月 29 日、埼玉県教育委員会へ県立高校放射線特別授業のアピール目的で訪庁した。
 - (6) 平成 27 年 12 月 12 日開催予定の埼玉県看護協会主催医療安全大会への名義後援を受けた。
 - (7) 日本臨床脳神経外科学会名義後援を受けた。
2. 副会長 (堀江)
 - (1) 平成 27 年 10 月 28 日、埼玉県庁医療整備課より本会の平成 26 年度決算等の報告に関して、遊休財産に関する指摘があり、これについて事務所修繕及び平成 28 年度開催予定の学術大会への準備資金として支出することで解消する予定であることを伝えた。
3. 副会長 (富田)
 - (1) 平成 27 年 10 月 21 日、平成 28 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会実行委員会に出席した。
4. 総務 (結城)
 - (1) 日本診療放射線技師会「永年勤続表彰候補者 (30 年)」対象者 16 人に履歴書等を送付した。

5. 編集・情報 (八木沢)
 - (1) 会誌、ホームページ関連について
 - ア. 平成 27 年 10 月 14 日会誌 242 号を発送した。
 - イ. 平成 28 年会誌広告募集依頼を 21 社に依頼した。
 - ウ. 各種セミナーの申し込みフォームをホームページ上に作成した。
 - エ. ホームページ上での入会案内にメールアドレス記載欄を追加、修正を行った。
 - (3) 平成 28 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会関連について
 - ア. 専用ホームページを 9 月 30 日にオープンした。
 - イ. 機器展示募集趣意書を作成し、26 社へ郵送した。
6. 編集・情報 (清水)
 - (1) Web サイトへの掲載および更新について
 - ア. 第 36 回埼玉 CT Technology Seminar 開催案内
 - イ. 埼玉県診療放射線技師会 第六支部平成 27 年度 第 2 回定期講習会お知らせ
 - ウ. 埼玉県診療放射線技師会 第六支部「彩の国いきいきフェスティバル」参加案内
 - エ. 第六支部忘年会お知らせ
 - オ. 平成 27 年度 第三支部ボウリング大会のお知らせ
 - カ. 第 29 回川越市健康まつり
 - キ. 第 4 回 Freed セミナー開催案内
 - ク. DR 計測セミナー開催案内
 - ケ. 平成 27 年度 第 15 回上部消化管検査認定講習会開催案内
 - コ. 平成 27 年度 第 14 回胸部認定講習会開催案内
 - サ. 平成 27 年度 MRI 基礎講習会開催案内
 - シ. 平成 28 年 新春の集い 開催案内
 - ス. 業務拡大に伴う統一講習会 (埼玉県開催) 開催案内
 - セ. 乳腺画像セミナー開催案内
 - ソ. 会誌バックナンバー 237 号掲載
 - タ. 平成 28 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会トップページ
 - チ. 循環器画像技術研究会 第 319 回定例会開催案内
 - ツ. トップページタブ位置の変更
 - テ. 第五支部地区親睦ゴルフコンペ案内状掲載
 - ト. サーベイ実習者募集について
 - ナ. 第四支部忘年会開催案内
 - ニ. サーベイ検査実習募集何愛
 - ヌ. 第 38 回埼玉 CT Technology Seminar 開催案内
 - ネ. 第 39 回埼玉 CT Technology Seminar 開催案内
 - ノ. 第 35 回ソニック CT カンファレンス開催案内
 - (2) Web サイトへの掲載および更新について (一般用)
 - ア. 会誌バックナンバー 237 号掲載
 - (3) メールマガジン関連
 - ア. 新規登録 1 件
 - イ. メールマガ No.70 71 配信

6. 学術 (今出)

- (1) 平成 27 年 9 月 14 日 ソニックシティ担当者と次年度学術大会についての打ち合わせを行った。
- (2) 平成 27 年 9 月 17 日第 3 回関東甲信越診療放射線技師学術大会実行委員会を開催した。
- (3) 平成 27 年 10 月 11、12 日統一講習会に参加した。
- (4) 平成 27 年 10 月 21 日第 4 回関東甲信越診療放射線技師学術大会実行委員会を開催した。

7. 公益 (佐々木)

- (1) 平成 27 年 10 月 11、12 日統一講習会講師として参加した。
- (2) 平成 27 年 10 月 29 日埼玉県庁教育委員会へ会長とともに訪庁した。

8. 公益 (芦葉)

- (1) 放射線特別授業講師依頼状および準講師依頼状を送付した。

9. 財務 (潮田)

- (1) 平成 27 年 9 月 21 日、10 月 29 日顧問税理士との月次会計調査を行った。

10. 第一支部 (双木)

- (1) 浦和区健康まつり参加報告について
 - ア. 日 時:平成 27 年 11 月 1 日 (水) 10:00 より
 - イ. 場 所:コムナール浦和
 - ウ. 出席者:14 人
 - エ. 参加内容:骨密度測定と放射線医療画像展示 (骨密度測定者 560 人)

11. 第二支部 (大西)

- (1) 循環器 CT セミナー 2015 開催報告
 - ア. 日 時:平成 27 年 9 月 21 日 (土)
 - イ. 場 所:OLS ビル 2F 講堂
 - ウ. 参加人数:193 人
 - エ. 内容
 - (ア) セッション I 心臓 CT 最新技術報告
 - a. 座長:上尾中央病院 館林正樹
 - b. フィリップスエレクトロニクスジャパン 守谷芽実
 - c. シーメンス・ジャパン 松浦孝俊
 - d. 東芝メディカルシステムズ 新井信夫
 - e. GE ヘルスケア・ジャパン 大川博和
 - (イ) セッション II
 - a. 座長:八重洲クリニック 吉田諭史
 - b. 基礎からわかる時間分解能 済生会川口総合病院 豊田奈規
 - c. 明日から使えるハーフ再構成とフル再構成 高瀬クリニック 高柳知也
 - d. AR 手術に必要な CT 画像構築の基本のキホン 東京ベイ浦安市川医療センター 小島基揮
 - (ウ) セッション III 冠動脈動態解析アルゴリズムの効果と臨床的意義について

a. 座長:益子病院 蒲田淳一

b. 講師:江戸川病院 佐藤英幸

(エ) セッション IV 低電圧冠動脈 CT に造影技術を活用するためのヒント

a. 座長:三井記念病院 皆川利浩

b. 講師:埼玉医科大学総合医療センター 中根淳

(オ) 技術講演 医工連携で開発した画像フィルターと臨床評価

a. 座長:石心会川崎幸病院 石田和史

b. 講師:日本海総合病院 渋谷幸喜

(カ) 特別講演 CT と MRI での心筋 Perfusion (両者の比較を含めて)

a. 座長:東京女子医科大学医療センター 飯村 浩
埼玉医科大学国際医療センター 妹尾大樹

b. 講師:北海道大学 真鍋徳子

(2) 第 4 回勉強会

ア. 日 時:平成 27 年 9 月 24 日 (木)

イ. 場 所:国立障害者リハビリテーションセンター

ウ. 参加者:43 人

エ. 内容

(ア) 製品紹介

「Non Helical Volume Scan が開く、4 次元の世界」
東芝メディカルシステムズ 新井 信夫

(イ) 講演テーマ「整形領域の撮影技術向上を目指して」

a. 一般撮影

「教科書に載っていない実践撮影のコツと X 線所見のとり方～踵骨編～」

(a) 座長 防衛医科大学校病院 野瀬 英雄

(b) 講師 上尾中央総合病院 内田 瑛基

b. CT

「整形外科領域の X 線 CT の標準化 ～正確な MPR 切り出し～について」

(a) 座長 越谷市立病院 関根 貢

(b) 講師 彩の国東大宮メディカルセンター

田上 陽菜

c. MRI

「上肢 MRI の基礎」

(a) 座長 トワーム小江戸病院 菅野 勝

(b) 演者 草加市立病院 佐藤 広崇

(3) 第 5 回勉強会

ア. 日 時:平成 26 年 10 月 22 日 (木)

イ. 場 所:国立障害者リハビリテーションセンター

ウ. 参加者:43 人

エ. 内 容

(ア) 製品紹介

「シーメンス MRI の最新技術情報」

シーメンス・ジャパン株式会社 MR ビジネスマネージメント部

諸井 貴

(イ) 一般研究発表

a. 座長 所沢ハートセンター

原田病院 柴 俊幸

豊岡第一病院 瀧澤 誠

山下 隆行

- b. FPDにおける幾何学的不鋭が画像に及ぼす影響
済生会川口総合病院 森 一也
- c. 当院におけるマンモグラフィ CAD の検討
丸山記念総合病院 木村 浩明
- d. 腹部 MRI 撮像における新しいアプローチ
シーメンス・ジャパン株式会社 MR ビジネスマネージメント部
- (ウ) 講演テーマ「CT - AEC の基礎と応用技術
～ハイスpekCT ユーザーから見た今までとこれから～」
 - a. 座長 済生会川口総合病院 志藤 正和
所沢ハートセンター 柴 俊幸
 - b. 講師 さいたま赤十字病院 渡部 伸樹
済生会川口総合病院 豊田 奈規
埼玉石心会病院 伊藤 寿哉
済生会栗橋病院 内海 将人
- ウ. 内 容：深谷市福祉健康まつり、支部合同勉強会、忘年会
- エ. 参加者：7人
- (2) 平成 27 年度 第 10 回 医療画像展「深谷市福祉健康まつり」
 - ア. 日 時：平成 27 年 10 月 25 日（日）10：00～15：00
 - イ. 場 所：深谷市総合体育館及びその周辺
 - ウ. 内 容：パネル展示、骨密度測定、スーパーボールつり等
 - エ. 来場者：a. 骨密度測定、パネル展示、モニター展示：402人
b. スーパーボール釣り：100人
- 14. 第五支部（矢崎）
 - (1) 地区情報交換会
 - ア. 日時：平成 27 年 10 月 1 日（木）19：00～
 - イ. 場所：春日部市市民活動センター 4F 会議室 1
 - ウ. 内容
当院の救急科における急性腹症
草加市立病院 放射線科 丹野 亮
急性腹症の MRI
草加市立病院 放射線科 佐藤 広崇
Parallel Imaging の基礎
草加市立病院 放射線科 加藤 広一
 - (2) 越谷市民祭り
 - ア. 日 時：平成 27 年 10 月 25 日（日）
 - イ. 場 所：越谷
 - ウ. 参加人数：24人
- 16. 第六支部（高嶋）
 - (1) 第六支部第二回定期講習会開催
 - ア. 日 時：平成 27 年 10 月 22 日（木）19：00～
 - イ. 場 所：丸山記念総合病院
 - ウ. 内 容：技師教育について～各施設の教育方法～
 - エ. 参加人数 45人
- 12. 第三支部（渡部）
 - (1) リレー・フォー・ライフ in 川越
 - ア. 開催日時：平成 27 年 9 月 19 日（土）～20 日（日）
 - イ. 開催会場：川越市水上公園
 - ウ. 参加人数：46人
 - エ. 内 容：リレー・フォー・ライフにボランティア協力
 - (2) 第三地区ボウリング大会
 - ア. 開催日時：平成 27 年 10 月 2 日（金）19：00～21：00
 - イ. 開催会場：川越ボウリングセンター
 - ウ. 参加人数：34人
 - エ. 内 容：会員の親睦を深める
 - (3) 第 3 回 3 地区役員会
 - ア. 開催日時：平成 27 年 10 月 2 日（金）21：00～21：30
 - イ. 開催会場：川越ボウリングセンター内 会議室
 - ウ. 参加人数：6人
 - エ. 内 容：ボウリング大会反省会、支部合同勉強会、健康まつりについて
 - (4) 第 29 回 川越市健康まつり 第 4・5 回実行委員会
 - ア. 開催日時：平成 27 年 9 月 30 日（水）、10 月 19 日（月）13：30～15：00
 - イ. 開催会場：川越市総合保健センター 会議室
 - ウ. 内 容：催し物企画、前日準備などの説明
 - (5) 第 2・3・4・6 支部合同勉強会実行委員会
 - ア. 開催日時：平成 27 年 10 月 23 日（金）
 - イ. 開催会場：川越市総合保健センター 会議室
 - ウ. 内 容：予演会、準備など
 - (6) 第 29 回 川越市健康まつり
 - ア. 開催日時：平成 27 年 11 月 1 日（日）10：00～15：00
 - イ. 開催会場：ウェスタ川越
 - ウ. 参加人数：10人（支部会員含む）
 - エ. 内 容：医療画像展の開催
- 13. 第四支部（齋藤）
 - (1) 第 4 支部 役員会議
 - ア. 日 時：平成 27 年 9 月 4 日（金）19：00～19：30
 - イ. 場 所：深谷赤十字病院
- 3. 審議・承認事項
 - 1. 平成 27 年度役員研修会の平成 28 年 2 月開催について審議し承認した。（議案書番号：理-35）（承認）
 - 2. 新入会員について審議し承認した（議案書番号：理-36）（承認）
- 配布資料（メール配信を含む）
 - (1) 会長資料
 - (2) 副会長資料
 - (3) 編集・情報委員会資料
 - (4) 学術委員会資料
 - (5) ホームページ資料
 - (6) 公益委員会資料
 - (7) 各支部資料（第一支部、第二支部、第三支部、第四支部、第五支部、第六支部）
 - (8) 議案書

平成 27 年度 第 7 回理事会議事録 (抄)

日 時：平成 28 年 1 月 4 日 (木) 18:45 ~ 21:00
 場 所：公益社団法人埼玉県診療放射線技師会事務所
 出席者：会 長：田中 宏
 副 会 長：堀江 好一、富田 博信
 常 務 理 事：平野 雅弥、結城 朋子、
 潮田 陽一、今出 克利、
 八木沢 英樹、佐々木 健
 理 事：岡田 智子、清水 邦昭、
 双木 邦博、大西 圭一、
 渡部 進一、齋藤 幸夫、
 高嶋 豊
 監 事：橋本 里見
 欠 席：鈴木 正人、栗田 幸喜、
 城處 洋輔、芦葉 弘志、
 矢崎 一郎、高嶋 豊

第 1. 議事録作成、議事録署名人の選出

議 長 田中 宏
 議事録署名人 田中 宏、堀江 好一
 議事録作成人 結城 朋子
 と定めた。

第 2. 報告及び確認事項

1. 会長 (田中)
 - (1) 全国会長会議について報告した。
 ア. 日時：平成 27 年 11 月 22 日 (日)
 イ. 場所：京都
 - (2) 北関東会長会議について報告した。
 ア. 日時：平成 27 年 11 月 28 日 (土)
 イ. 場所：大宮ソニックシティ
 - (3) 財務会議について報告した。
 ア. 日時：平成 27 年 11 月 16 日 (月)
 イ. 場所：技師会事務所
 - (4) 事務所修繕について渡辺事務局長と打ち合わせを行い、
 修繕時期を 12 月初旬とした。
 ア. 日時：平成 27 年 11 月 27 日 (金)
 イ. 場所：技師会事務所
 - (5) 畦元しょうごを囲む会へ出席した。
 ア. 日時：平成 27 年 12 月 7 日 (月)
 イ. 場所：東京プリンスホテル
 - (6) 埼玉県看護協会主催医療安全大会へ出席した。
 ア. 日時：平成 27 年 12 月 12 日 (土)
 イ. 場所：大宮ソニックシティ
 - (7) 両副会長へ医師会主催新春の集いへの出席を依頼した。
 - (8) 熊谷女子高等学校からの放射線特別授業の申し込みを受けた。
 - (9) 専門医療通訳養成コースに関する講師派遣について報告した。

2. 副会長 (堀江)
 - (1) 東京三菱 UFJ ファクターの後藤氏と面談し、手数料返金に関して交渉した。また次年度より会費コンビニ支払期限を月末にせず、1 日早めることとした。
 ア. 日時：平成 27 年 11 月 6 日 (金)
 - (2) 財務会議に出席した。
 ア. 日時：平成 27 年 11 月 16 日 (月)
 イ. 場所：技師会事務所
 - (3) 埼玉県医療整備課に「本会の財務状況の改善計画について」を送信した。
 - (4) 北関東会長会議に出席した。
 ア. 日時：平成 27 年 11 月 28 日 (土)
 イ. 場所：大宮ソニックシティ
 - (5) 技師会事務所パソコンを発注し、設定した。
 ア. 日時：平成 27 年 12 月 8 日 (火)
 イ. 場所：技師会事務所

3. 総務 (結城)

- (1) 日本診療放射線技師会「永年勤続表彰候補者 (30 年)」対象者を日本診療放射線技師会へ申請した。

4. 情報・編集 (八木沢)

- (1) 平成 28 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会について以下の作業を行った。
 ア. 学術大会事前参加登録返信メールを変更した。
 イ. 学術大会タブの色を変更した。
 ウ. 日本診療放射線技師会へ大会ポスターへのロゴ使用を申請した。
 エ. ホームページからの各登録期間の設定を行った。
 オ. 各種大会ポスターの印刷を依頼し、ホームページに掲載した。
- (2) 会誌およびホームページについて以下の作業を行った。
 ア. 学術データベースを更新した。
 イ. 広告バナー募集を依頼した。
 ウ. 2 年間分の会誌見積もりを望月印刷に依頼した。
 エ. 特定非営利活動法人 医学中央雑誌刊行会へ会誌 1 年分を寄贈した。
 オ. 各種大会ポスター作成

5. 編集・情報 (清水)

- (1) Web サイト 掲載および更新を行った。(会員用)
 ア. 第 40 回埼玉 CT Technology Seminar@川越開催案内
 イ. 第 320 回定例会 循環器画像技術研究会
 ウ. 第 28 回埼玉臨床画像研究会
 エ. 第五支部情報交換会のお知らせ
 オ. 業務拡大に伴う統一講習会におけるプログラム変更
 カ. 第 35 回ソニック CT カンファレンス
 キ. 第三支部新年会のお知らせ
 ク. 会誌 238 号バックナンバー掲載

- ケ. 第47回埼玉消化管研究会開催
 コ. 第7回 ADCT 研究会
 サ. 第4回 Freed セミナーのご案内(更新)
 シ. 第2回第一支部勉強会お知らせ
 ス. 第四支部ページに合同勉強会お知らせ
 セ. 第34回 SAITAMA MRI Conference のご案内
 ソ. Smic (Saitama medical information conference)
 タ. 平成27年度第2回救急撮影ケーススタディーお知らせ
- (2) Web サイト 掲載および更新を行った。(一般用)
 ア. 会誌238号バックナンバー掲載
 (3) メールマガジンについて以下の作業を行った。
 ア. 会誌238号バックナンバー掲載
 イ. No.71 配信
6. 学術(今出)
 (1) 関東甲信越診療放射線技師学術大会実行委員会を開催した。
 ア. 第5回
 (ア) 日時:平成27年10月21日(水)
 (イ) 場所:技師会事務所
 イ. 第6回
 (ア) 日時:平成27年12月8日(火)
 (イ) 場所:技師会事務所
 (2) 平成27年度MRI基礎講習会を開催した。
 ア. 日 時:平成27年11月8日(日)
 イ. 場 所:さいたま赤十字病院
 ウ. 参加人数:17人
 (3) 業務拡大に伴う統一講習会を開催した。
 ア. 日 時:平成27年10月11日(日)12日(月)
 イ. 場 所:さいたま赤十字病院
 ウ. 参加人数:36人
 (4) 診療放射線技師基礎技術講習「一般撮影」を開催した。
 ア. 日 時:平成27年12月6日(日)
 イ. 場 所:上尾中央総合病院
 ウ. 参加人数:26人
7. 学術(岡田)
 (1) 平成27年度胸部認定講習会を開催した。
 ア. 日 時:平成27年12月6日(日)
 イ. 場 所:上尾中央総合病院
 ウ. 参加人数:28人
8. 公益(佐々木)
 (1) 放射線特別事業を行った。
 ア. 上尾高校
 (ア) 日時:平成27年11月6日(金)
 (イ) 講師:佐々木健、矢島慧介、大河原侑司(見学)
 ア. 寄居城北高校
 (ア) 日時:平成27年11月27日(金)
 (イ) 講師:成田麻美、芦葉弘志
 (2) 第2回公益委員会を開催した。
- ア. 日時:平成27年12月17日(木)
 イ. 場所:埼玉県診療放射線技師会センター 2階
 (3) JART レントゲン週間の実行委員2名を選出、派遣した。
 (4) 第2, 3, 4, 6支部合同勉強会で講演した。
 ア. 日時:平成27年11月14日(土)
 イ. 場所:ホテルヘリテイジ
 (5) 第31回全国診療放射線技師学術大会にて放射線特別授業に関して発表した。
 ア. 日時:平成27年11月21日~23日
 イ. 場所:国立京都国際会館
 (6) 平成28年度関東甲信越学術大会での市民公開講座に関する進捗状況を報告した。
9. 財務(潮田)
 (1) 顧問税理士と月次会計調査を行った
 ア. 日時:平成27年12月24日(木)
10. 第二支部(大西)
 (1) 第2, 3, 4, 6支部合同勉強会で講演した
 ア. 日 時:平成27年11月14日(土)
 イ. 場 所:森林公園 四季の湯温泉 ホテル・ヘリテイジ
 ウ. 参加者:101人
 エ. 内 容
 (ア) 「読影力を磨いてスキルアップ!」
 a. コメンテーター 上尾中央総合病院 館林正樹
 b. 座長 所沢ハートセンター 柴 俊夫
 埼玉医科大学病院 戸谷 雅人
 熊谷総合病院 吉田 敦
 指扇病院 石川 直哉
 c. 四肢領域(第三支部) 埼玉医科大学病院
 高橋 忍
 d. 頭頸部領域(第六支部) 上尾中央総合病院
 金野 元樹
 e. 胸部領域(第四支部) 小川赤十字病院
 高井 太市
 f. 腹部領域(第二支部) イムス三芳総合病院
 小田島明子
 (イ) 「みんなで創ろう!『やりがいのある仕事』~チーム医療と診療放射線技師の役割~」
 a. 座長 埼玉医科大学総合医療センター
 市川 賢一
 b. 講師 上尾中央総合病院 佐々木 健
- (2) 第6回勉強会開催
 ア. 日 時:平成27年11月26日(木)
 イ. 場 所:国立障害者リハビリテーションセンター
 ウ. 参加者:49人
 エ. 内 容
 (ア) 製紹介 「シーメンスMRIの最新技術情報」
 シーメンス・ジャパン(株)
 MR ビジネスマネージメント部 石川啓介
 (イ) セッションI 「アルツハイマー型認知症治療に

ける現状と展望」

- a. 座長 防衛医科大学校病院 新井 眞二
埼玉医科大学総合医療センター 河原 剛
- b. アリセプト エーザイ(株) 猪俣 亨
- c. リバスタッチパッチ 小野薬品工業(株) 鈴木 隆
- d. メマリー 第一三共(株) 原田 芳幸
- (ウ) セッションII「認知症における画像診断の役割について」
- a. 座長 埼玉医科大学総合医療センター 河原 剛
- b. CT 小川赤十字病院 寺内ゆかり
- c. MRI 埼玉医科大学病院 小川真理子
- d. SPECT 済生会川口総合病院 城處 洋輔
- e. PET 東京ベイ先端医療・幕張クリニック 光本 拓也

11. 第三支部（渡部）

- (1) 第29回川越市健康まつりに参加した。
ア. 日時：平成27年11月1日（日）
イ. 場所：ウエスタ川越
ウ. 参加者：10人
エ. 内容：医療画像展
- (2) 第2, 3, 4, 6支部合同勉強会で講演した
ア. 日時：平成27年11月14日（土）
イ. 場所：森林公園 四季の湯温泉 ホテル・ヘリテージ
ウ. 参加者：101人
- (3) 第4回地区役員会を開催した。
ア. 日時：平成27年12月21日（月）
イ. 場所：埼玉医科大学病院 会議室
ウ. 参加者：6人

12. 第四支部（齋藤）

- (1) 第2, 3, 4, 6支部合同勉強会で講演した
ア. 日時：平成27年11月14日（土）
イ. 場所：森林公園 四季の湯温泉 ホテル・ヘリテージ
ウ. 参加者：101人
- (2) 第4支部忘年会を開催した。
ア. 日時：平成27年11月27日（金）
イ. 場所：キングアンバサダーホテル熊谷
ウ. 参加者：73人
- (3) 行田市健康フォーラム2015に参加した。
ア. 日時：平成27年12月20日（金）
イ. 場所：行田市「みらい」ホール
ウ. 来場者：150人
エ. 内容：骨密度測定、パネル・モニター展示等

13. 第五支部（矢崎）

- (1) 地区情報交換会を開催した。
ア. 日時：平成27年11月26日（木）
イ. 場所：春日部市市民活動センター 4F 会議室1

ウ. 内容

- (ア) 当院における術前頭部3D-CTの現状 越谷市立病院 村本 圭祐
- (イ) 肺動脈血栓塞栓症のCT撮影法と当院の工夫 越谷市立病院 関根 貢
- (ウ) CT検査の被ばく線量推定(WAZA-ARIv2)の使用経験 越谷市立病院 矢部 智
- (2) 親睦ゴルフコンペを開催した。
ア. 日時：平成27年12月6日（日）
イ. 場所：トミーヒルズゴルフクラブ栃木
- (3) 越谷市民祭りにおける収支について報告した。

14. 第六支部（高嶋）

- (1) 第2, 3, 4, 6支部合同勉強会で講演した
ア. 日時：平成27年11月14日（土）
イ. 場所：森林公園 四季の湯温泉 ホテル・ヘリテージ
ウ. 参加者：101人
- (2) 彩の国いきいきフェスティバルに参加した。
ア. 日時：平成27年11月15日（日）
イ. 場所：埼玉県民活動センター
ウ. 参加者：12人
エ. 内容：パネル展示、被ばく相談、骨密度測定等
- (3) 第六支部忘年会を開催した。
ア. 日時：平成27年11月26日（木）
イ. 場所：コリアンダイニング クオオズ大宮
ウ. 参加者：40人

第3. 審議・承認事項

- 新井俊吉氏の名誉会員への推薦について審議し承認した。（議案書番号：理-37）（承認）
- 技師会事務所の修繕について審議し承認した。（議案書番号：理-38）（承認）
- 第19回秩父市保健センターまつりでの医療画像展開催に関して、予算および骨密度装置、展示パネル等の貸出について審議し承認した。（議案書番号：理-39）（承認）
- 第5回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会開催について審議し承認した。（議案書番号：理-40）（承認）
- 新入会員について審議し承認した（議案書番号：理-41）（承認）

配布資料（メール配信を含む）

- 会長資料
- 副会長資料
- 編集・情報委員会資料
- 学術委員会資料
- 公益委員会資料
- 各支部資料（第一支部、第二支部、第三支部、第四支部、第五支部、第六支部）
- 議案書

求人広告掲載申し込み FAX 用紙

施設名	
住所	
担当者氏名	
TEL	
FAX	
E-mail アドレス	
募集対象者	
雇用形態	
業務内容	
待遇	
勤務時間	
休日	
募集人員	
宿舍の有無	
社会保険など	
応募方法	
その他	

FAX 送信先 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
FAX 番号 048-664-2733
電子メールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp



公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

平成 27・28 年度役員名簿

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
会長	田中 宏	埼玉県病院局	048-758-1852	h-tanaka@sart.jp
副会長	堀江 好一	JCHO さいたま北部医療センター	048-663-1671	k-horie@sart.jp
副会長	富田 博信	済生会川口総合病院	048-253-1551	h-tomita@sart.jp
常務理事(総務)	平野 雅弥	埼玉医科大学病院	049-276-1264	m-hirano@sart.jp
常務理事(総務)	結城 朋子	済生会川口総合病院	048-253-1551	t-yuuki@sart.jp
常務理事(財務)	潮田 陽一	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	y-ushioda@sart.jp
常務理事(学術)	今出 克利	さいたま市民医療センター	048-626-0011	k-imade@sart.jp
常務理事(編集・情報)	八木沢英樹	JCHO 埼玉メディカルセンター	048-832-4951	h-yagisawa@sart.jp
常務理事(公益)	佐々木 健	上尾中央総合病院	048-773-1111	t-sasaki@sart.jp
理事(学術)	栗田 幸喜	済生会栗橋病院	0480-52-3611	k-kurita@sart.jp
理事(学術)	城處 洋輔	済生会川口総合病院	048-253-1551	y-kidokoro@sart.jp
理事(学術)	岡田 智子	さいたま赤十字病院	048-852-1111	s-okada@sart.jp
理事(編集・情報)	清水 邦昭	深谷赤十字病院	048-571-1511	k-shimizu@sart.jp
理事(公益)	芦葉 弘志	丸山記念総合病院	048-757-3511	h-ashiba@sart.jp
理事(総務)第一支部	双木 邦博	さいたま市立病院	048-873-4111	k-namiki@sart.jp
理事(総務)第二支部	大西 圭一	所沢ハートセンター	042-940-8611	k-onishi@sart.jp
理事(総務)第三支部	渡部 進一	埼玉医科大学病院	049-276-1264	s-watanabe@sart.jp
理事(総務)第四支部	齋藤 幸夫	深谷赤十字病院	048-571-1511	y-saito@sart.jp
理事(総務)第五支部	矢崎 一郎	春日部市立病院	048-735-1261	i-yazaki@sart.jp
理事(総務)第六支部	高嶋 豊	丸山記念総合病院	048-757-3511	y-takashima@sart.jp

監事・顧問

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
監事	橋本 里見	JCHO 東京新宿メディカルセンター	03-3269-8111	s-hashimoto@sart.jp
監事	鈴木 正人	埼玉県県会議員		m-suzuki@sart.jp

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
顧問税理士	増田 利治	増田利治税理士事務所	048-649-1386	

総務・財務委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	平野 雅弥	埼玉医科大学病院	049-276-1264	m-hirano@sart.jp
副委員長	結城 朋子	済生会川口総合病院	048-253-1551	t-yuuki@sart.jp
副委員長	潮田 陽一	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	y-ushioda@sart.jp
委員	堀江 好一	JCHO さいたま北部医療センター	048-663-1671	k-horie@sart.jp
委員	富田 博信	済生会川口総合病院	048-253-1551	h-tomita@sart.jp
委員	双木 邦博	さいたま市立病院	048-873-4111	k-namiki@sart.jp
委員	大西 圭一	所沢ハートセンター	042-940-8611	k-onishi@sart.jp
委員	渡部 進一	埼玉医科大学病院	049-276-1264	s-watanabe@sart.jp
委員	齋藤 幸夫	深谷赤十字病院	048-571-1511	y-saito@sart.jp
委員	矢崎 一郎	春日部市立病院	048-735-1261	i-yazaki@sart.jp
委員	高嶋 豊	丸山記念総合病院	048-757-3511	y-takashima@sart.jp
委員	田中 達也	小川赤十字病院	0493-72-2333	t-tanaka@sart.jp
委員	矢部 智	越谷市立病院	048-965-2221	s-yabe@sart.jp
委員	佐々木 剛	埼玉医科大学病院	049-276-1264	tsuyoshi-sasaki@sart.jp

学術委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	今出 克利	さいたま市民医療センター	048-626-0011	k-imade@sart.jp
副委員長	栗田 幸喜	済生会栗橋病院	0480-52-3611	k-kurita@sart.jp
副委員長	城處 洋輔	済生会川口総合病院	048-253-1551	y-kidokoro@sart.jp
副委員長	岡田 智子	さいたま赤十字病院	048-852-1111	s-okada@sart.jp
委員	富田 博信	済生会川口総合病院	048-253-1551	h-tomita@sart.jp
委員	佐々木 健	上尾中央総合病院	048-773-1111	t-sasaki@sart.jp
委員	尾形 智幸	さいたま赤十字病院	048-852-1111	t-ogata@sart.jp
委員	大森 正司	さいたま赤十字病院	048-852-1111	s-omori@sart.jp
委員	中根 淳	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	j-nakane@sart.jp
委員	土田 拓治	済生会川口総合病院	048-253-1551	t-tsuchida@sart.jp
委員	近藤 敦之	埼玉医科大学病院	049-276-1264	a-kondo@sart.jp
委員	滝口 泰徳	上尾中央総合病院	048-773-1111	y-takiguchi@sart.jp
委員	伊藤 寿哉	埼玉石心会病院	04-2953-6611	t-ito@sart.jp
委員	柴 俊幸	所沢ハートセンター	04-2940-8611	t-shiba@sart.jp
委員	志田 智樹	レインボークリニック	048-758-3891	t-sida@sart.jp

編集・情報委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	八木沢英樹	JCHO 埼玉メディカルセンター	048-832-4951	h-yagisawa@sart.jp
副委員長	清水 邦昭	深谷赤十字病院	048-571-1511	k-shimizu@sart.jp
委員	栗田 幸喜	済生会栗橋病院	0480-52-3611	k-kurita@sart.jp
委員	宮崎 雄二	北里大学メディカルセンター	048-593-1212	y-miyazaki@sart.jp
委員	潮田 陽一	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	y-ushioda@sart.jp
委員	菅野 方仁	大宮中央総合病院	048-663-2501	m-sugano@sart.jp
委員	肥沼 武司	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	t-koinuma@sart.jp
委員	大友 哲也	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	t-otomo@sart.jp
委員	吉田 敦	熊谷総合病院	048-521-0065	a-yoshida@sart.jp
委員	豊留 章裕	西大宮病院	048-644-0511	a-toyodome@sart.jp

公益委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	佐々木 健	上尾中央総合病院	048-773-1111	t-sasaki@sart.jp
副委員長	芦葉 弘志	丸山記念総合病院	048-757-3511	h-ashiba@sart.jp
委員	西山 史朗	久喜総合病院	0480-26-0033	s-nishiyama@sart.jp
委員	志藤 正和	済生会川口総合病院	048-253-1551	m-shito@sart.jp
委員	矢島 慧介	上尾中央総合病院	048-773-1111	k-yajima@sart.jp
委員	市浦 京子	上尾中央総合病院	048-773-1111	k-ichiura@sart.jp
委員	眞壁 耕平	久喜総合病院	0480-26-0033	k-makabe@sart.jp
委員	小山 恵	防衛医科大学校病院	04-2995-1511	m-koyama@sart.jp
委員	内海 将人	済生会栗橋病院	0480-52-3611	m-uchiumi@sart.jp

正 会 員 入 会 申 込 書

年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 会長殿

私は貴会の目的に賛同し、下記により入会したく会費を添えて申し込みます。

フリガナ		性 別 男・女	生	年	月	日
氏 名			西暦	年	月	日

<p style="text-align: center;">1. 2. それぞれに○をつけご回答ください</p> <p>1. 今回の入会は [<input type="checkbox"/>新入会 <input type="checkbox"/>再入会 <input type="checkbox"/>転入]</p> <p>2. <input type="checkbox"/>日本診療放射線技師会&埼玉県診療放射線技師会へ入会 <input type="checkbox"/>埼玉県診療放射線技師会のみ入会</p>	転入前の 所属技師会	
---	---------------	--

フリガナ		TEL	—	—
勤務先名				
フリガナ	〒			
勤務先住所				
フリガナ	〒	TEL	—	—
自宅住所				
E-mail (携帯不可)				

会誌送付先	① 勤務先	所属支部（地区）
	② 自宅	

診療放射線 技師免許	国家試験	第	回	合格
	登録	第	号	年 月 日 登録

免許取得の 学歴	入学年月日	西暦	年	月
	卒業年月日	西暦	年	月
	学校			

関連分野の 最終学歴	学位	ある	なし
	学位記番号		
	授与年月		
	授与機関		

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
〒331-0812 さいたま市北区宮原町 2-51-39
TEL 048-664-2728
FAX 048-664-2733

退会届

年 月 日

会員番号	日本診療放射線技師会
	埼玉県診療放射線技師会
会員名	印
退会理由	
退会希望日	年 月 日
会費納入状況	年度分まで納入済み

注) 規程により、埼玉県診療放射線技師会を退会すると日本診療放射線技師会も同時に退会となります。

決算処理

埼放技	
日放技	

会員異動届

ファックス送信票

下記の通り送信いたしますので、よろしくお願い致します。

受信者	FAX番号：048-664-2733 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
送信者	氏名
	施設名
	〒 施設住所

*郵送の場合
〒331-0812 さいたま市北区宮原町2丁目51番地39
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
電話：048-664-2728

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会員登録変更届

平成 年 月 日

ふりがな 届出会員名		支部名	支部
技師会番号			

①転出者は正確にご記入ください			
転出先	() 県へ転出	技師会費を () 年度まで納入	
変更項目	<input type="checkbox"/> 印	②変更した項目をご記入ください	
	ふりがな 自宅住所	〒 - TEL - -	
	ふりがな 勤務先名		
	ふりがな 勤務先住所	〒 - TEL - -	
	ふりがな 改 姓		
	支部変更	第 () 支部を第 () 支部に	
連絡先変更			

平成 28 年度

埼玉県診療放射線技師会
日本診療放射線技師会等 年間スケジュール表

平成 28 年度 (5-7) 予定											
5 月		埼玉放技	日放技等	6 月		埼玉放技	日放技等	7 月		埼玉放技	日放技等
1	日			1	水			1	金		
2	月			2	木	第 2 回 理事会		2	土		
3	火			3	金			3	日		
4	水			4	土			4	月		
5	木			5	日			5	火		
6	金			6	月			6	水		
7	土			7	火			7	木	第 3 回 理事会	
8	日			8	水			8	金		
9	月			9	木			9	土		
10	火			10	金			10	日		
11	水			11	土			11	月		
12	木	第 1 回 理事会		12	日			12	火		
13	金			13	月			13	水		
14	土	平成 28 年度関東甲信越 診療放射線技師学術大会		14	火			14	木		
15	日			15	水			15	金		
16	月			16	木			16	土		
17	火			17	金			17	日		
18	水			18	土	定期総会		18	月		
19	木			19	日			19	火		
20	金			20	月			20	水		
21	土			21	火			21	木		
22	日			22	水			22	金		
23	月			23	木			23	土		
24	火	平成 27 年度監査		24	金			24	日		
25	水			25	土			25	月		
26	木			26	日			26	火		
27	金			27	月			27	水		
28	土			28	火			28	木		
29	日			29	水			29	金		
30	月			30	木	第 2 回 常務理事連絡会		30	土		
31	火							31	日		

平成 28 年度 (8-10) 予定											
8 月		埼玉放技	日放技等	9 月		埼玉放技	日放技等	10 月		埼玉放技	日放技等
1	月			1	木	第 4 回 理事会		1	土		
2	火			2	金			2	日		
3	水			3	土			3	月		
4	木	第 2 回 常務理事会		4	日			4	火		
5	金			5	月			5	水		
6	土			6	火			6	木	第 3 回 常務理事会	
7	日			7	水			7	金		
8	月			8	木			8	土		
9	火			9	金			9	日		
10	水			10	土			10	月		
11	木			11	日			11	火		
12	金			12	月			12	水		
13	土			13	火			13	木		
14	日			14	水			14	金		
15	月			15	木			15	土		
16	火			16	金			16	日		
17	水			17	土			17	月		
18	木			18	日			18	火		
19	金			19	月			19	水		
20	土			20	火			20	木		
21	日			21	水			21	金		
22	月			22	木			22	土		
23	火			23	金			23	日		
24	水			24	土			24	月		
25	木	第 3 回 常務理事連絡会		25	日			25	火		
26	金			26	月			26	水		
27	土			27	火			27	木	第 4 回 常務理事連絡会	
28	日			28	水			28	金		
29	月			29	木			29	土		
30	火			30	金			30	日		
31	水							31	月		



—編集後記—

わたしは5月生まれで、この編集後記が読まれる頃には、ついに30歳の大台に乗ります。知ってましたか？くるみの開花時期は5月なのです。実のなる時期もあれば花を咲かせる時期もあるという話です。

しかし、それを30回も繰り返すと体力も落ちてきますし、おなかもちょっと出てきています。でも最近少しぽっちゃりしたぐらいが好きって人もいますしね、ダイエットは明日からにします。実家に帰ればお母さんから、そろそろ孫の顔がみたいと言われますが、仕事が楽しくて親孝行出来そうにありません。

とうとう諦めモードのわたしの週末は、読書をする事が多いです。今は「葉桜の季節に君を想うということ」という本格ミステリーを読んでいます。内容を書くとなタバレになる可能性があります。元探偵で女好きの男が、同じジムに通う女性のために悪徳商法に立ち向かうお話。お花見シーズンは大人気の桜ですが、花が散ったあとは世間からお払い箱なのです。しかし、今も濃い緑の葉を茂らせていて秋になればその葉は紅く染まり、冬に枝だけになれば、その木が桜だと認識する人は非常に少ないと思います。わたしは今更になって、両親の有り難みや友人の大切さ、そして先輩達の凄さに気づき始めました。こうやって気づけた今、これまで多くの誤解していた事を謝りたいです。多分〇〇って事だ、という安易な解釈はひとつ間違えば、自分が損をするだけでなく相手まで傷つけてしまう場合があります。日本には、語らぬままに察する事が美德とされる哲学がありますが、それが勘違いを生む危険性もある事に注意しなければなりません。あまり意識し過ぎるのも疲れてしまいますが、仕事には命にかかわりますからその重要さをひしひしと感じなければなりません。恋愛においては、ちょっとした勘違いは物語を面白くさせる要素かと思いますが、そもそも相手がいないので勘違いも出来ませんね。さて、どこかにいいひといないかな。

(くるみ)

埼玉放射線 第244号

印刷	平成28年5月19日
発行日	平成28年5月25日
発行所	〒331-0812 さいたま市北区宮原町2-51-39 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 Eメールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp
発行人	公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 会長 田中 宏 編集代表 八木沢 英樹
印刷	〒338-0007 さいたま市中央区円阿弥5-8-36 望月印刷株式会社 電話 048-840-2111

事務所

〒331-0812
さいたま市北区宮原町2丁目51番39
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
電話 048-664-2728 FAX 048-664-2733
Eメールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp

事務局長 渡辺 弘
事務員 植松 敏江
勤務時間 9:00~12:00
13:00~15:00

表紙の解説

東京タワーのこいのぼり

写真提供 潮田 陽一 氏



写真提供 「新緑」 清水 理乃 氏



〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目51番39

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

TEL 048-664-2728

FAX 048-664-2733

www.sart.jp

sart@beige.ocn.ne.jp

領布価格 1,000円(会誌購読料は会費に含まれる)

